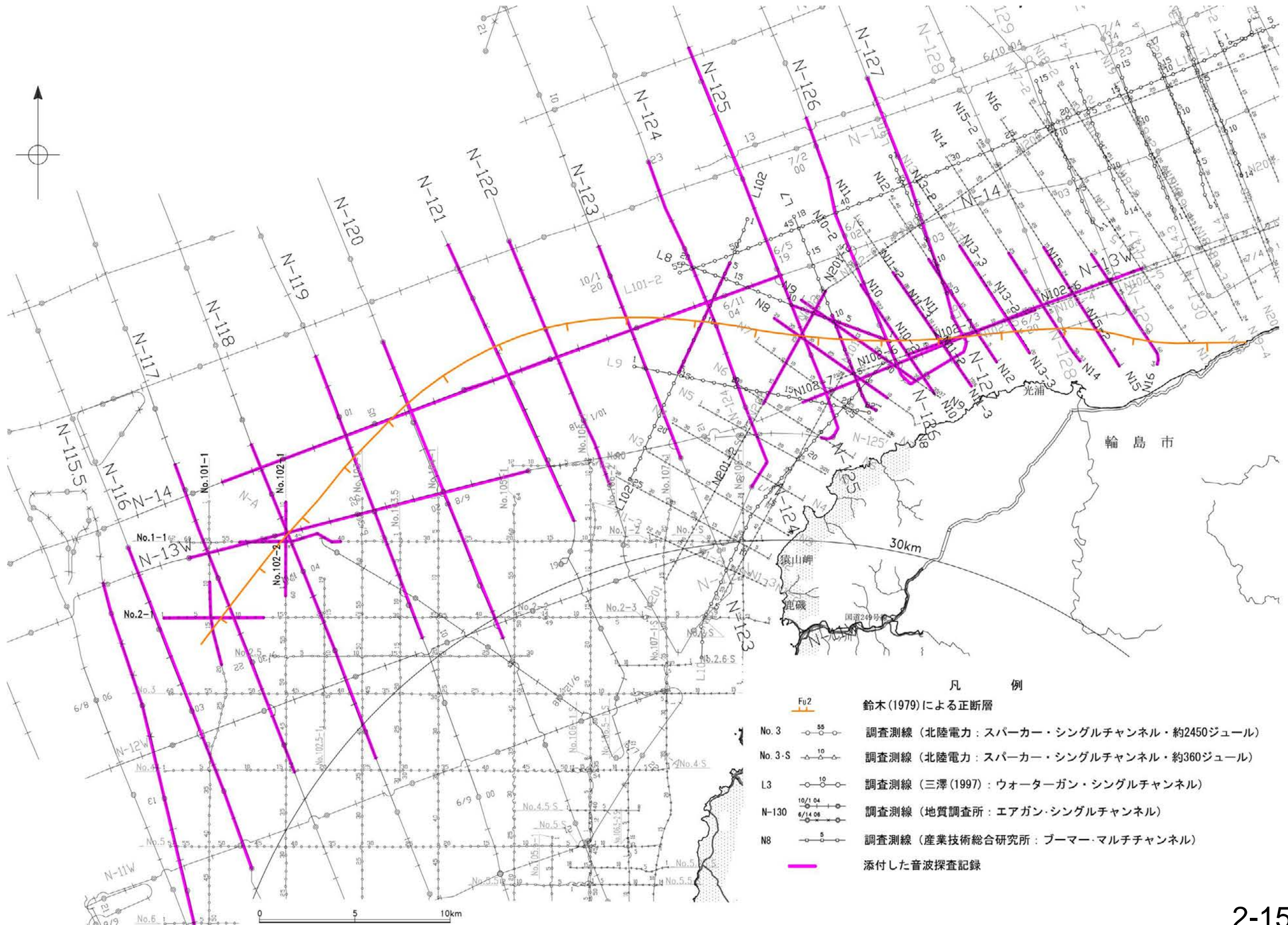

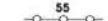







音波探査記録 添付測線(Fu2)



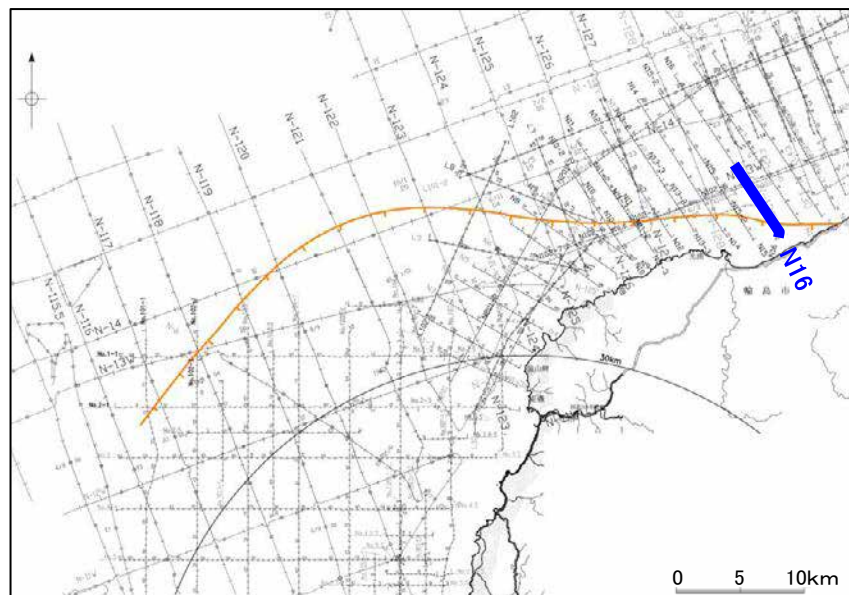
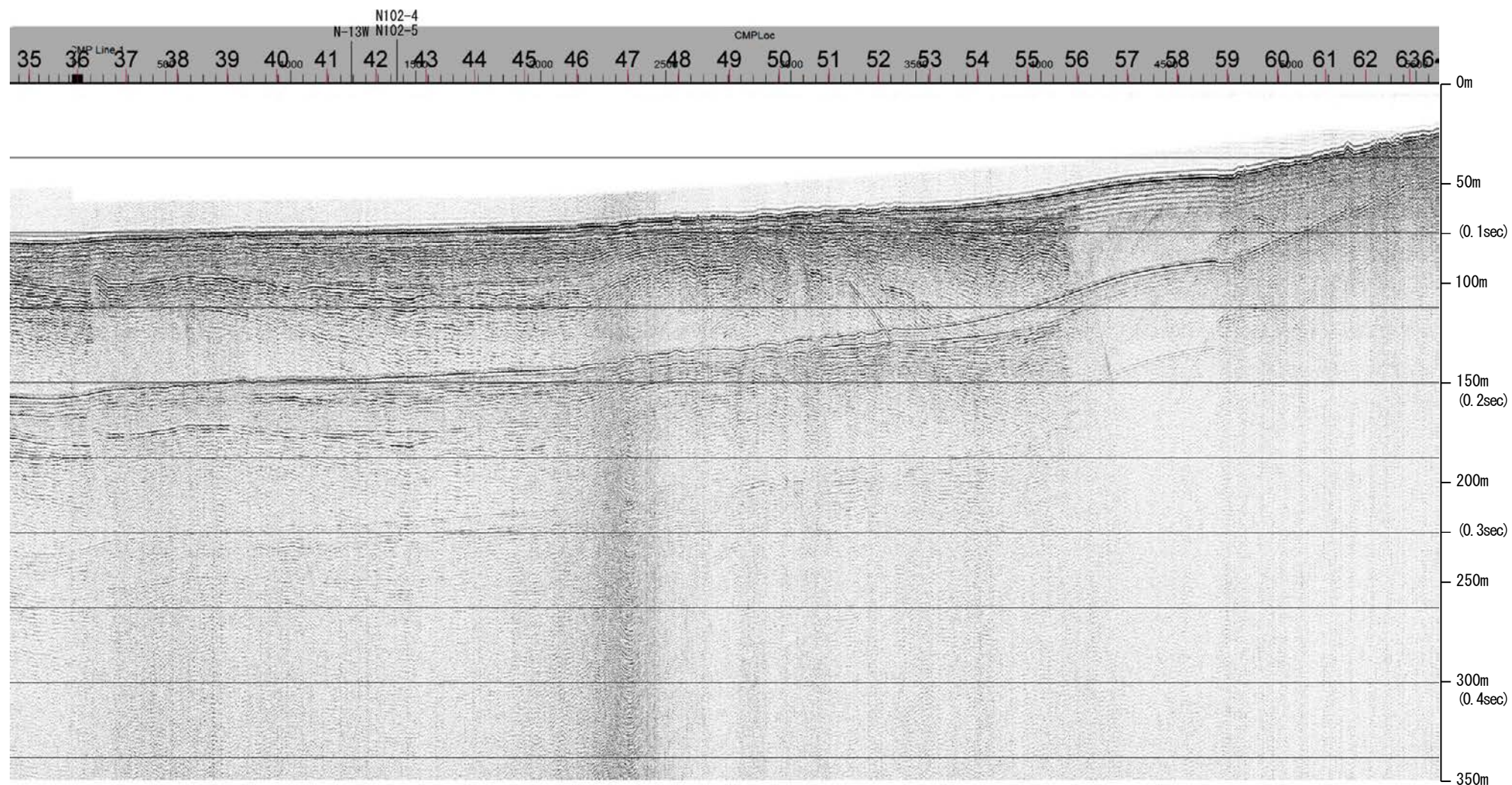
凡 例

-  Fu2 鈴木(1979)による正断層
-  No. 3 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
-  No. 3-S 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約360ジュール)
-  L3 調査測線 (三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル)
-  N-130 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)
-  N8 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)
-  添付した音波探査記録

産総研ブーマー N16

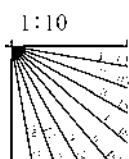
←NW

SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
B層		B層	
前期	C層	C層	
	C層	C層	
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

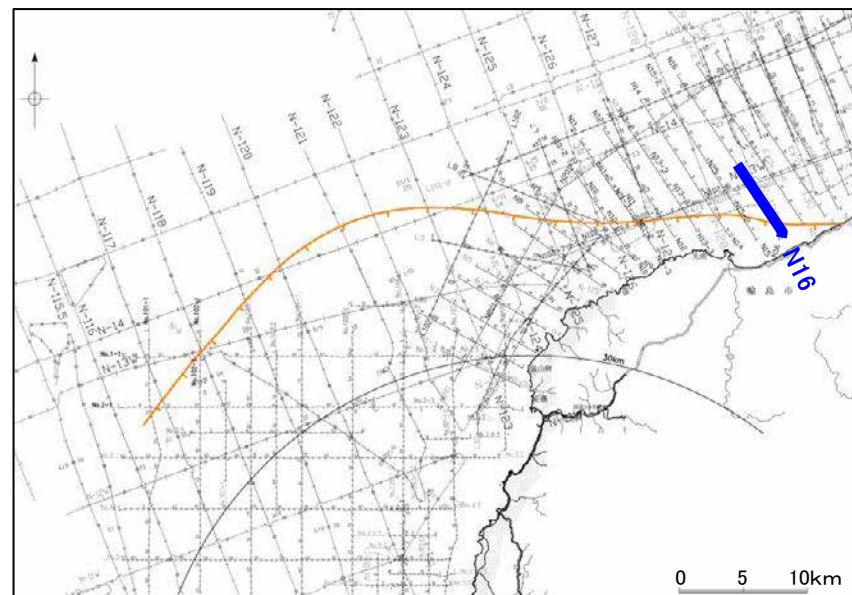
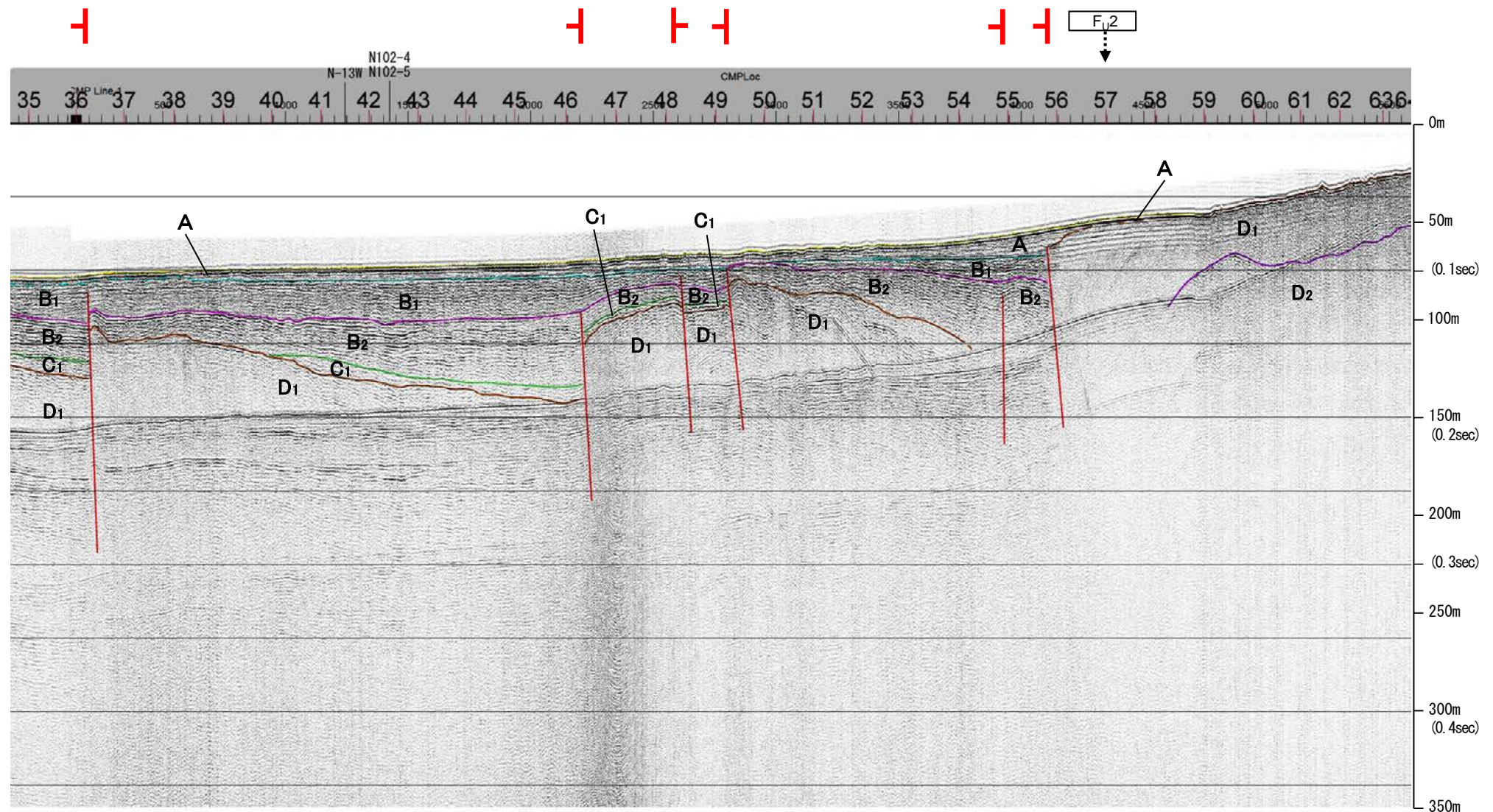


産総研ブーマー N16

←NW

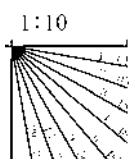
能登半島北部沿岸域断層帯

SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	中期	B ₁ 層
		前期	B ₂ 層
第三紀	鮮新世	C層	C ₁ 層
		D層	D ₁ 層
	中新世	D層	D ₂ 層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀			

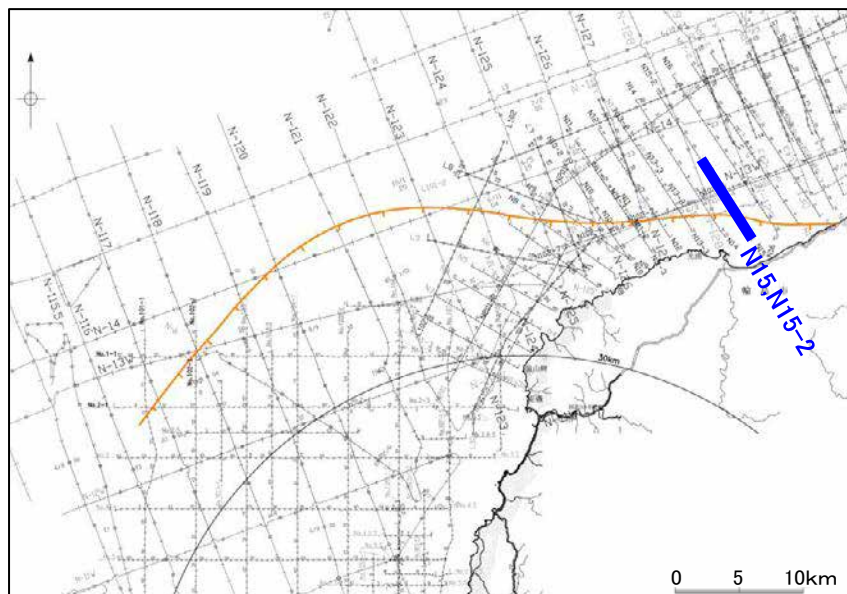
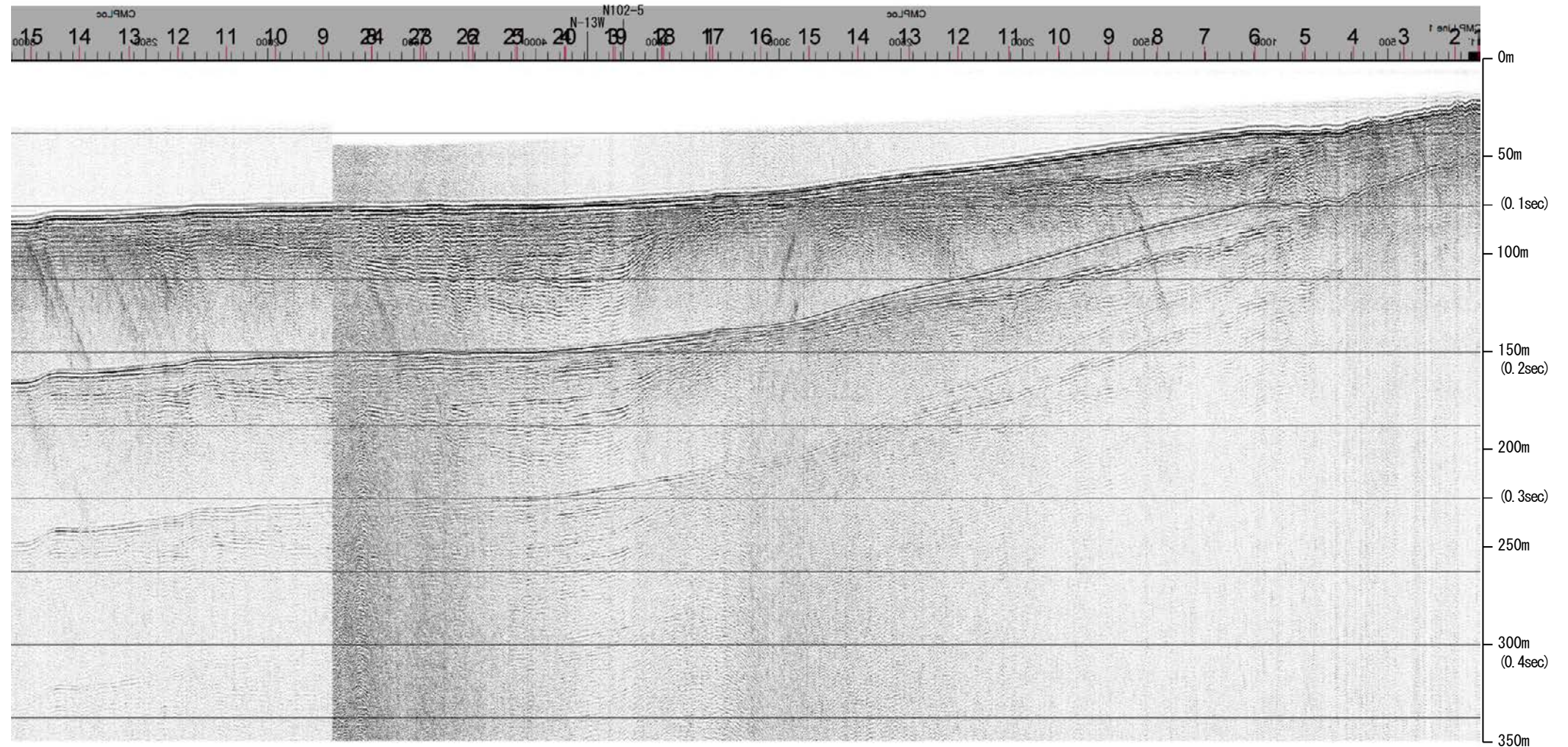


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N15,N15-2

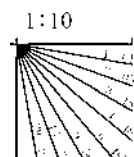
←NW

SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
B層		B層	
前期	C層	C層	
	C層	C層	
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

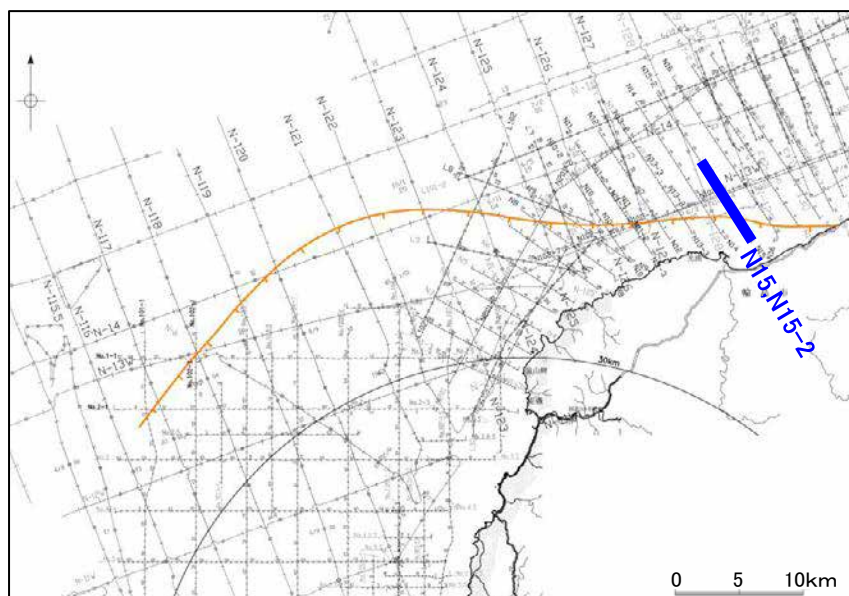
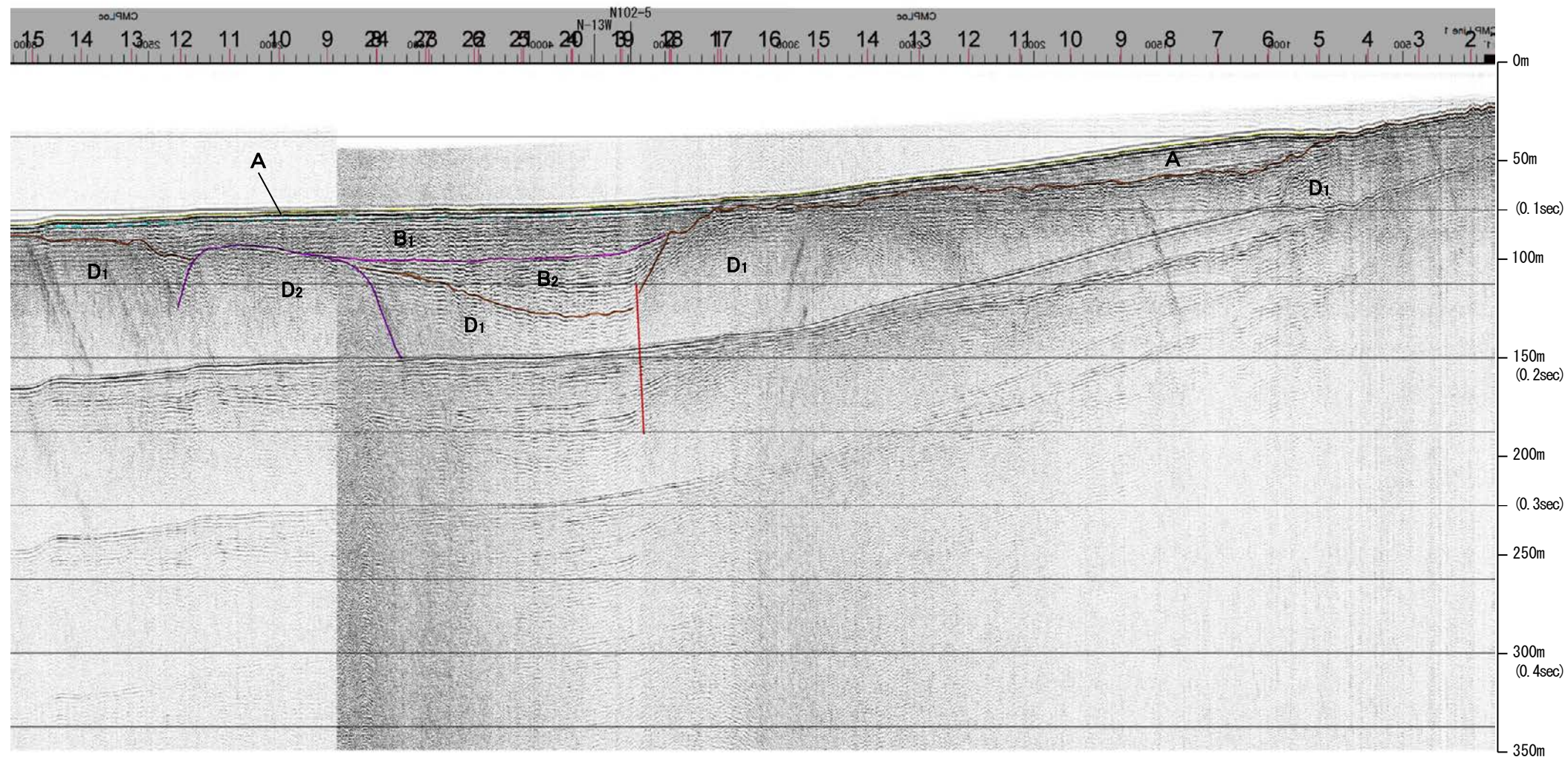
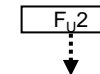


産総研ブーマー N15,N15-2

←NW

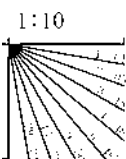
能登半島北部沿岸域断層帯

SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B ₁ 層	B ₁ 層
	中期	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

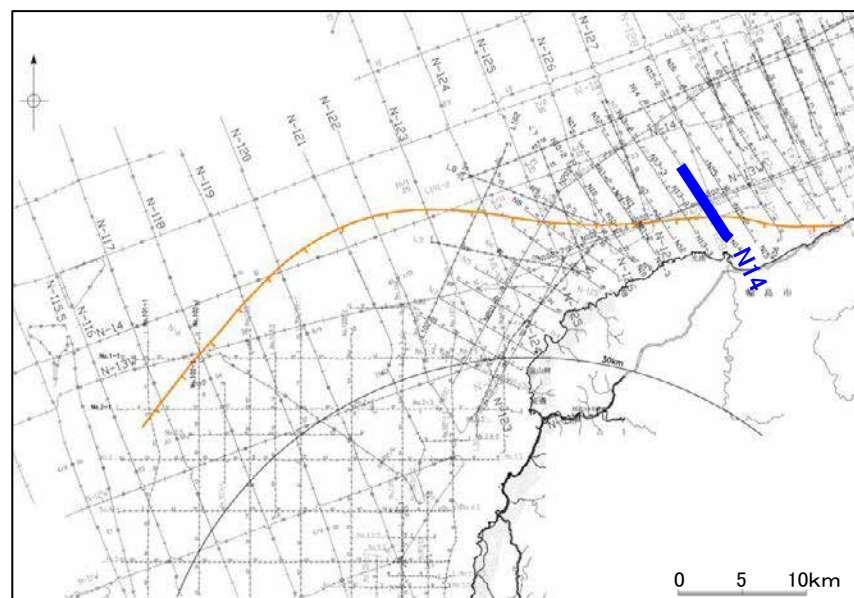
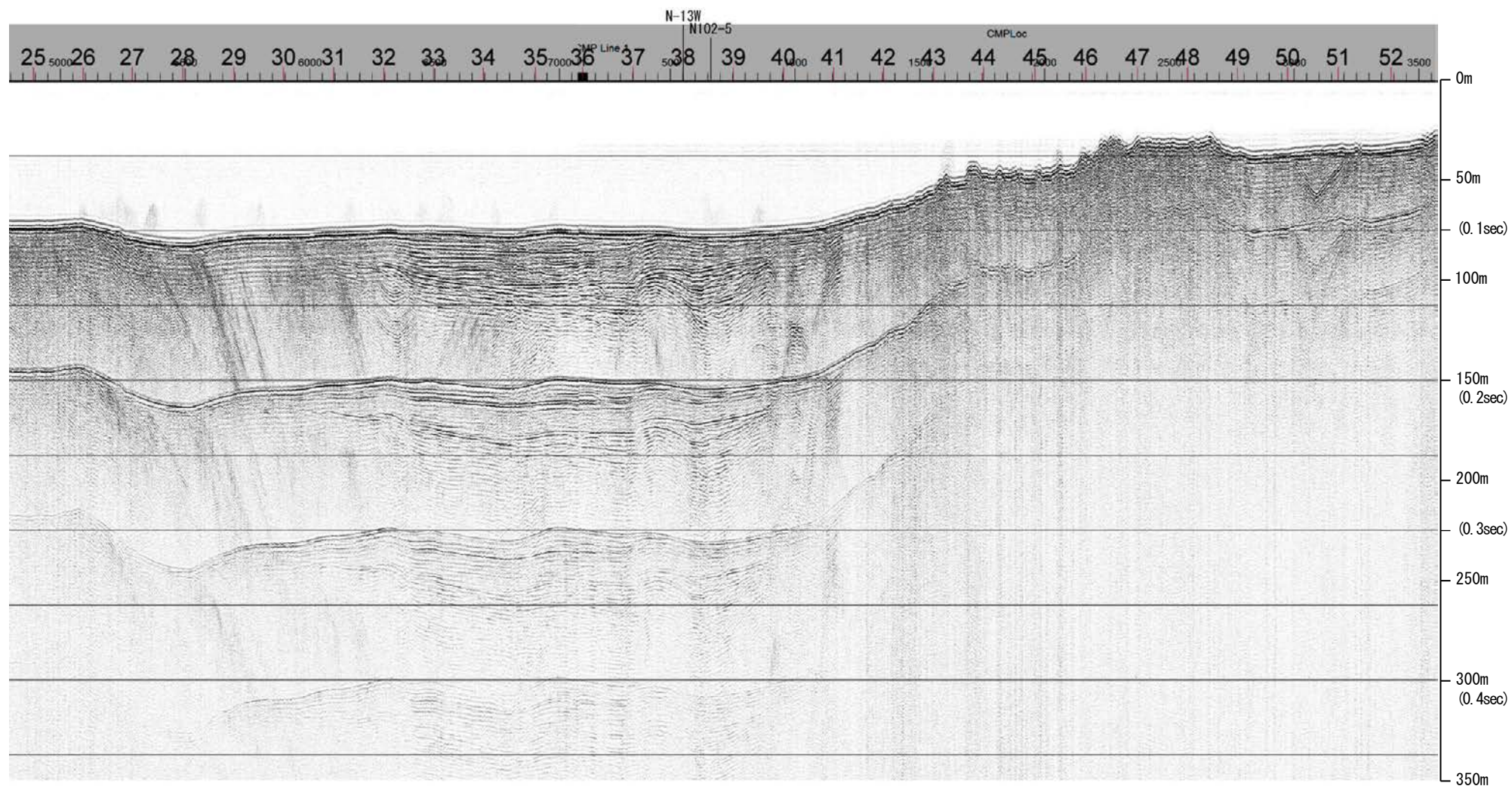


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N14

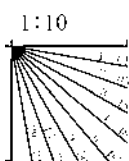
←NW

SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	C層	C層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

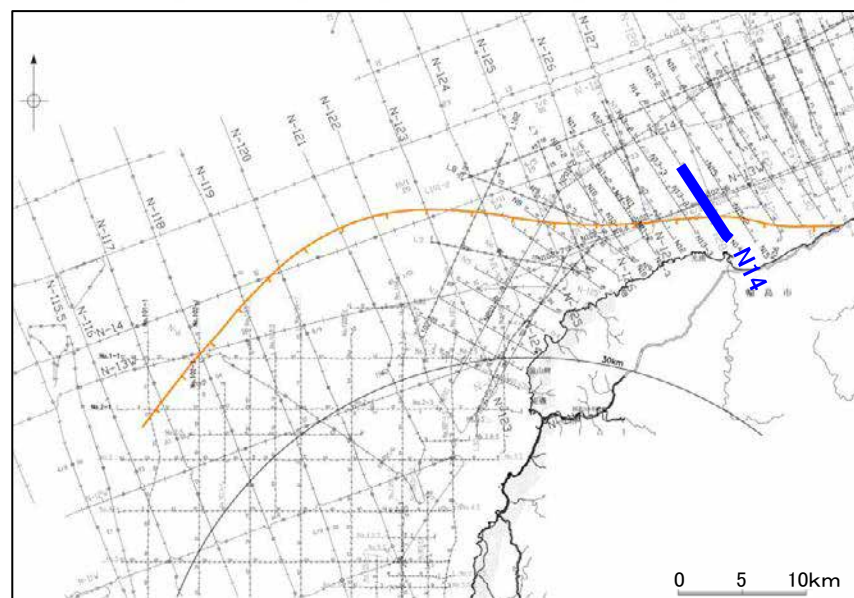
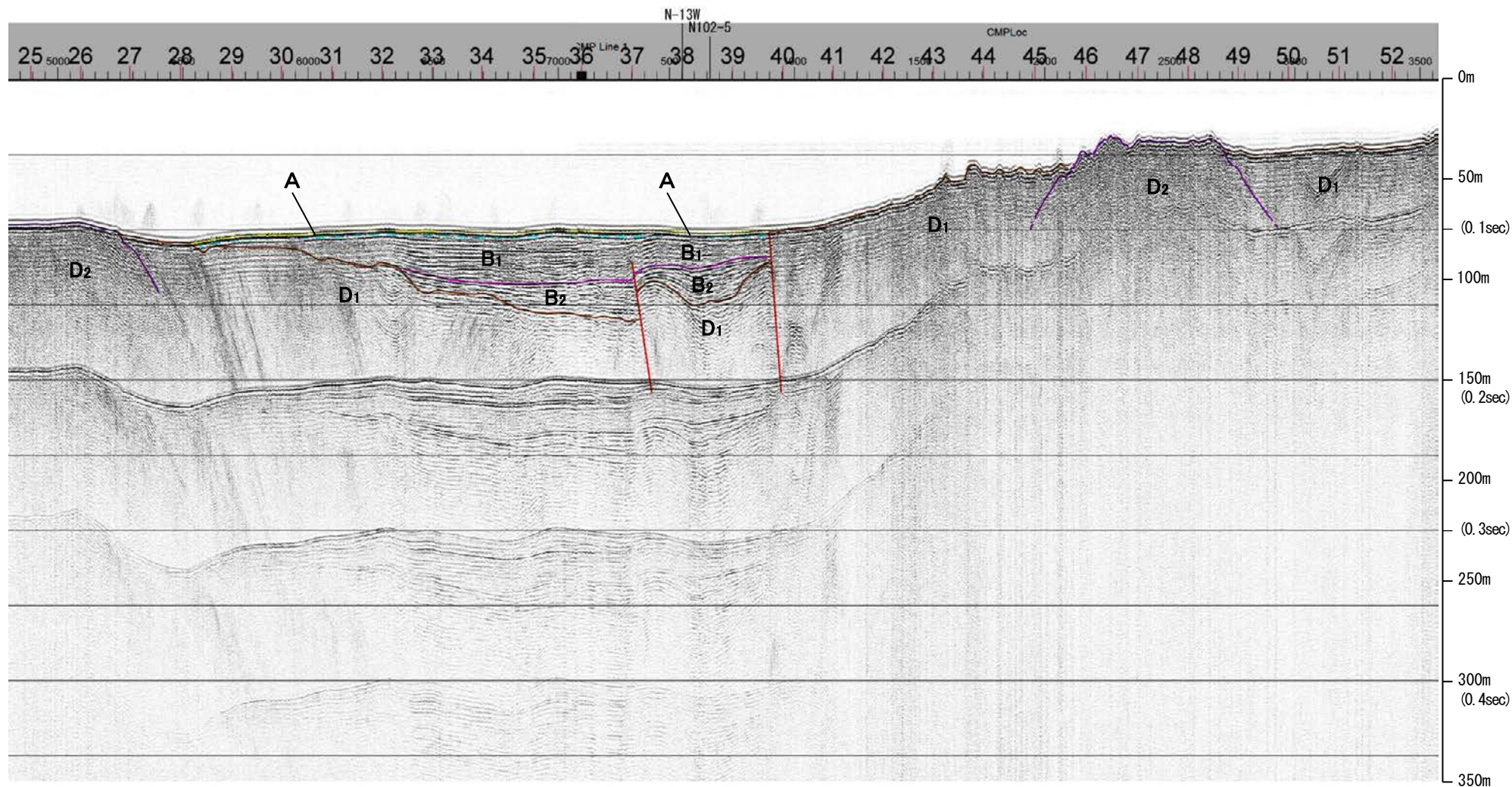


産総研ブーマー N14

←NW

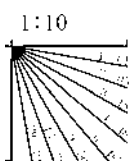
SE→

能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	中期	B ₁ 層
		前期	B ₂ 層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D ₁ 層
	古第三紀	D層	D ₂ 層
先第三紀			

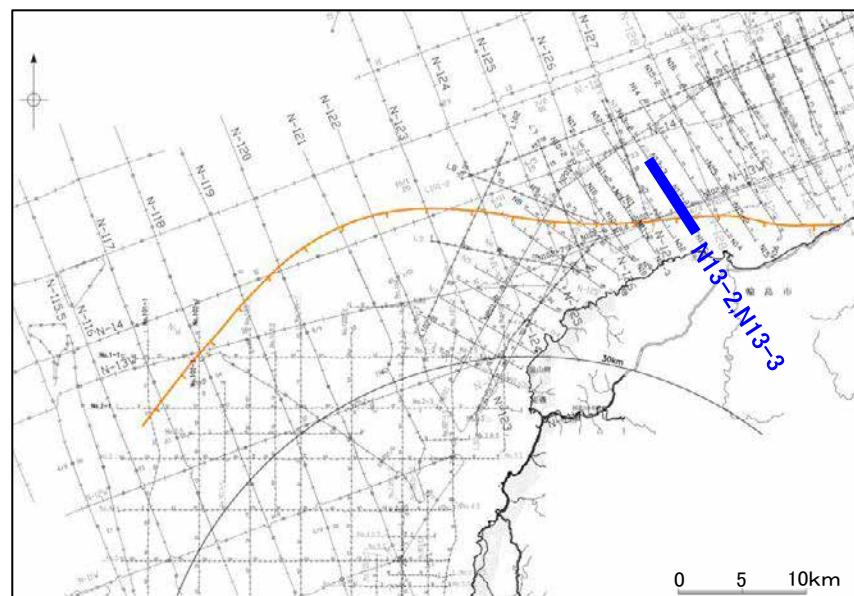
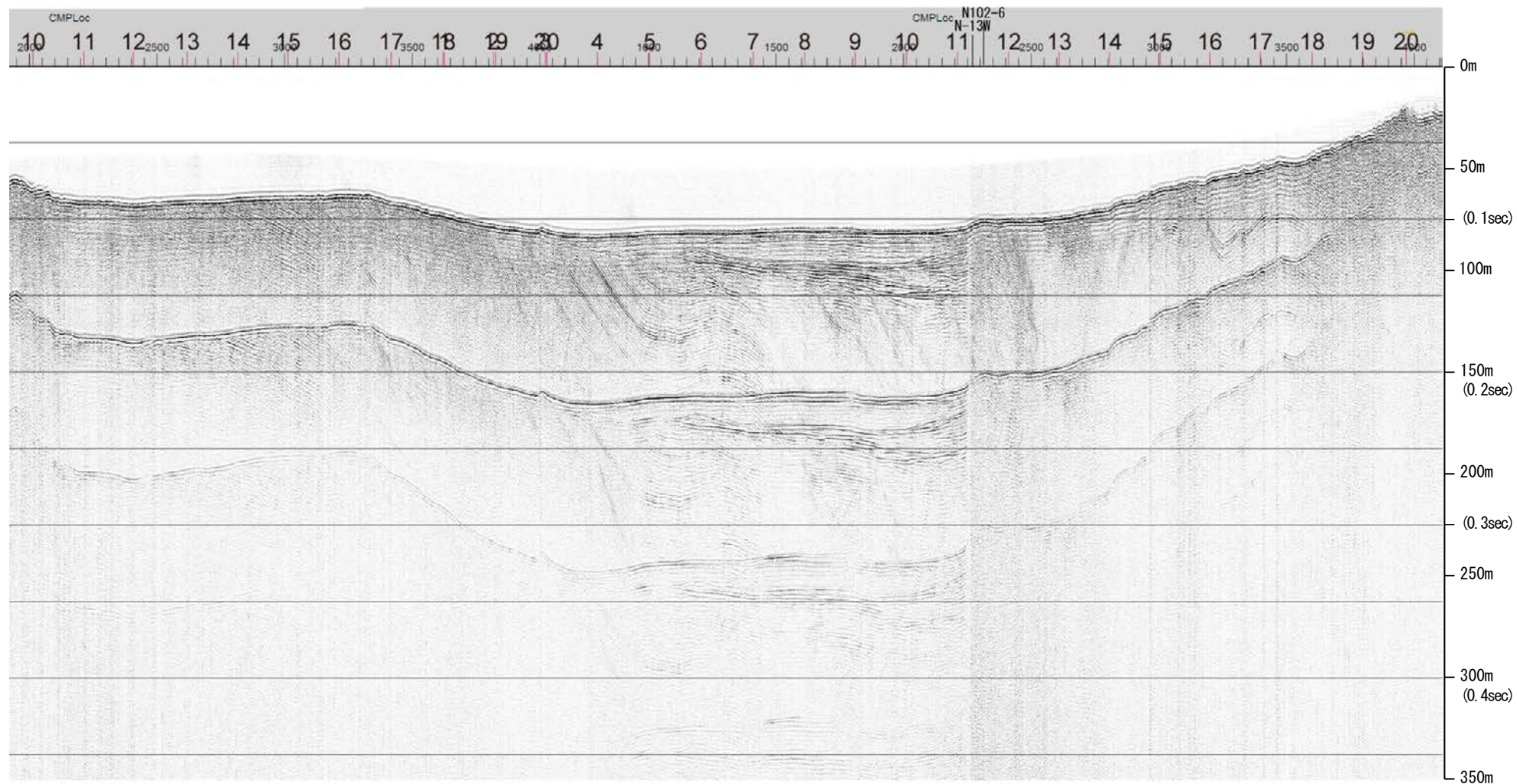


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N13-2,N13-3

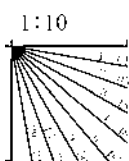
←NW

SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
B層		B層	
前期	C層	C層	
	C層	C層	
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

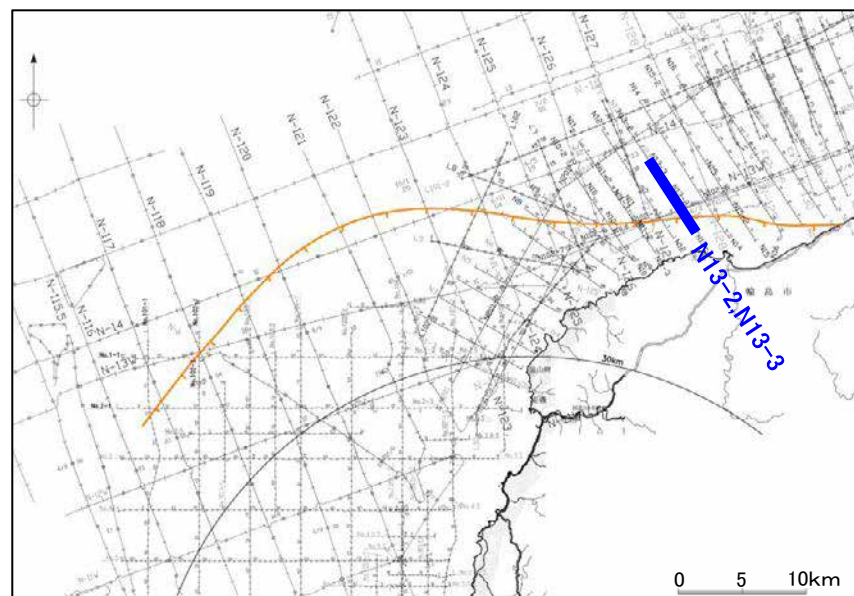
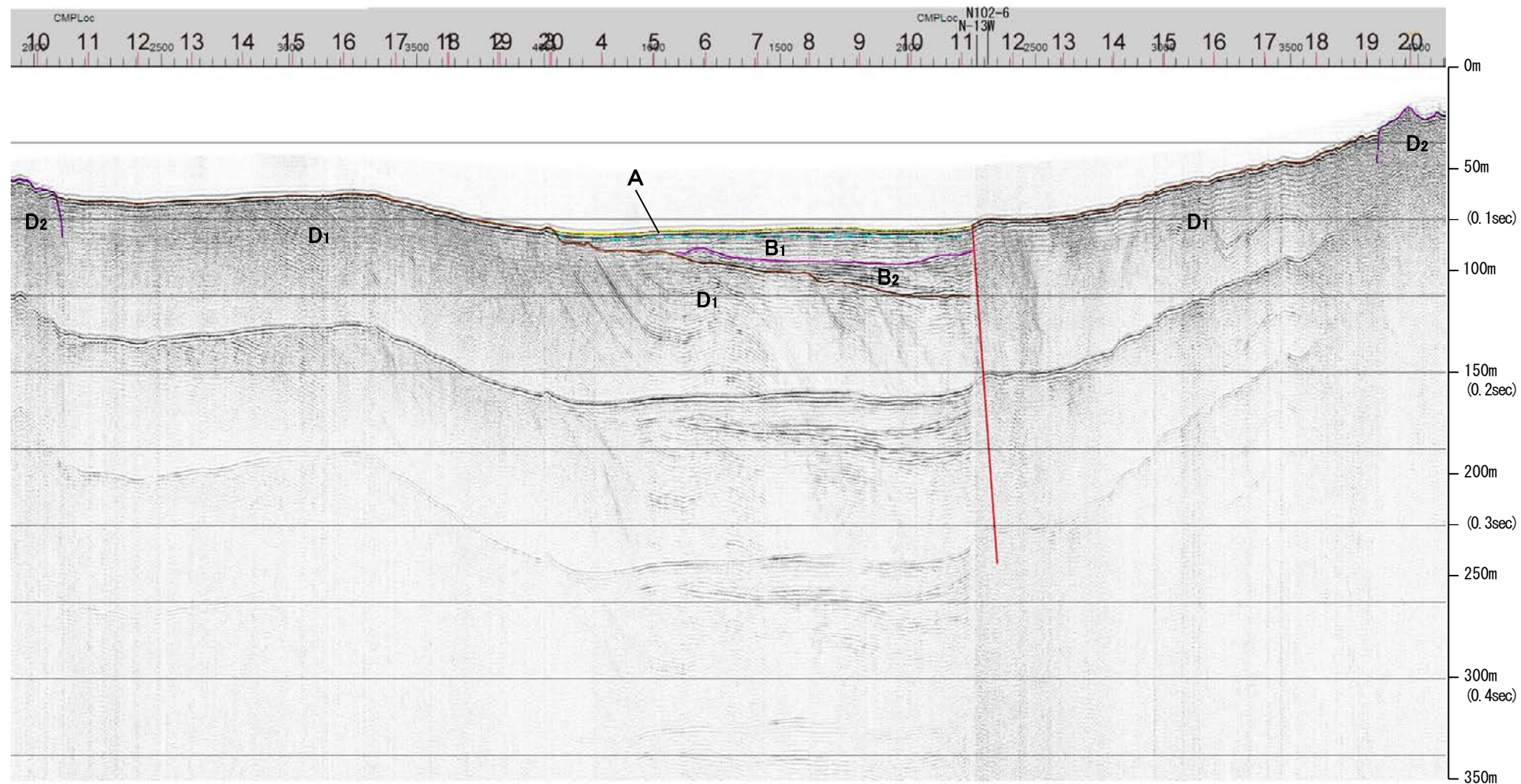


産総研ブーマー N13-2,N13-3

←NW

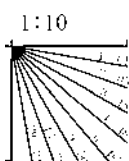
SE→

能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B層
	中世	前期	B ₁ 層
		後期	B ₂ 層
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
	古第三紀	D ₁ 層	
先第三紀		D ₂ 層	

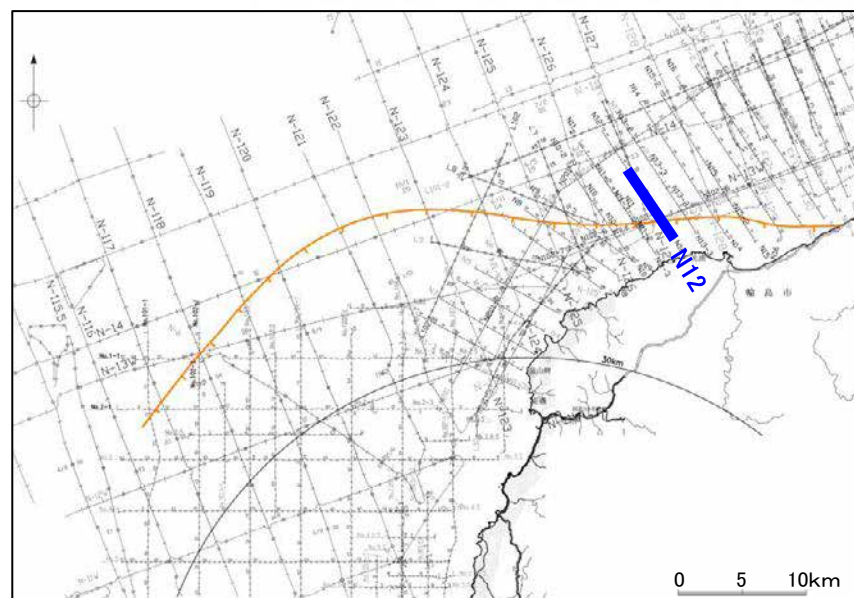
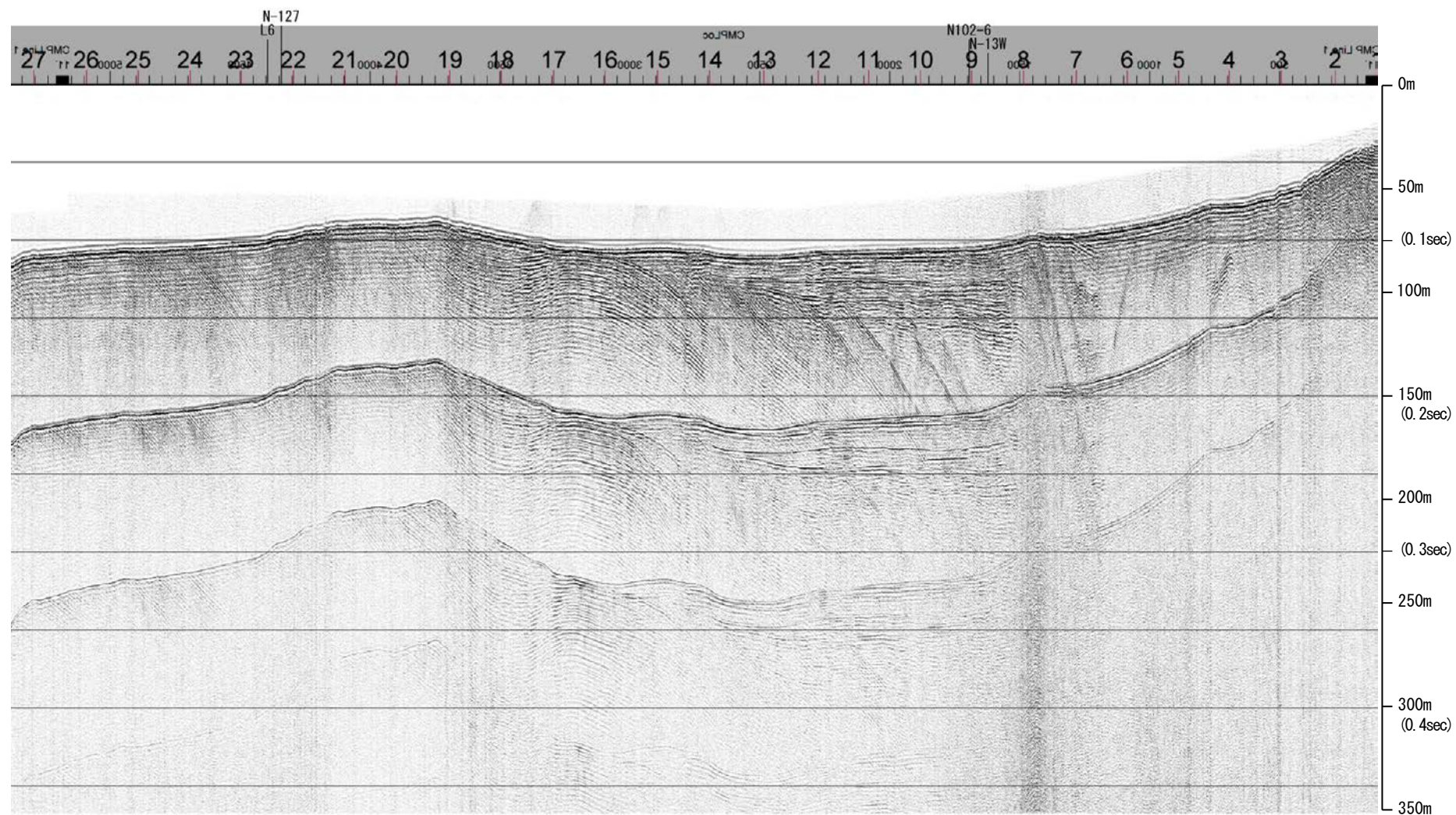


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N12

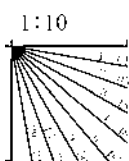
←NW

SE→

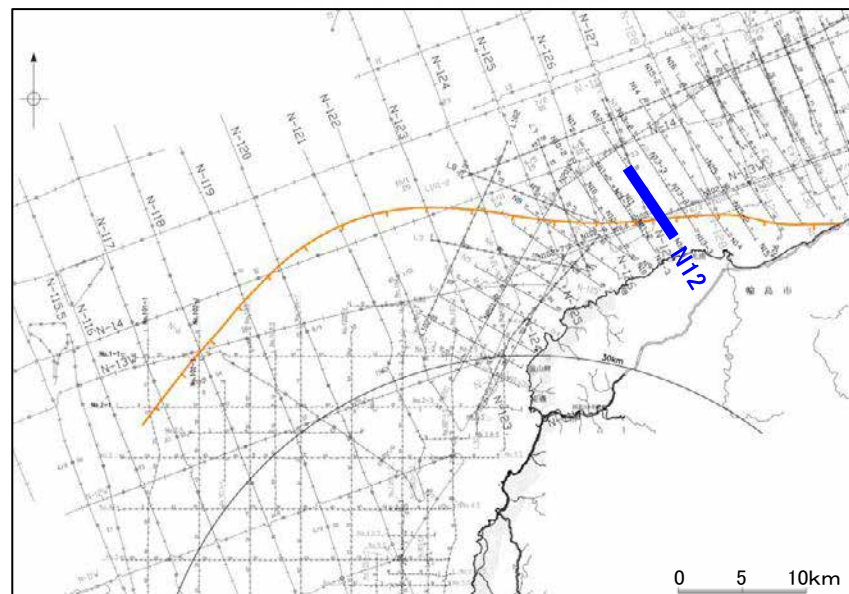
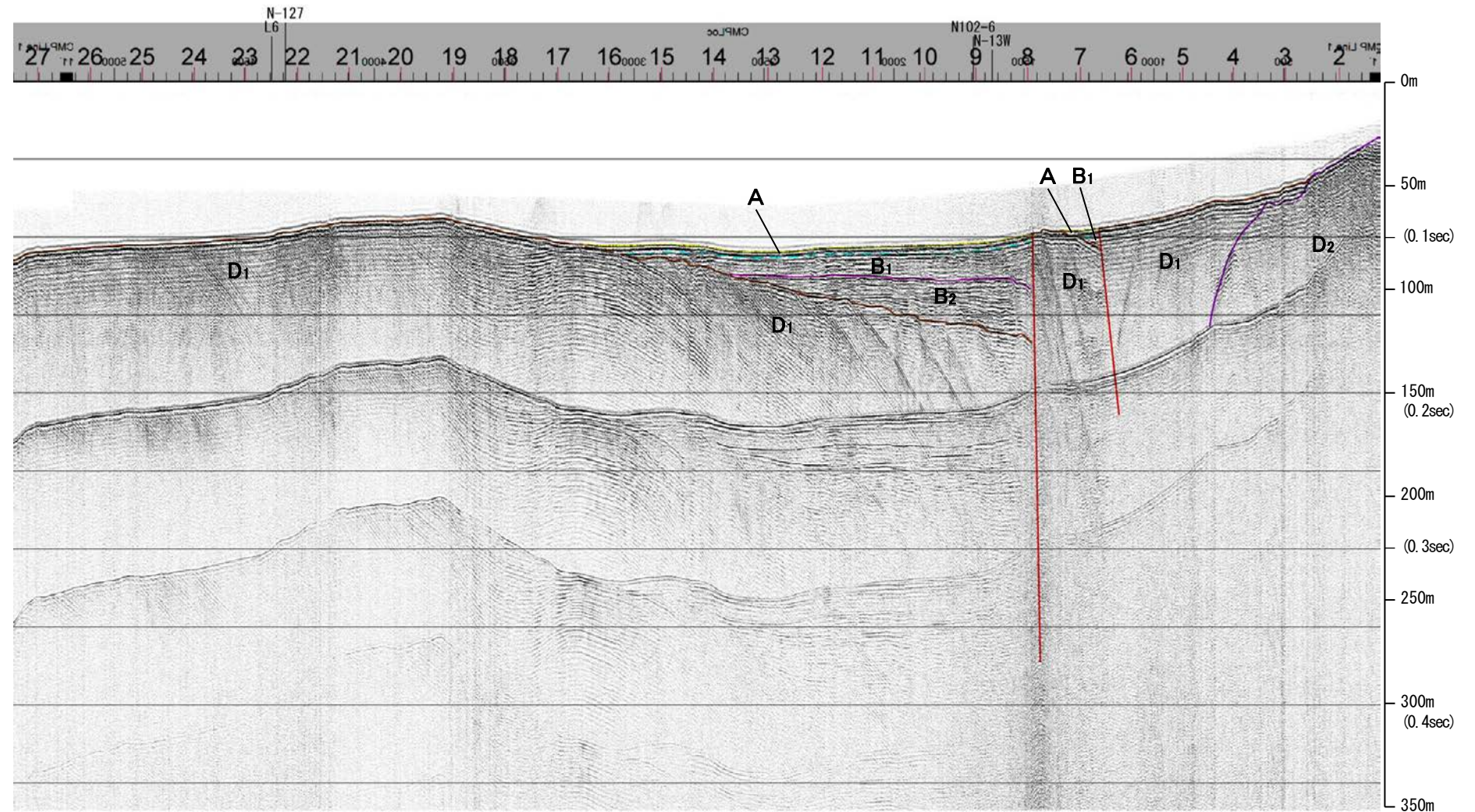


約1km

地質時代		地層名	
第四紀	更新世	完新世	A層
		後期	B層
	中期	Q層	B層
		B層	B層
前期	C層	B層	
	C層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



産総研ブーマー N12



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		中期	B層
	前期		B ₁ 層
			B ₂ 層
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	C層	
	古第三紀	D層	
先第三紀		D層	

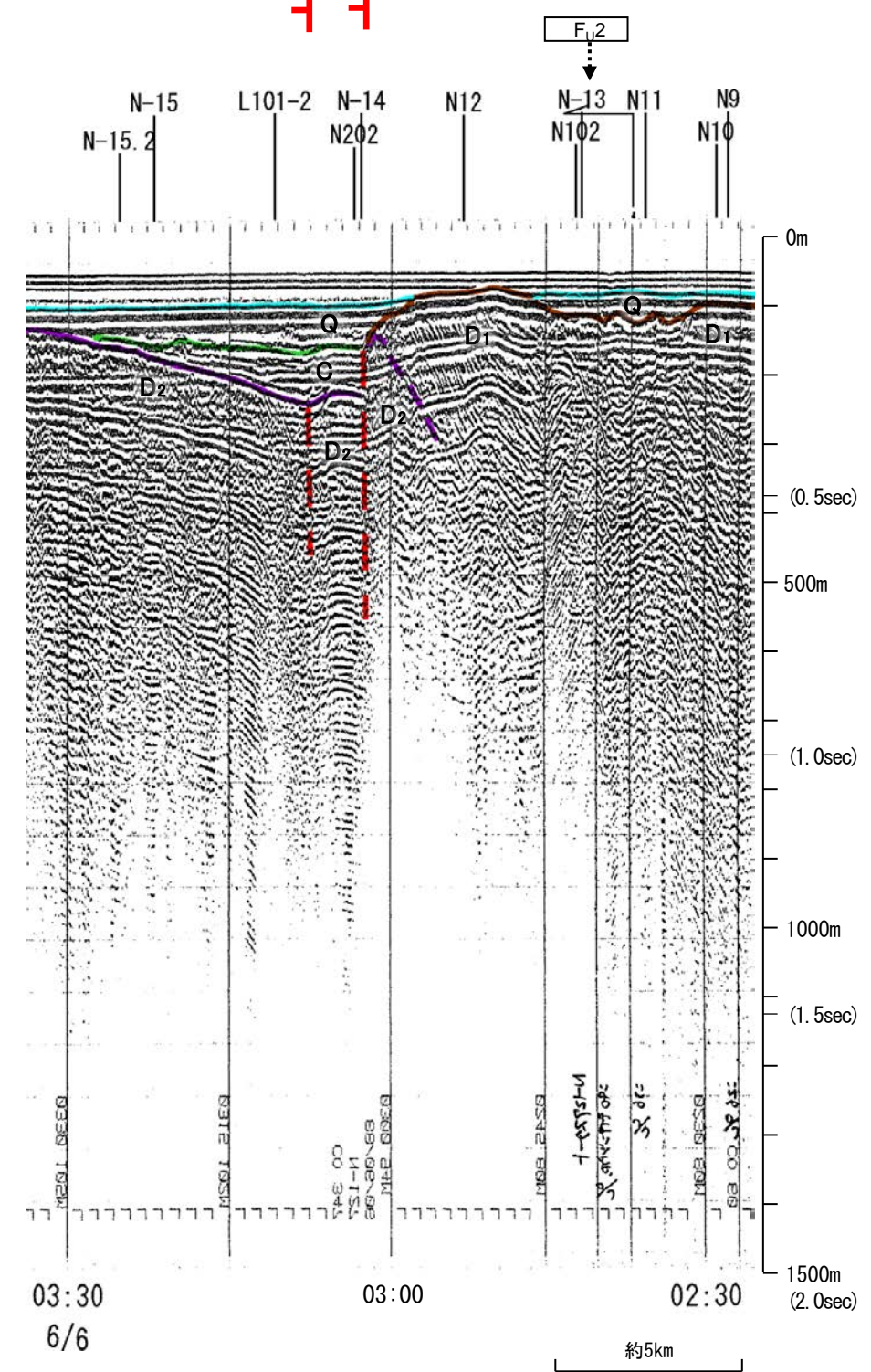
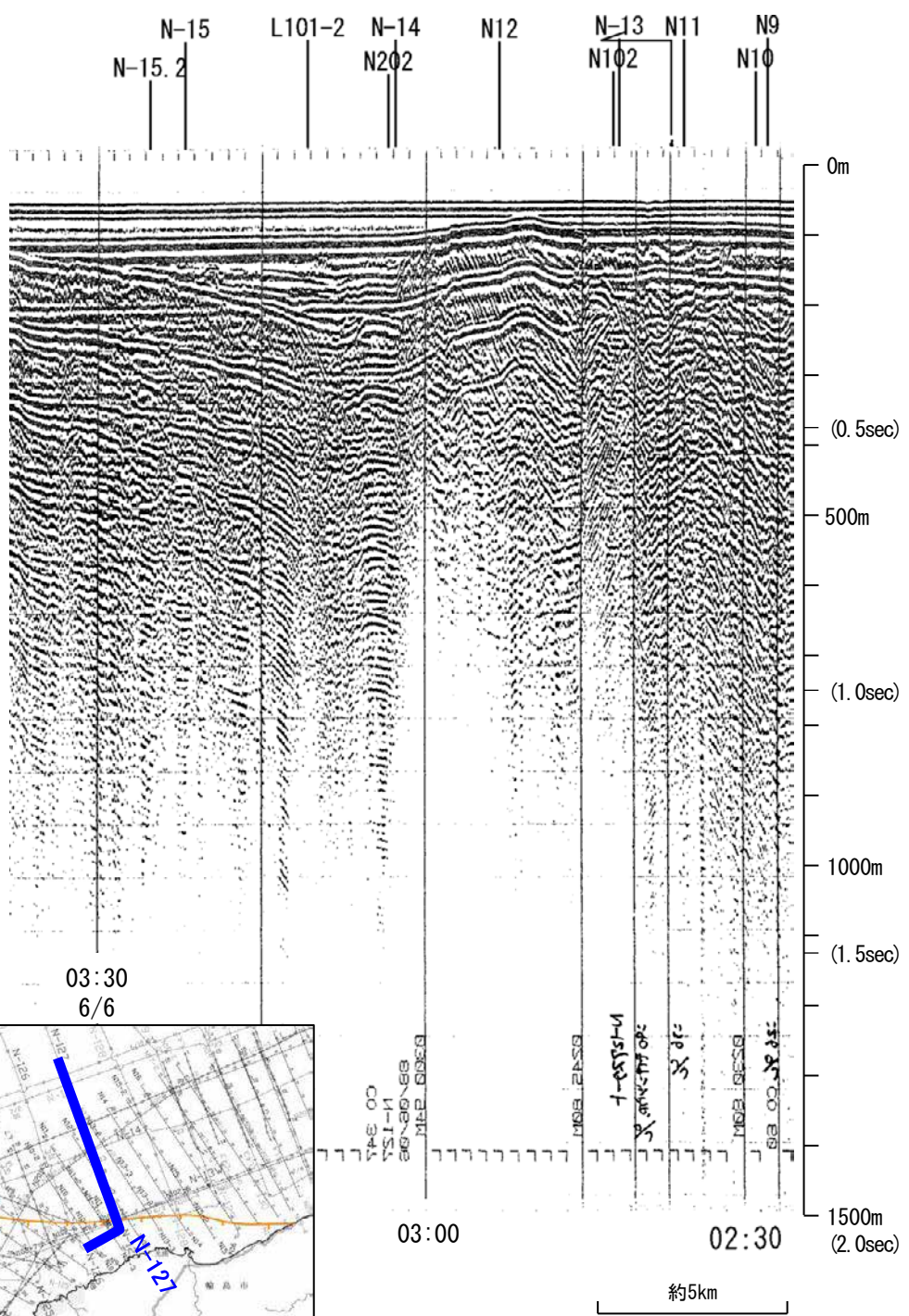
約1km

※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

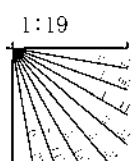
地質調査所エアガン N-127

←NW SE→

←NW SE→ 猿山岬北方沖断層

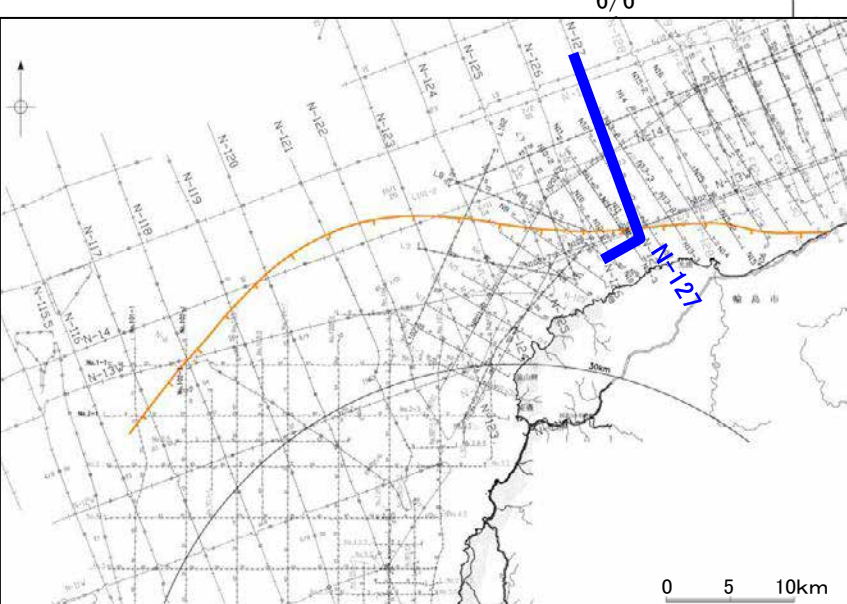


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		中期	B層
	前期	Q層	B ₁ 層
			B ₂ 層
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	C ₁ 層	
	古第三紀	D層	
先第三紀		D ₁ 層	



03:30
6/6

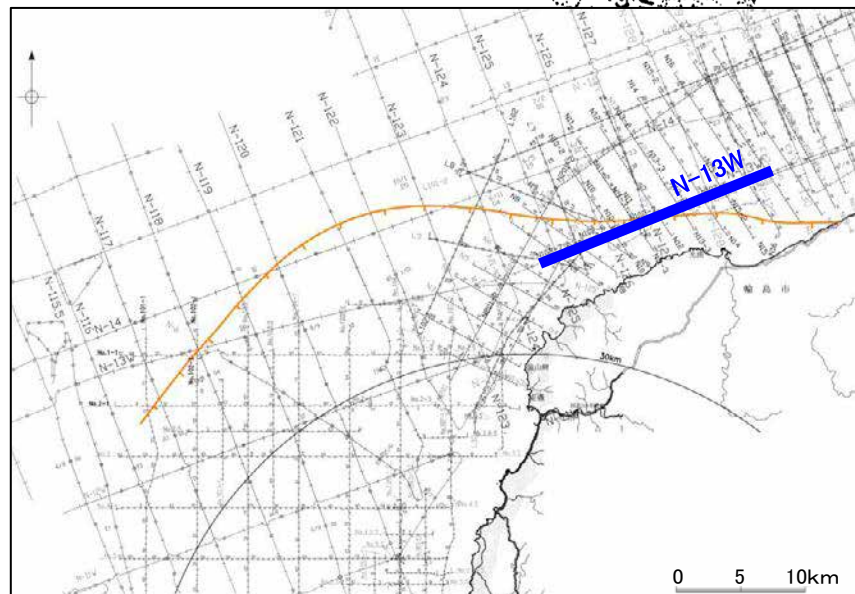
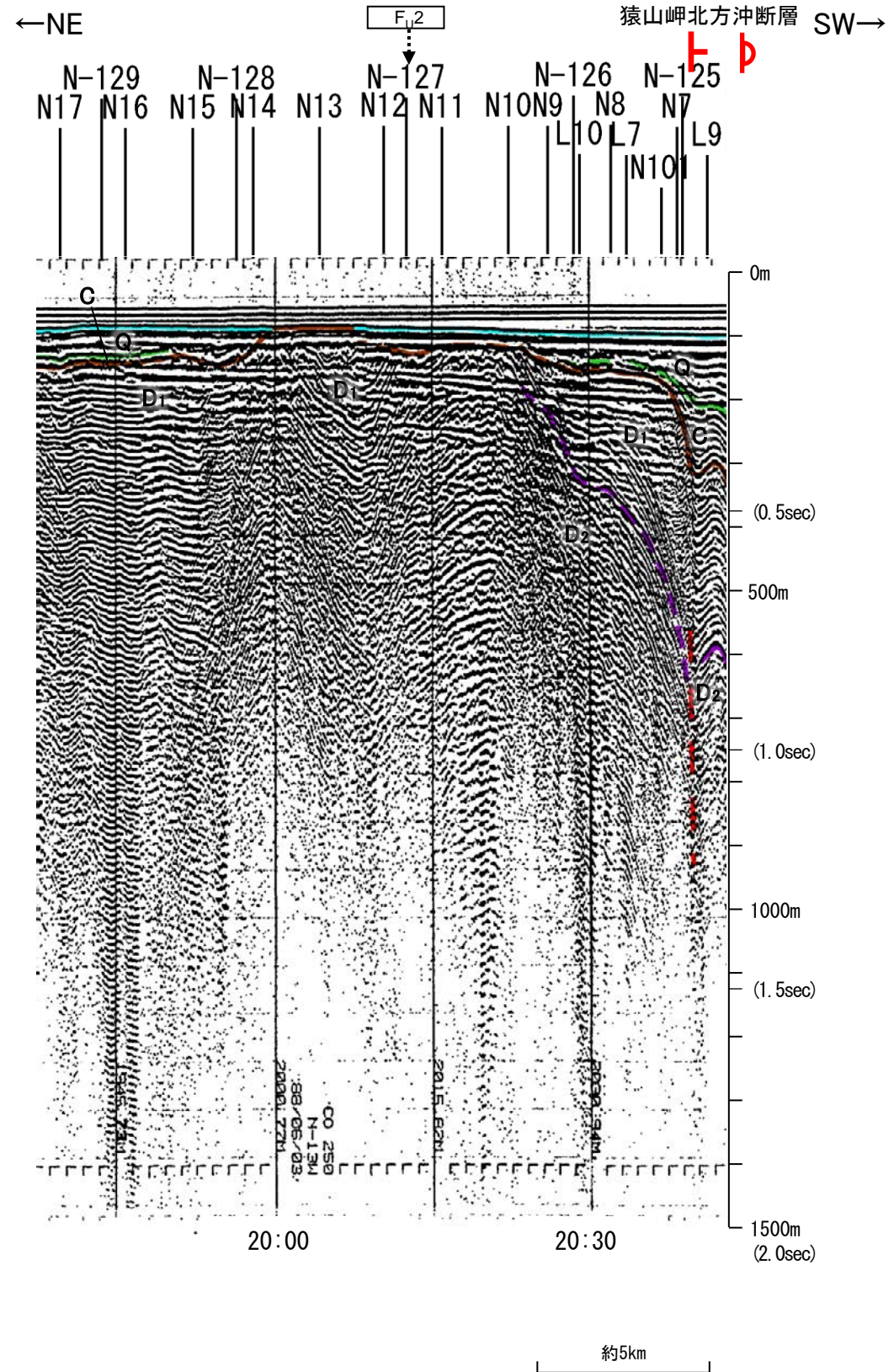
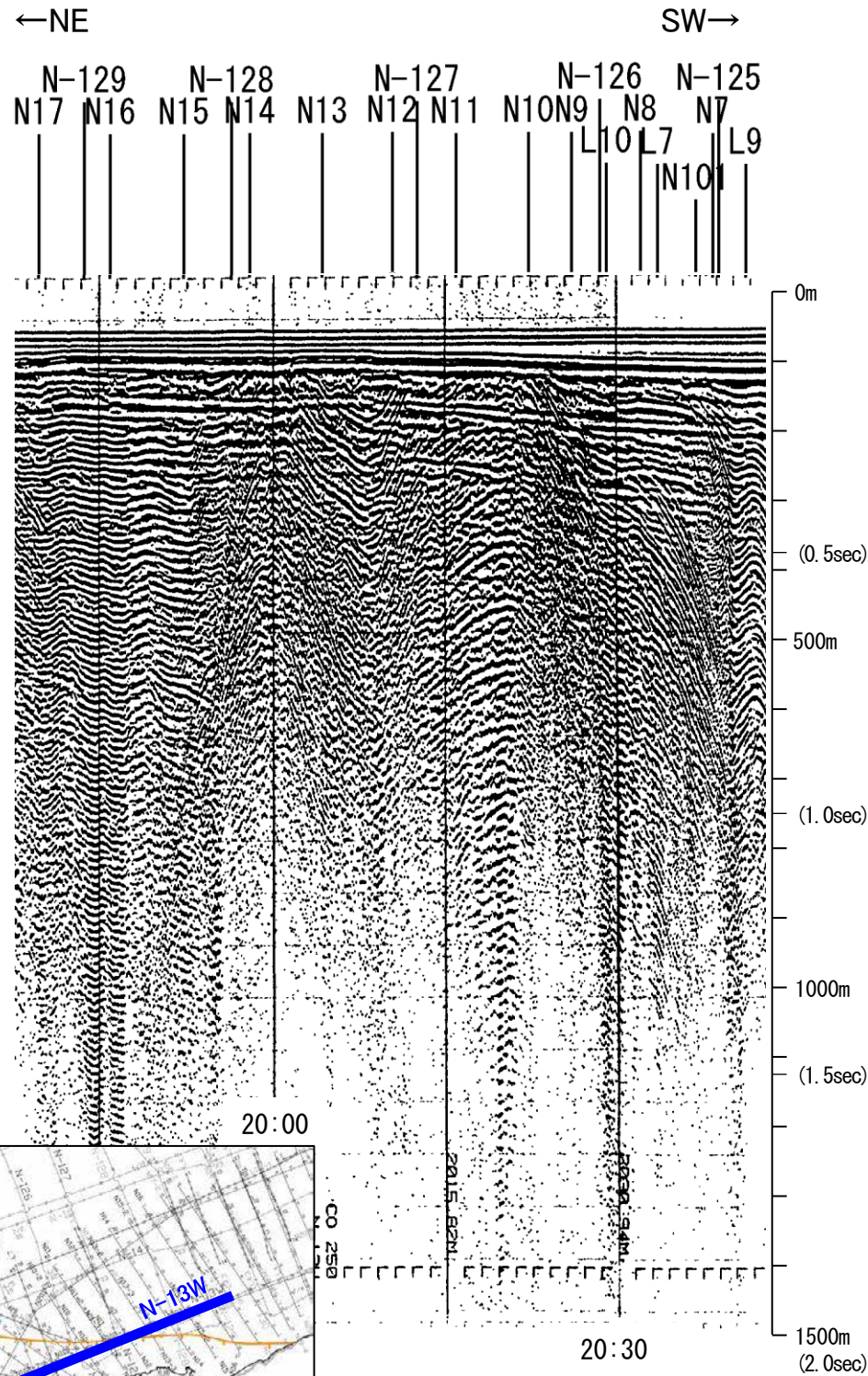
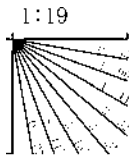
03:30
6/6



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-13W

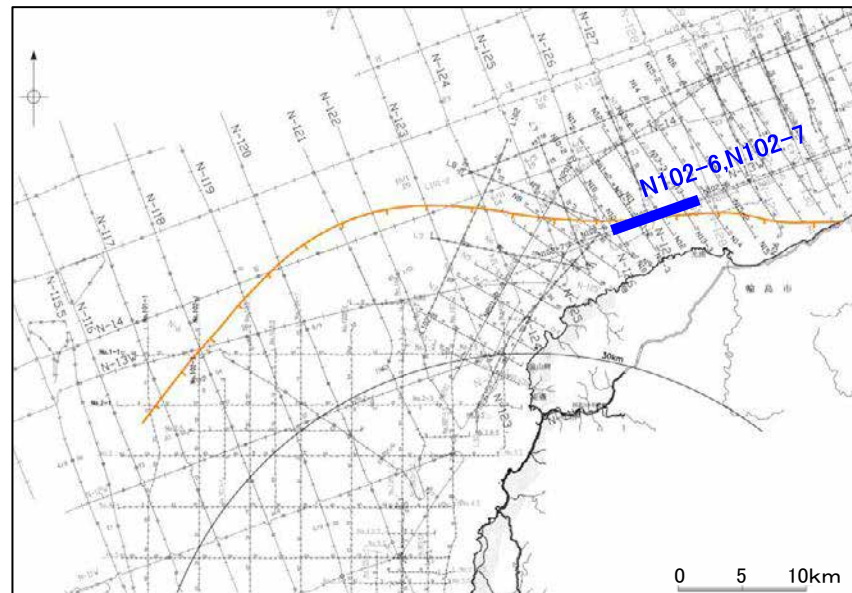
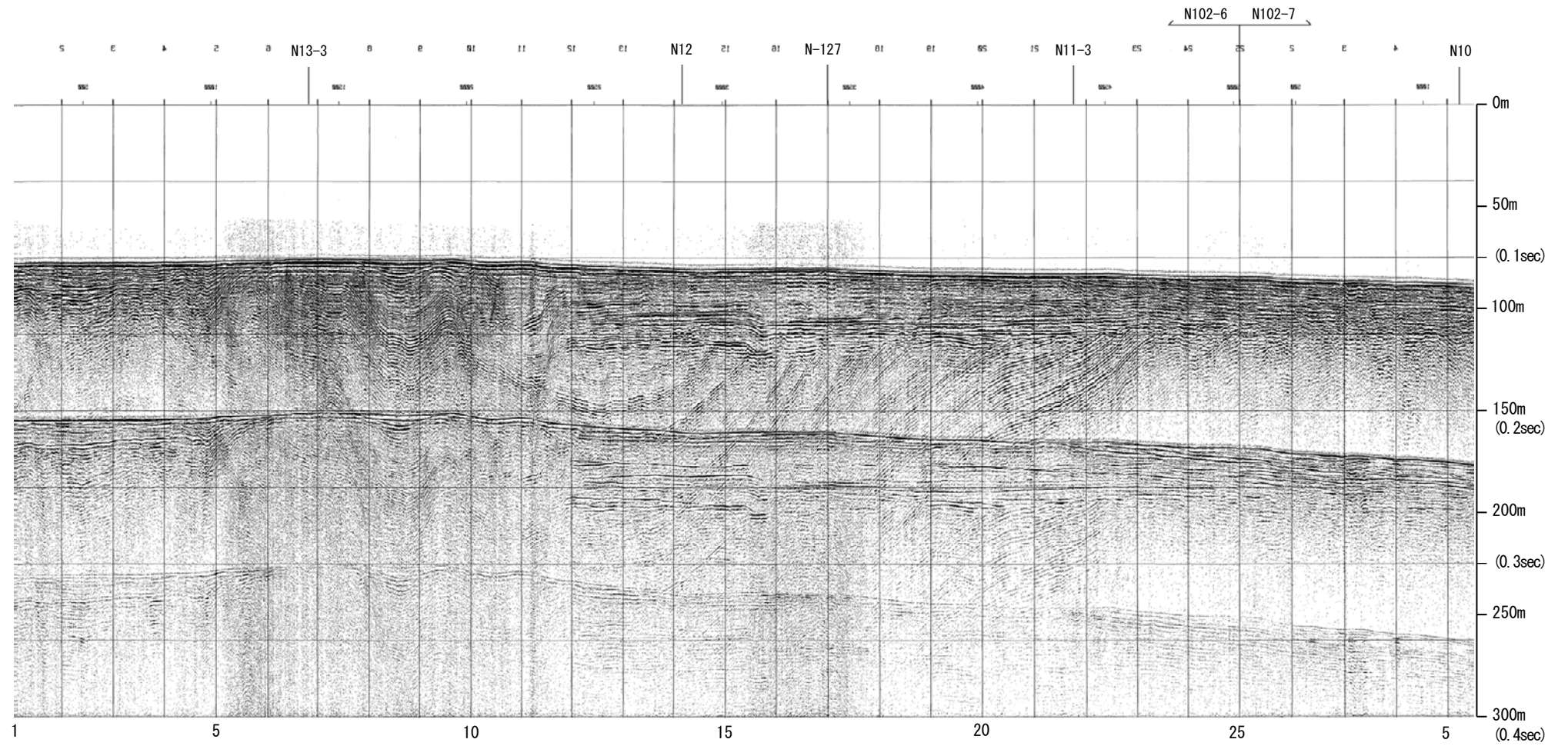
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	更新世	Q層
中期	B ₁ 層	
	B ₂ 層	
前期	C ₁ 層	
	C ₂ 層	
第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
		D ₃ 層
古第三紀		
先第三紀		



産総研ブーマー N102-6,N102-7

←ENE

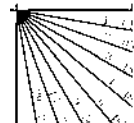
WSW→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層

1:10

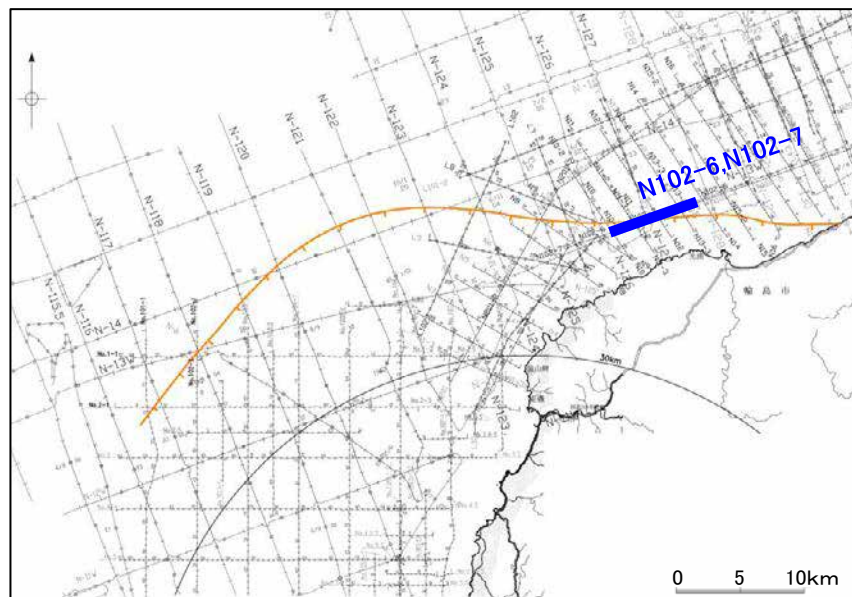
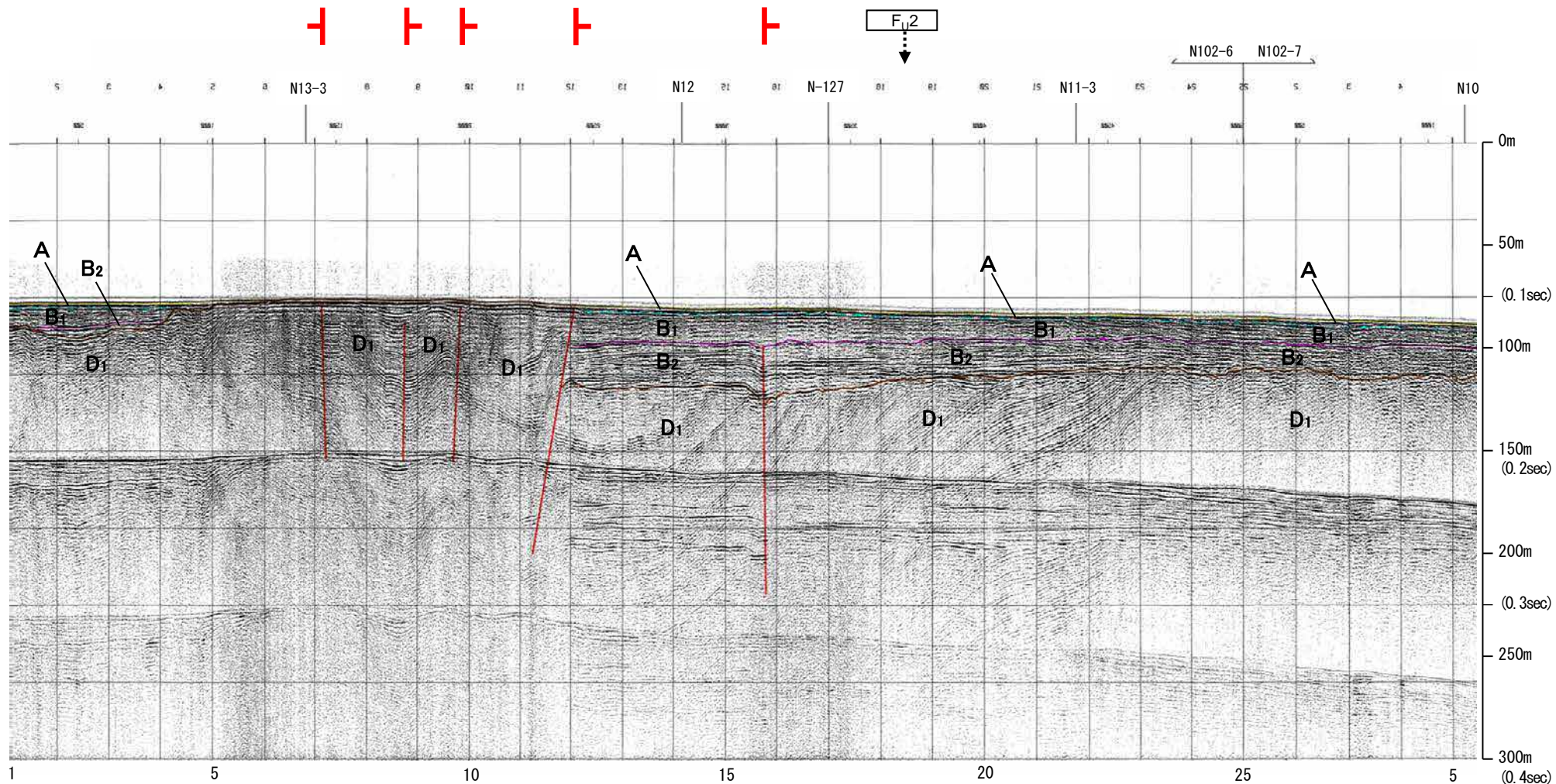


産総研ブーマー N102-6,N102-7

←ENE

WSW→

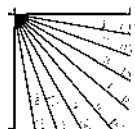
能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B ₁ 層
	更新世	中期	B ₂ 層
		前期	C層
第三紀	鮮新世	D層	C ₁ 層
	中新世		D ₁ 層
	古第三紀		D ₂ 層
先第三紀			D ₂ 層

1:10

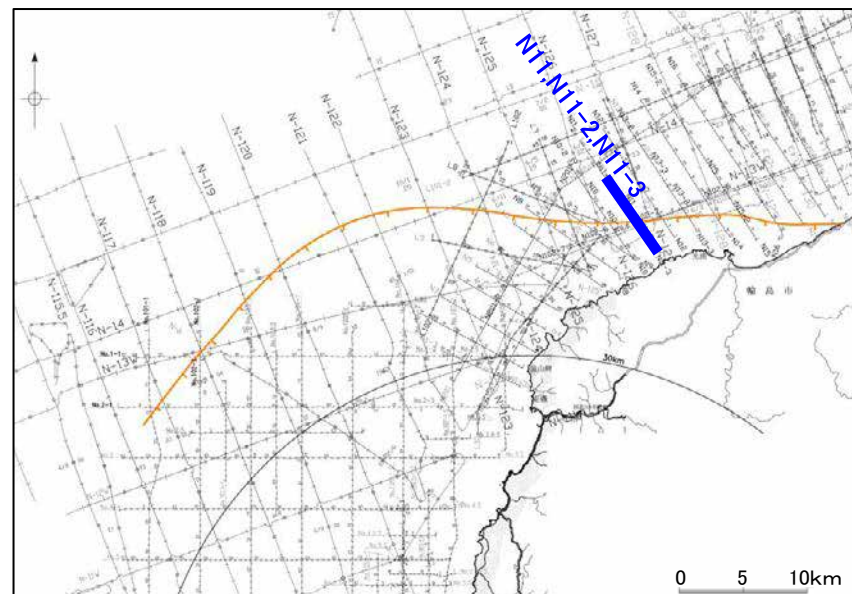
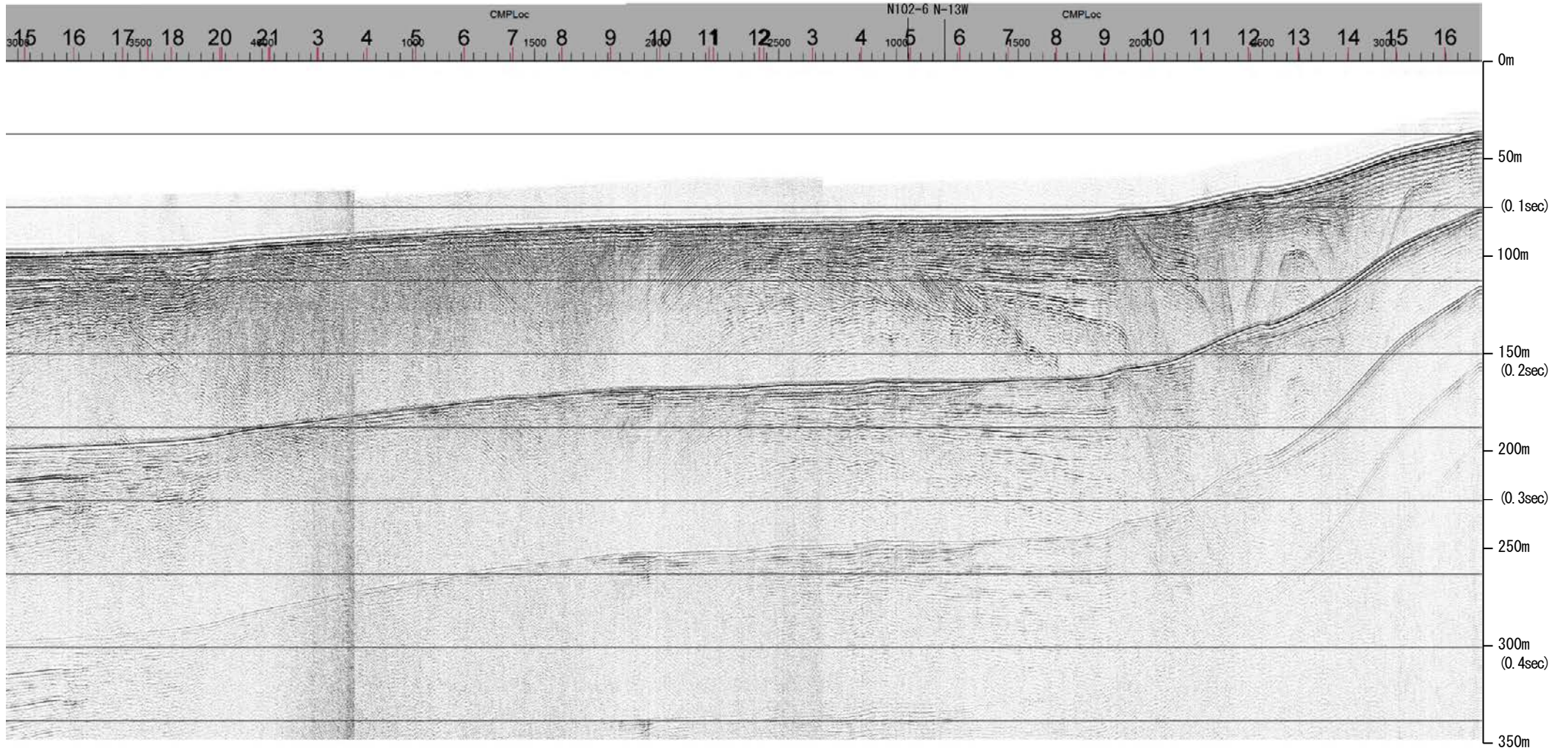


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N11,N11-2,N11-3

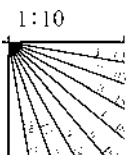
←NW

SE→

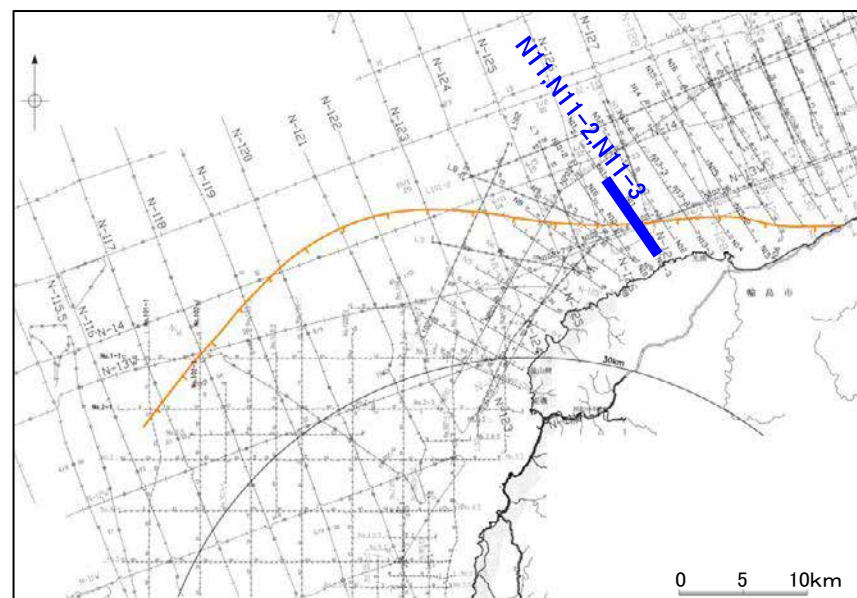
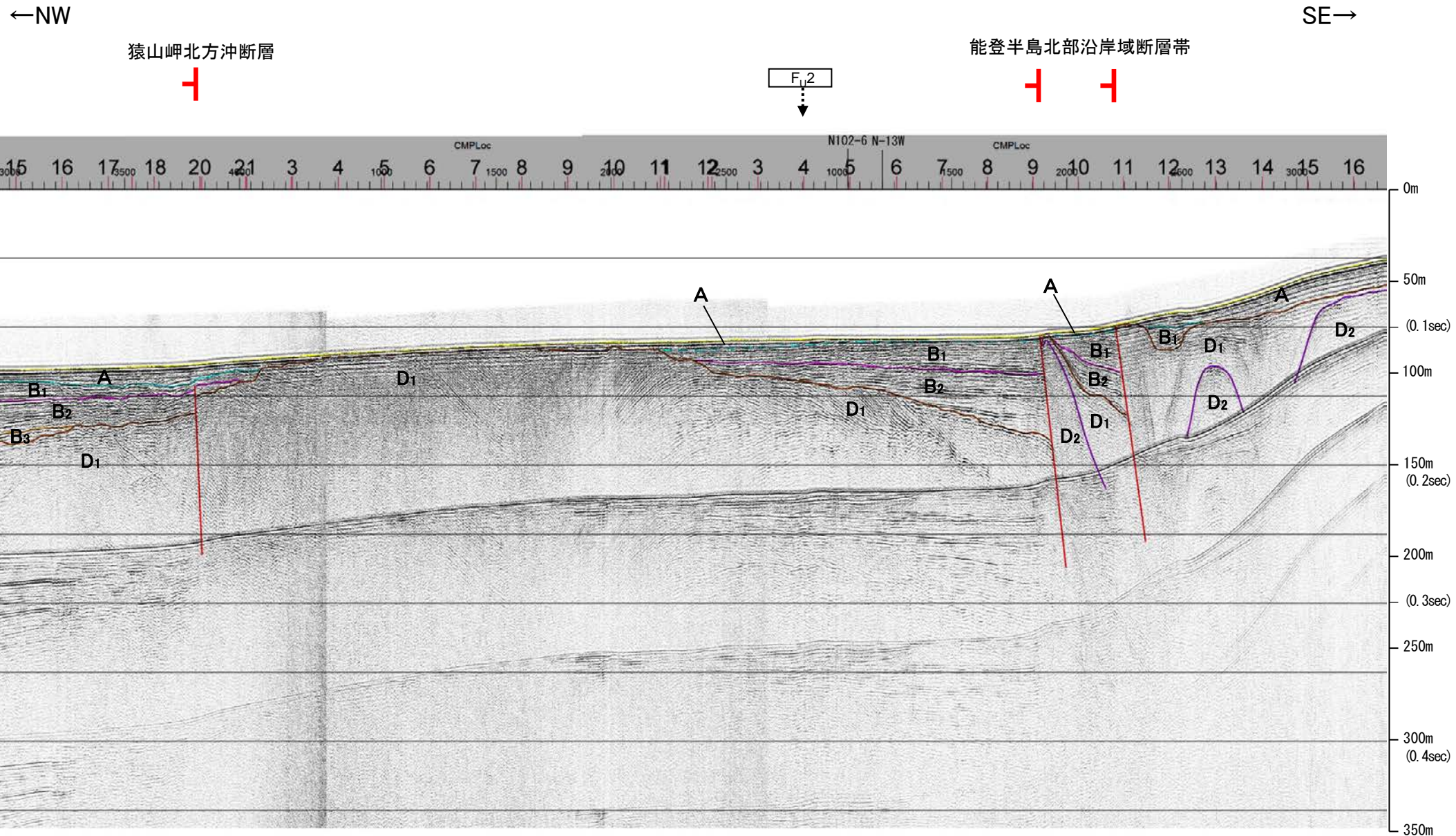


約1km

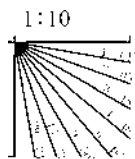
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層



産総研ブーマー N11,N11-2,N11-3



地質時代		地層名		
第四紀	完新世	A層	A層	
	後期	B層	B層	
		B層	B層	
	中期	B層	B層	
B層		B層		
前期	C層	C層		
新第三紀	鮮新世	C層	C層	
	中新世	D層	D層	
		D層	D層	
古第三紀		D層	D層	
先第三紀			D層	D層



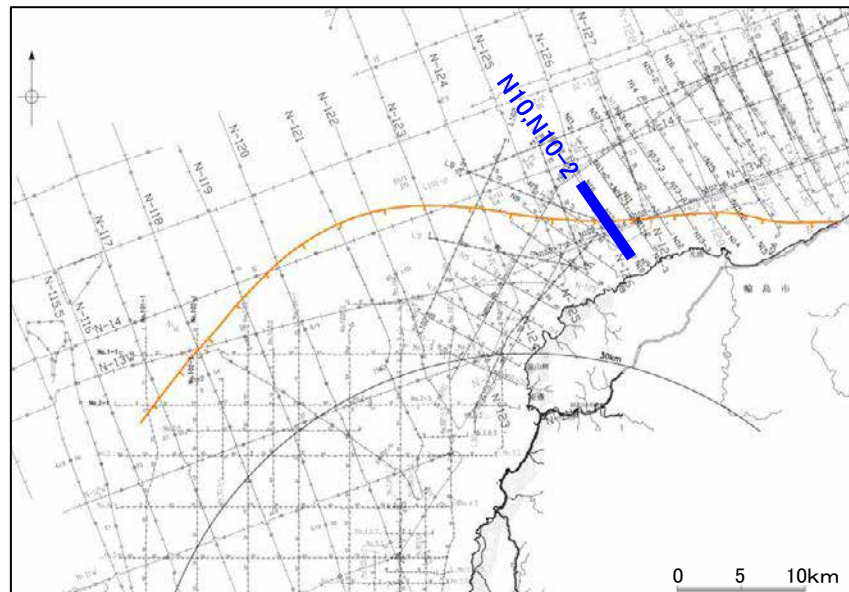
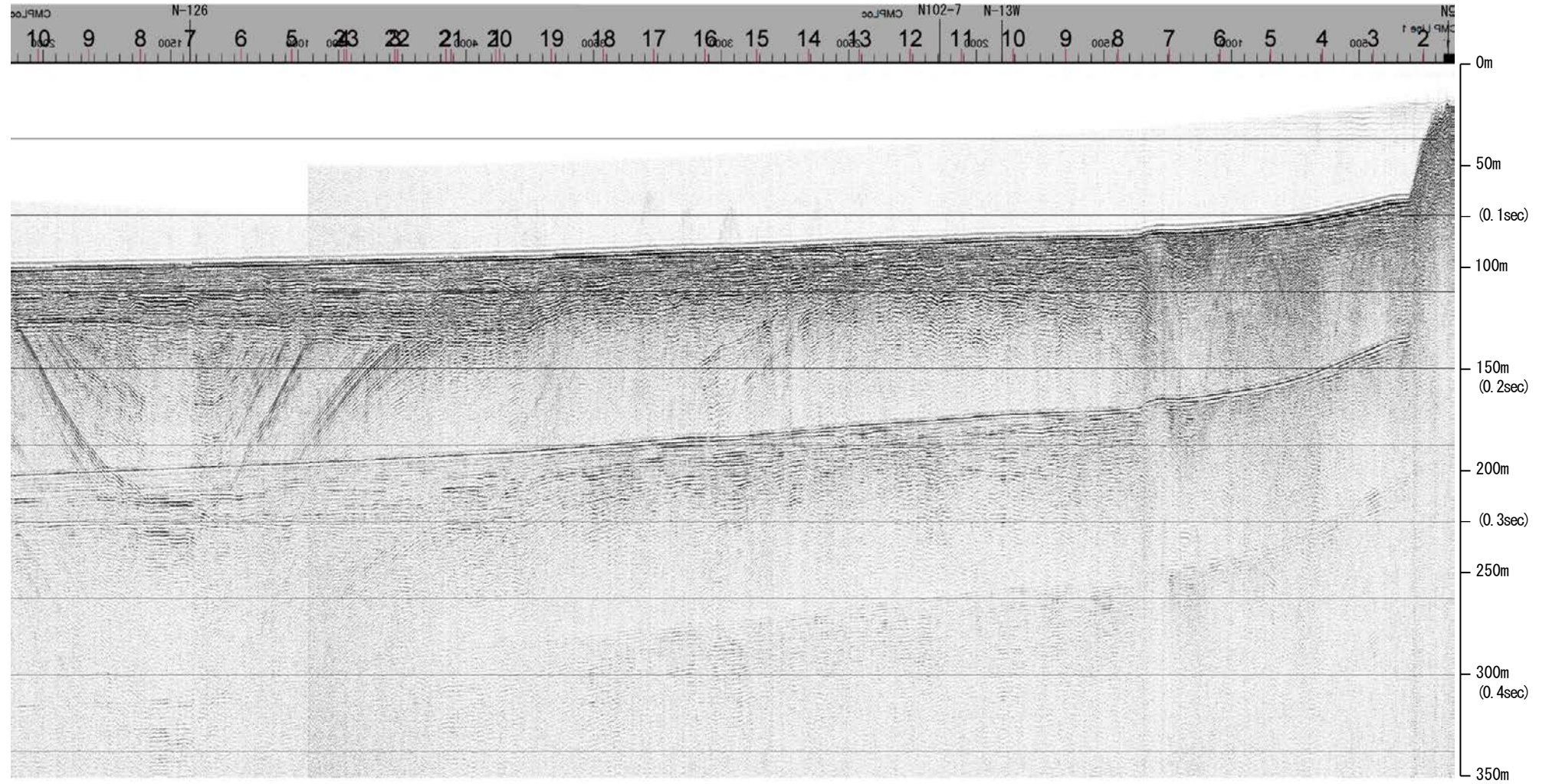
約1km

※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N10,N10-2

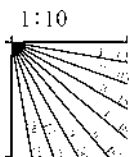
←NW

SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀			
先第三紀			



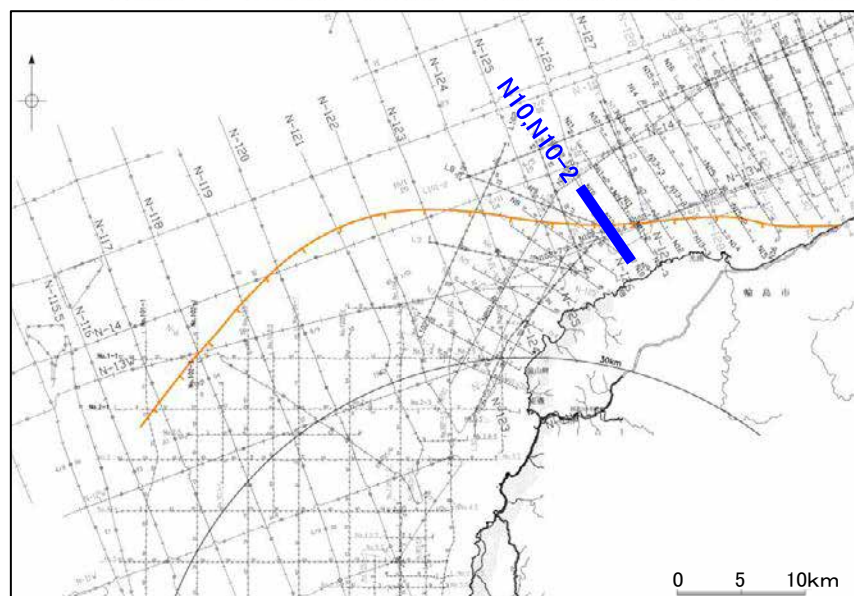
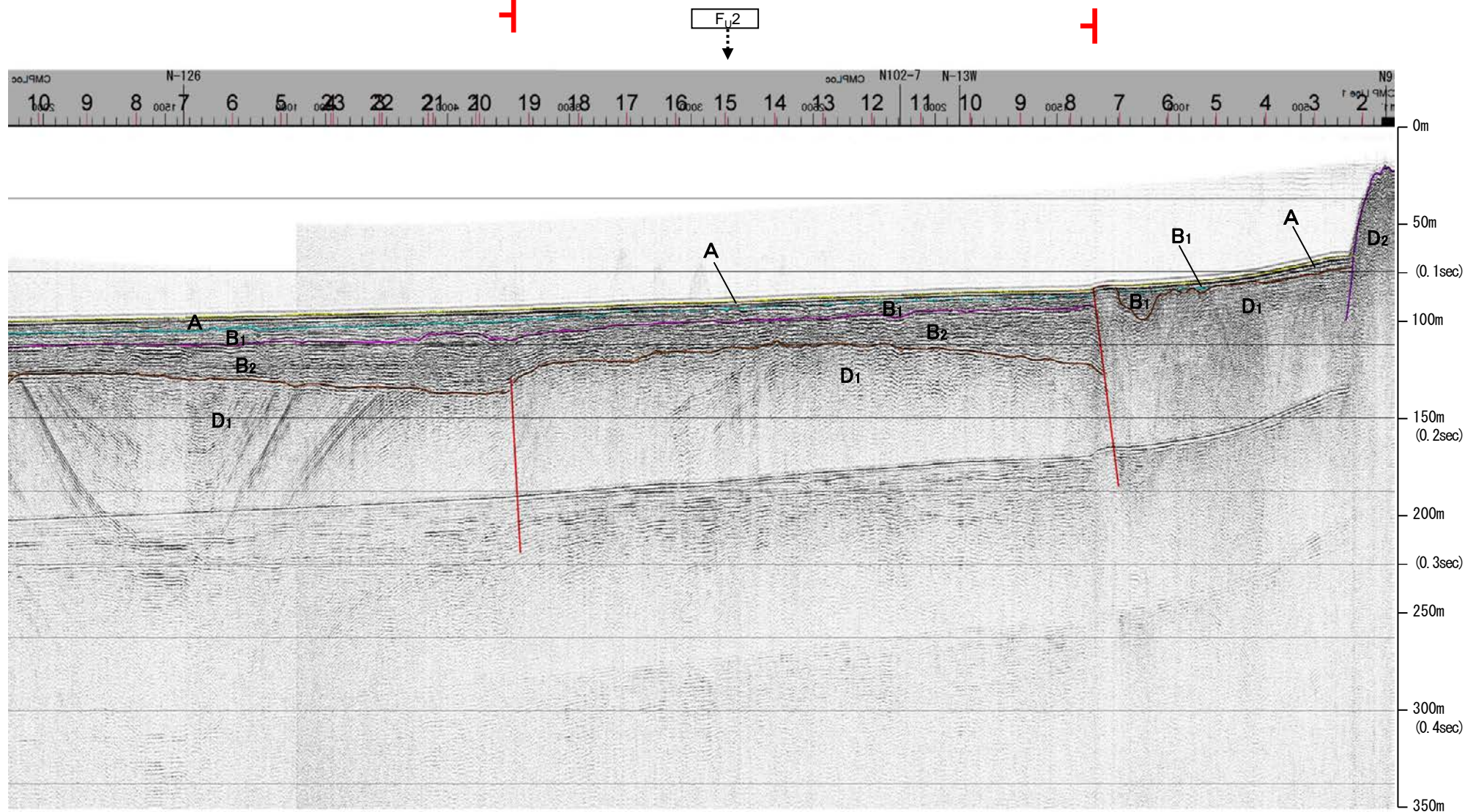
産総研ブーマー N10,N10-2

←NW

SE→

猿山岬北方沖断層

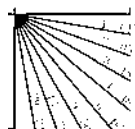
能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

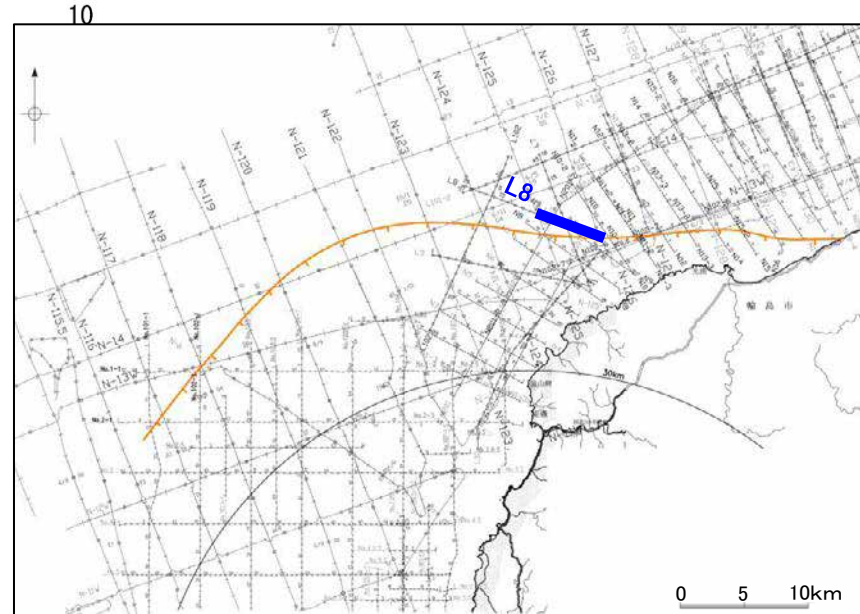
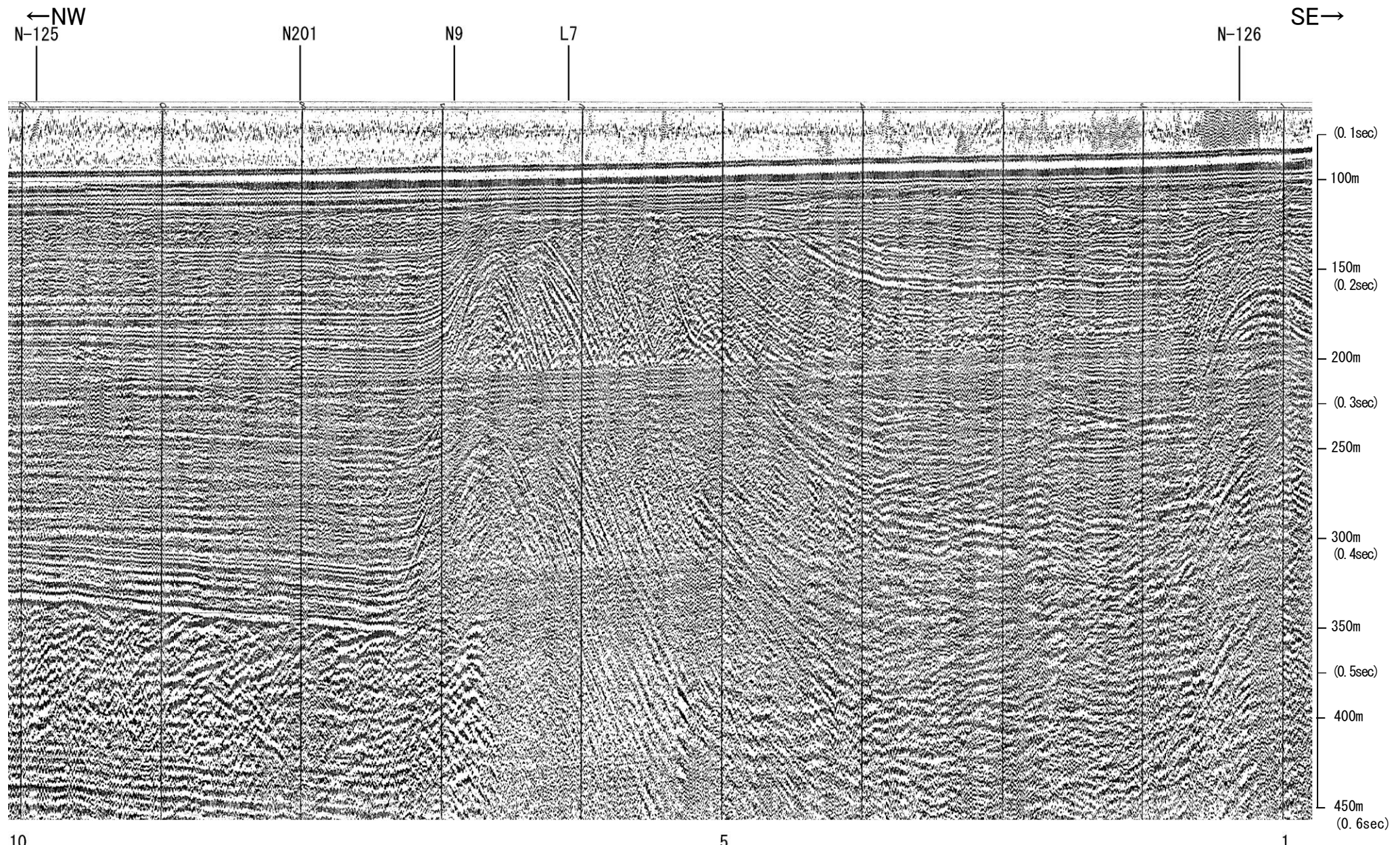
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B ₁ 層	B ₁ 層
	中期	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層

1:10



※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

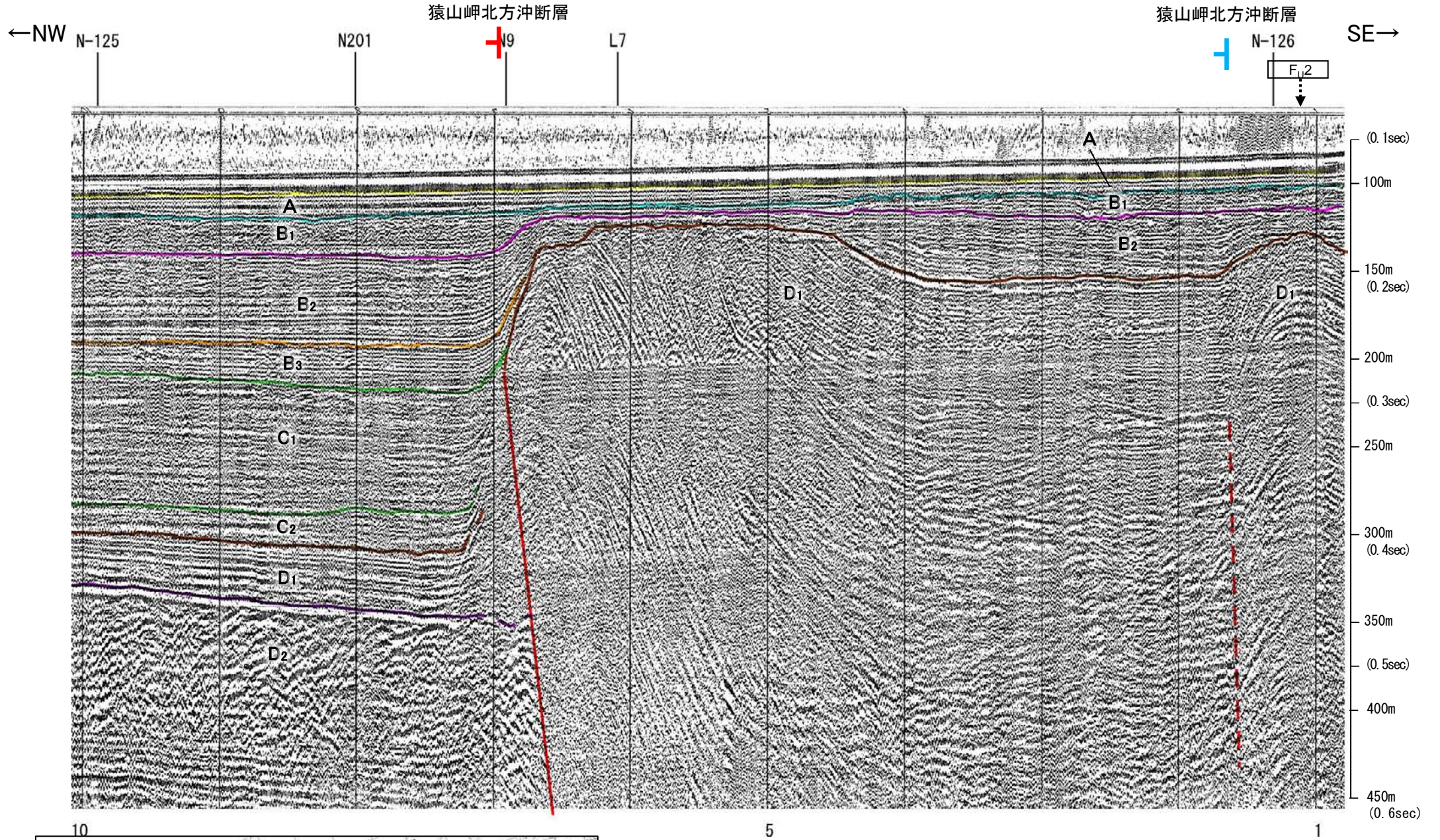
三澤(1997)ウォーターガン L8



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	更新世	後期	B層
		中期	B層
		前期	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	C層	C層
		D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	

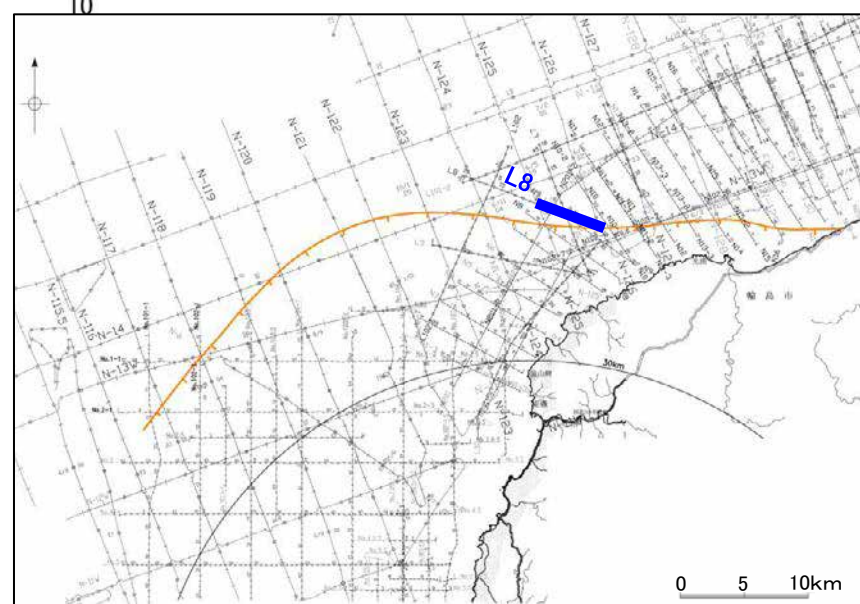
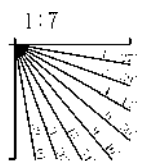
1:7

三澤(1997)ウォーターガン L8



約500m

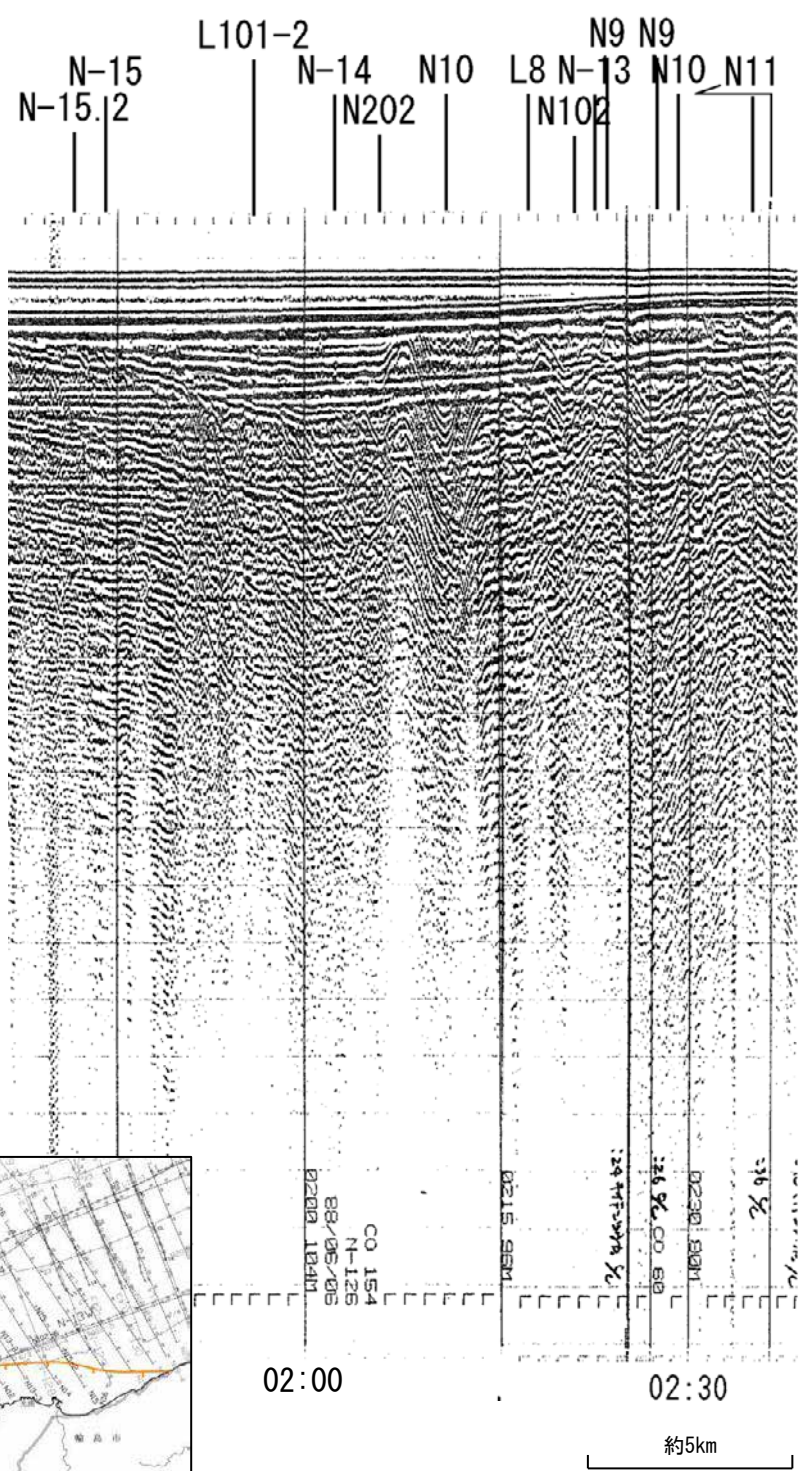
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B ₁ 層	B ₁ 層
		B ₂ 層	B ₂ 層
	中期	B ₃ 層	B ₃ 層
前期	C ₁ 層	C ₁ 層	
第三紀	鮮新世	C ₂ 層	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層	D ₁ 層
古第三紀		D ₂ 層	D ₂ 層
先第三紀			



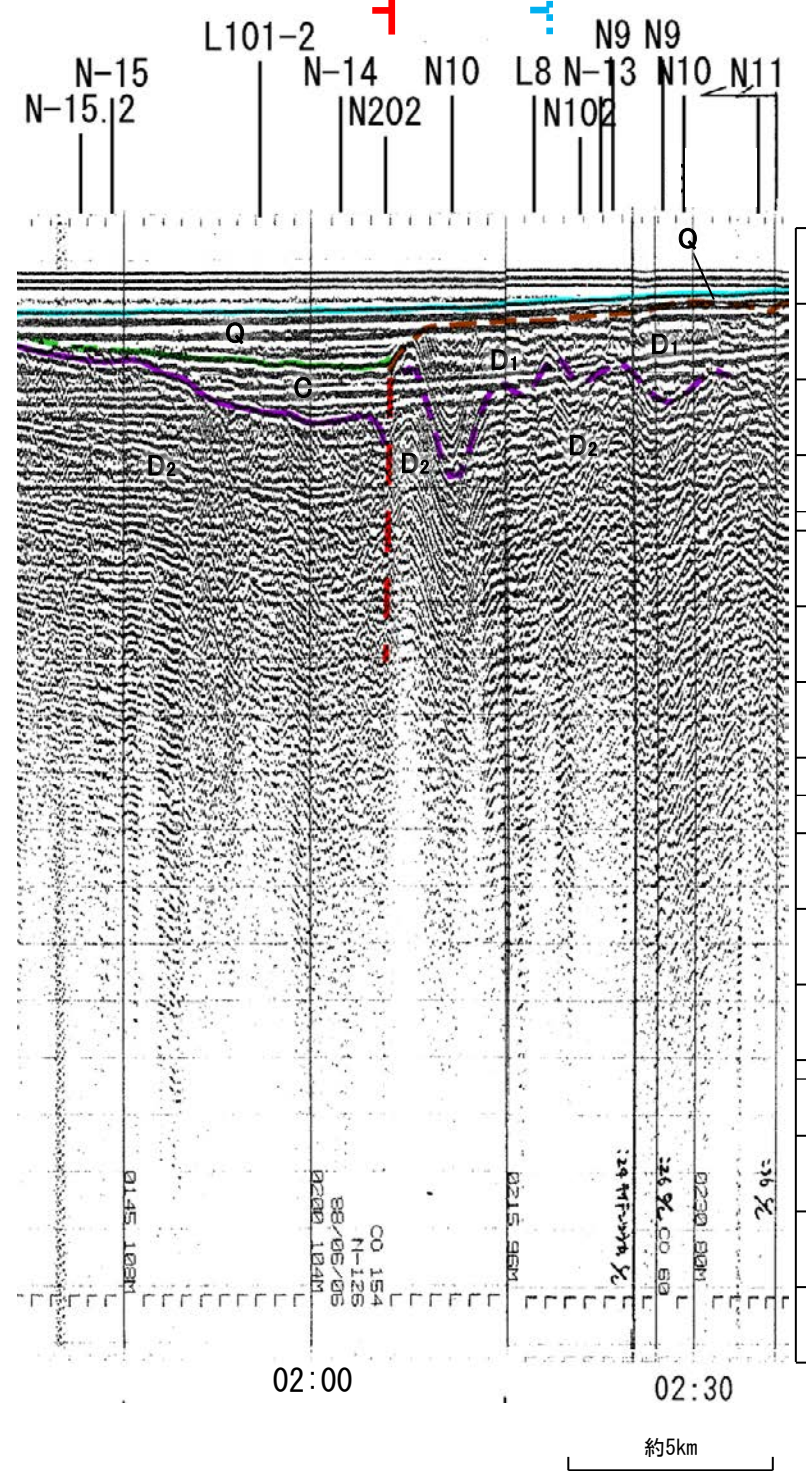
・この図面は、三澤(1997)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-126

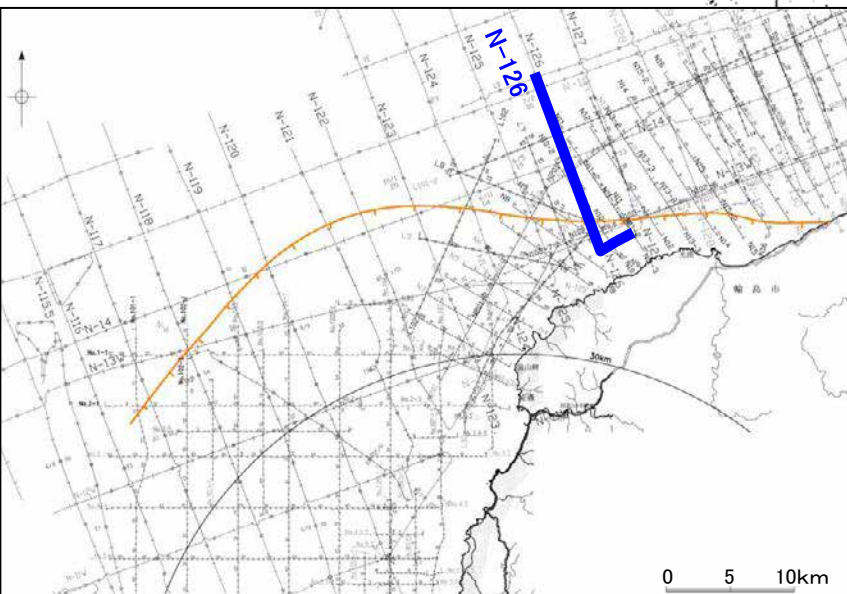
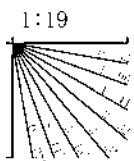
←NW SE→



←NW SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B ₁ 層
	中期		B ₂ 層
前期	C層	C ₁ 層	
新第三紀	鮮新世	D層	C ₂ 層
	中新世		D ₁ 層
古第三紀			D ₂ 層
先第三紀			

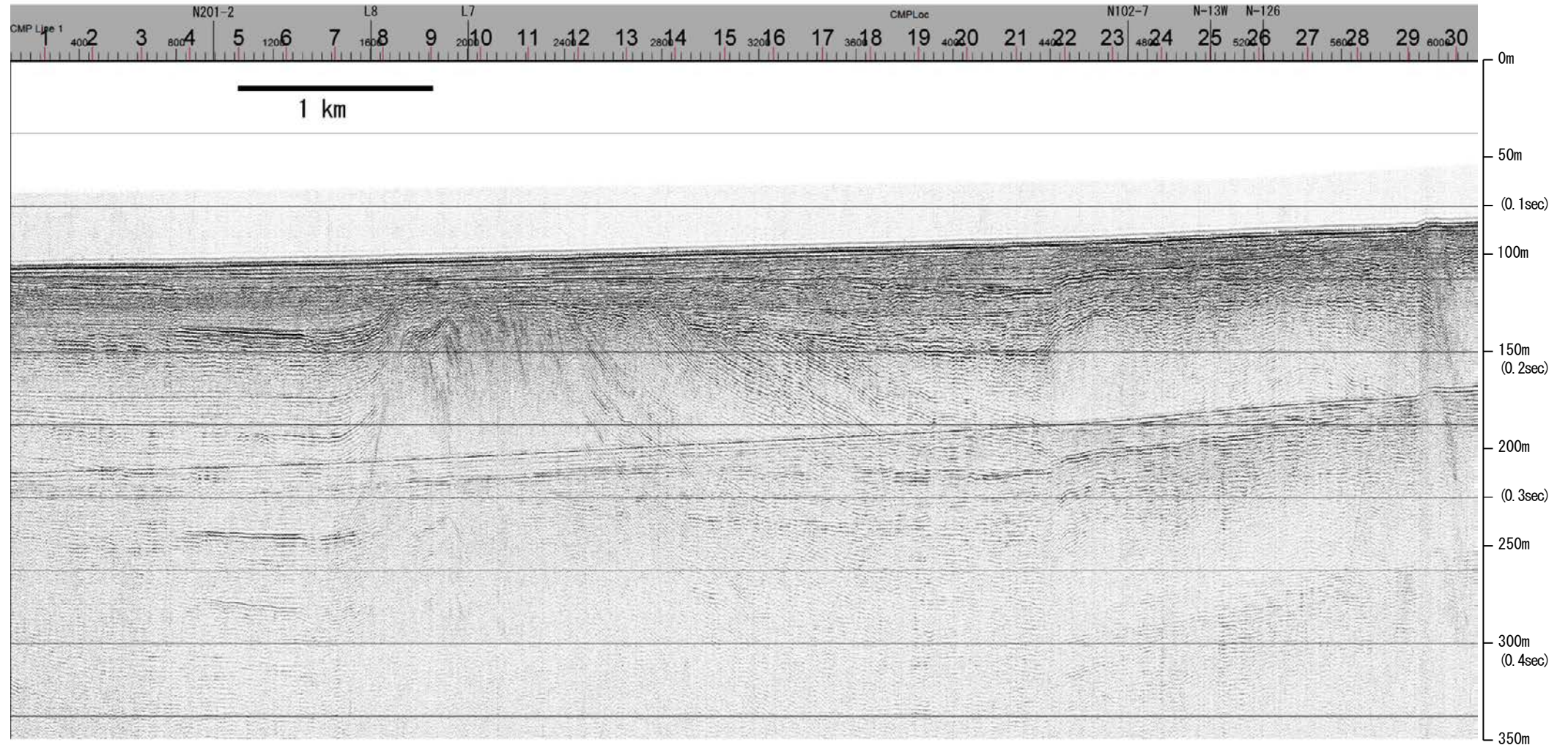


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

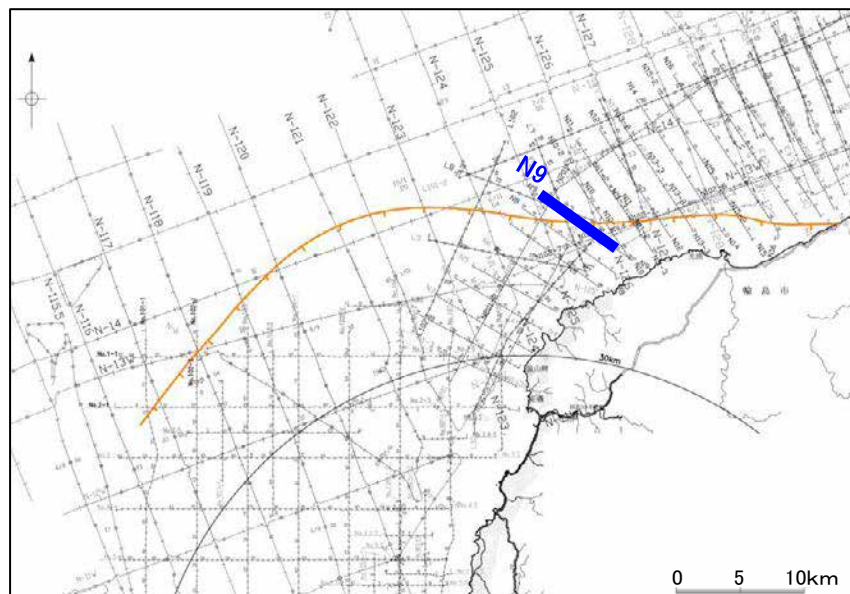
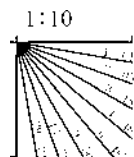
産総研ブーマー N9

←WNW

ESE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	B層
	更新世	後期	B層
		中期	B層
	前期	C層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層



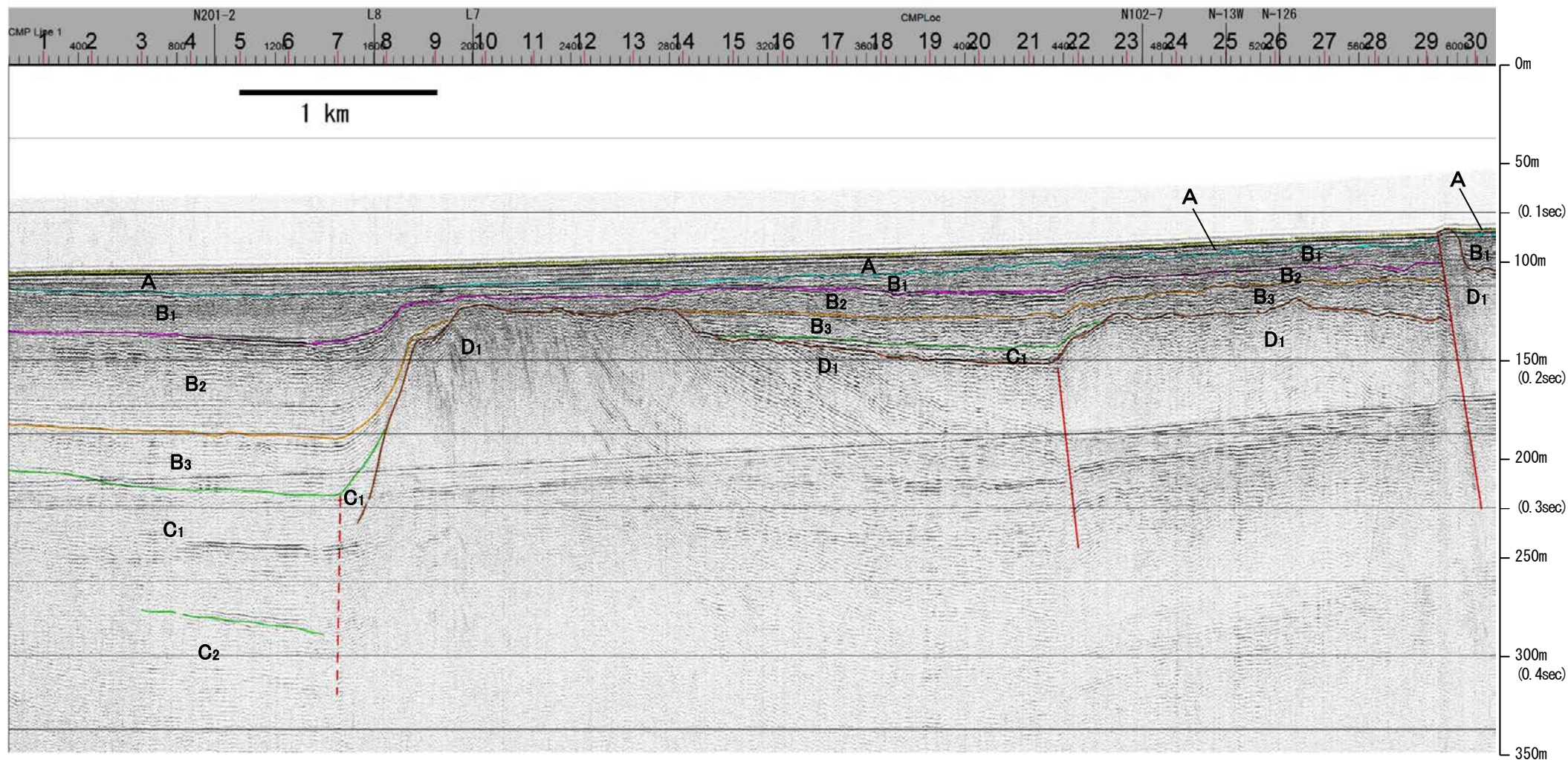
産総研ブーマー N9

←WNW

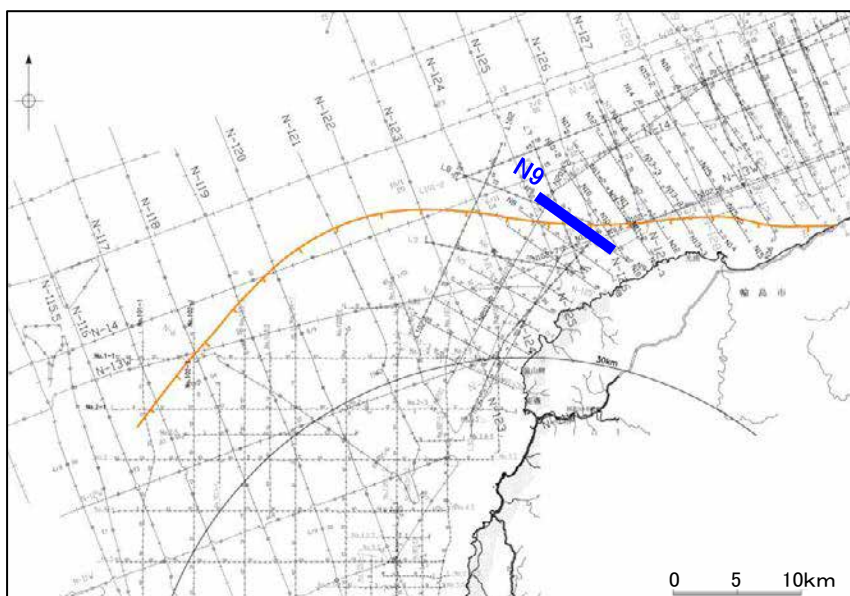
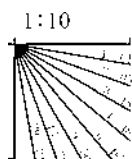
ESE→

猿山岬北方沖断層

猿山岬北方沖断層

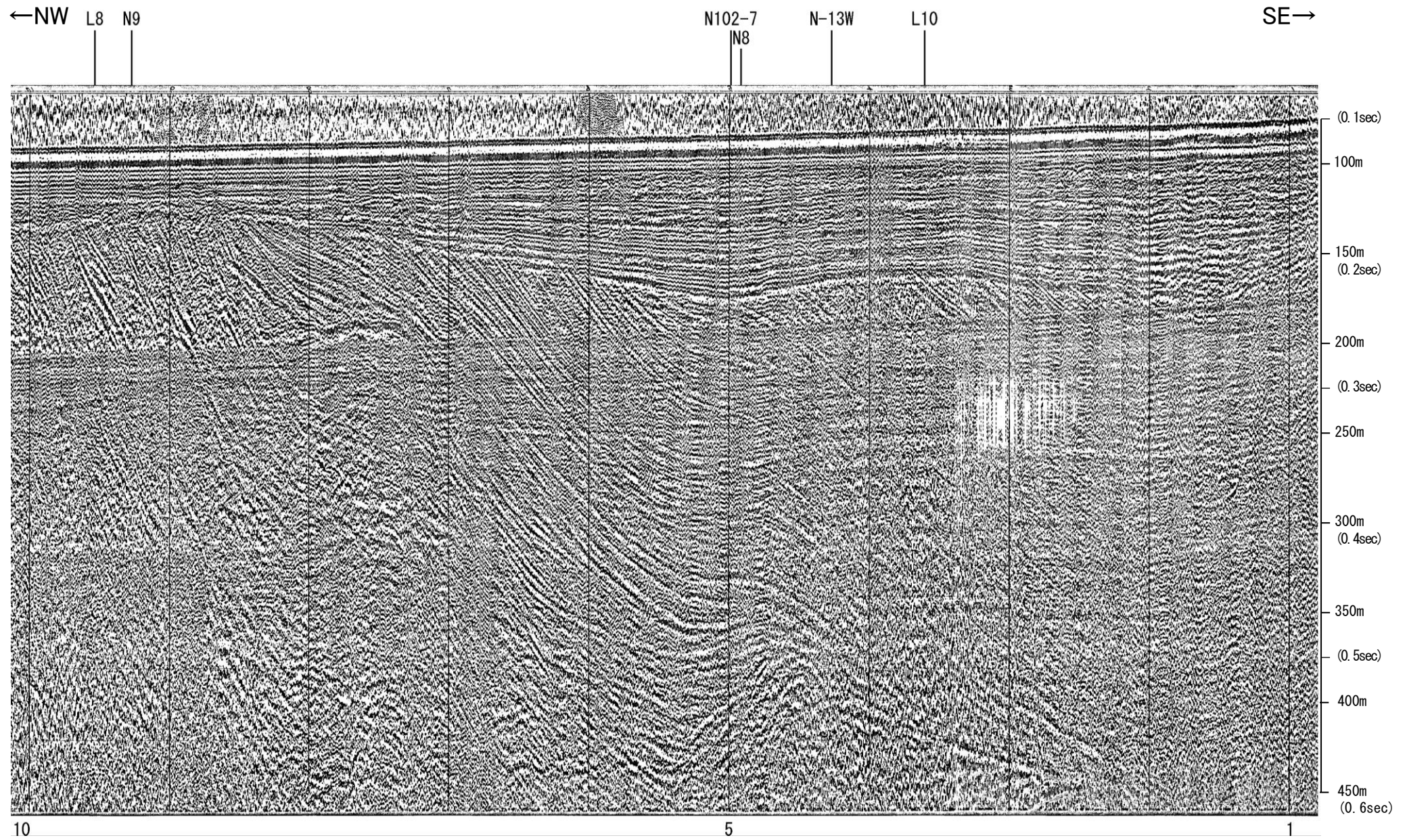


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B ₁ 層	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層	B ₂ 層
前期	B ₃ 層	B ₃ 層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層



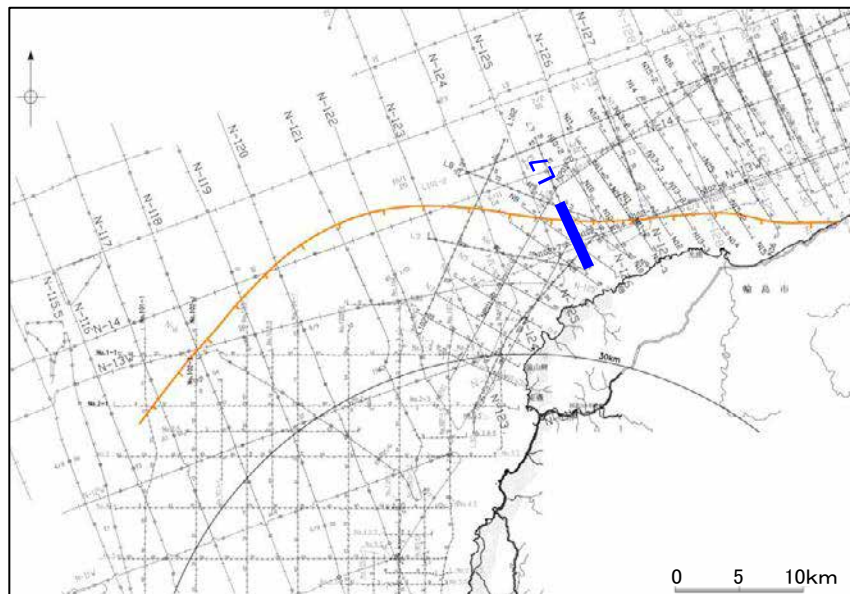
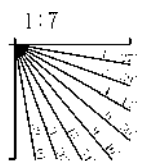
※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

三澤(1997)ウォーターガン L7

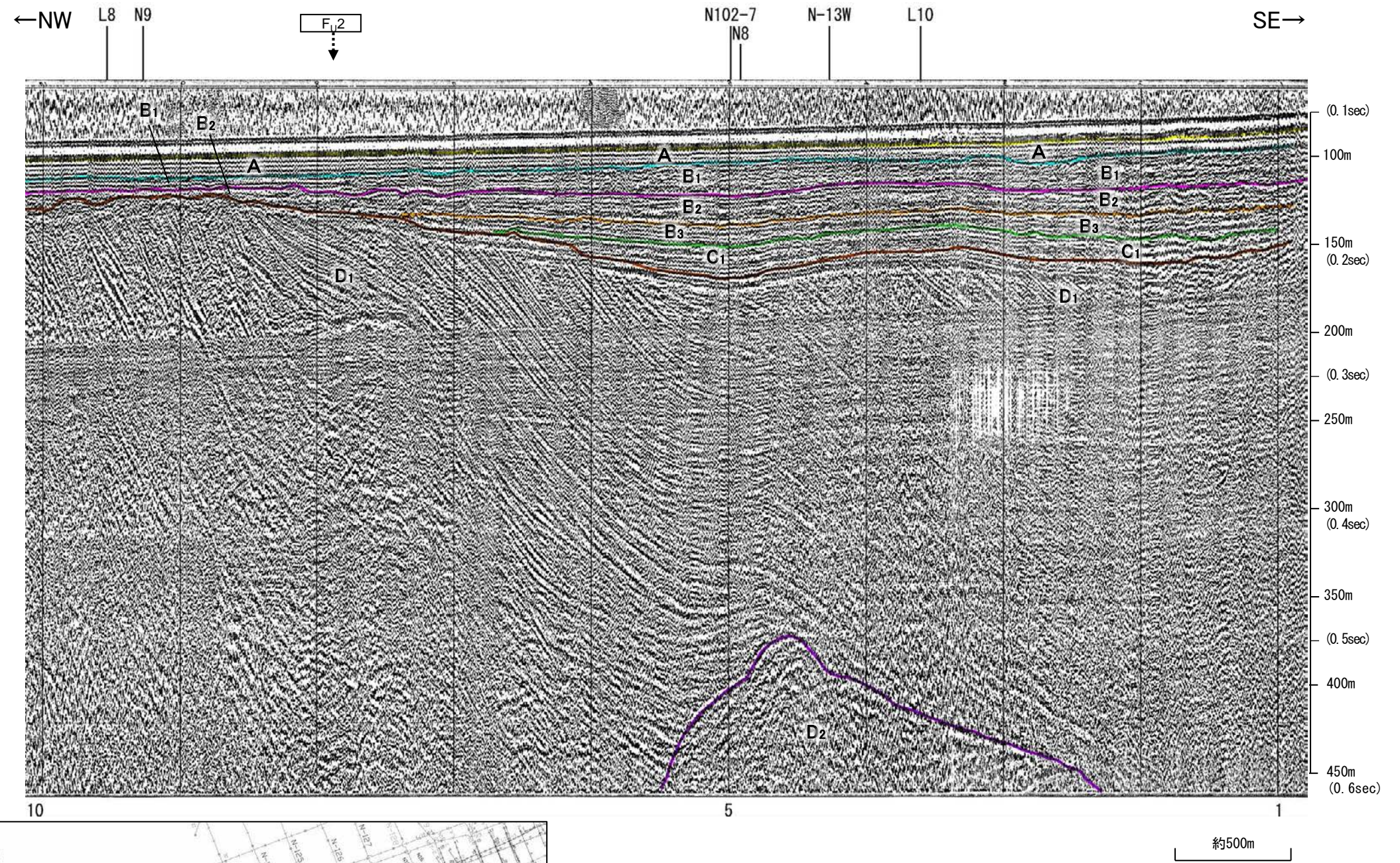


約500m

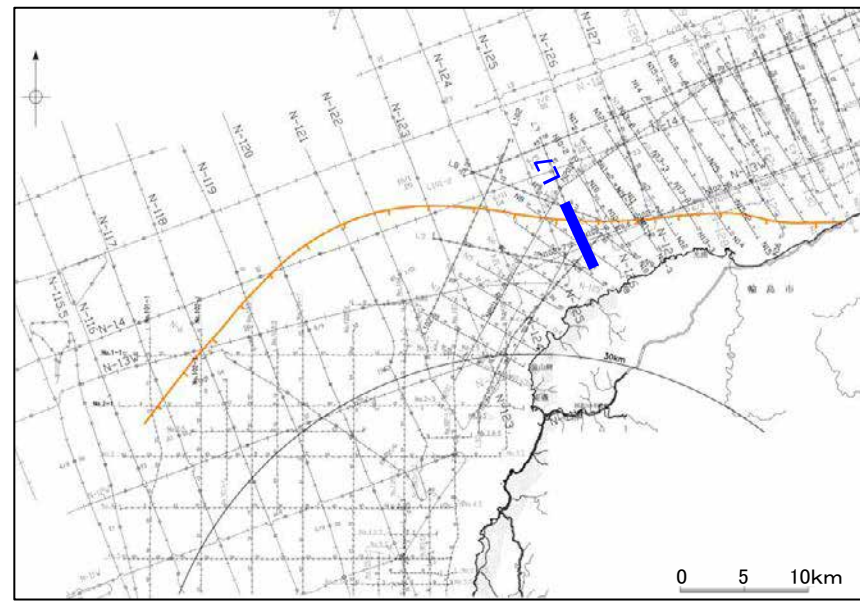
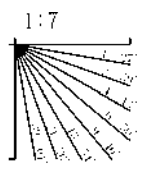
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	B層
	更新世	後期	B層
		中期	B層
	前期	C層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層



三澤(1997)ウォーターガン L7

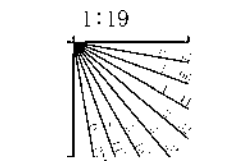
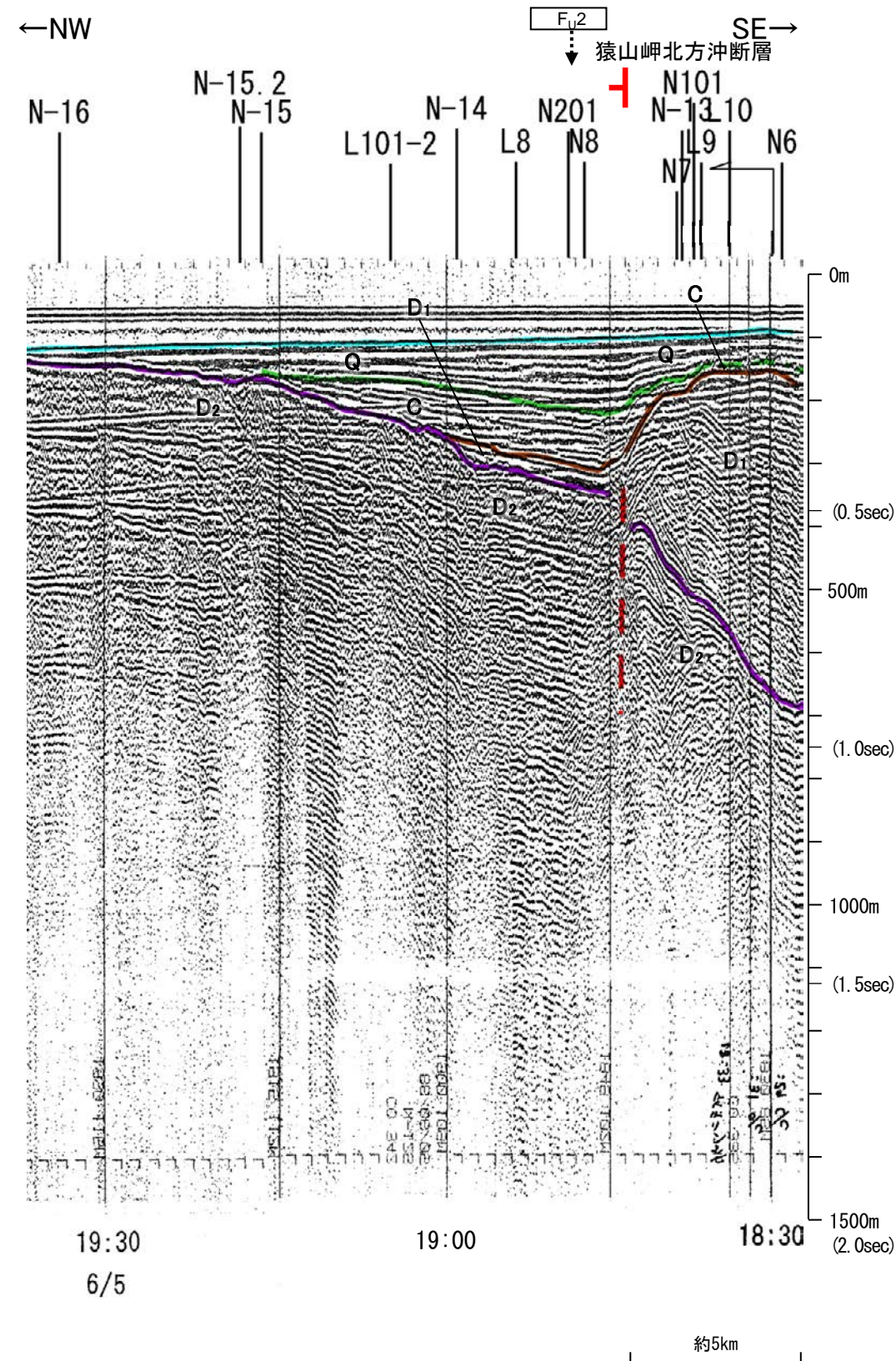
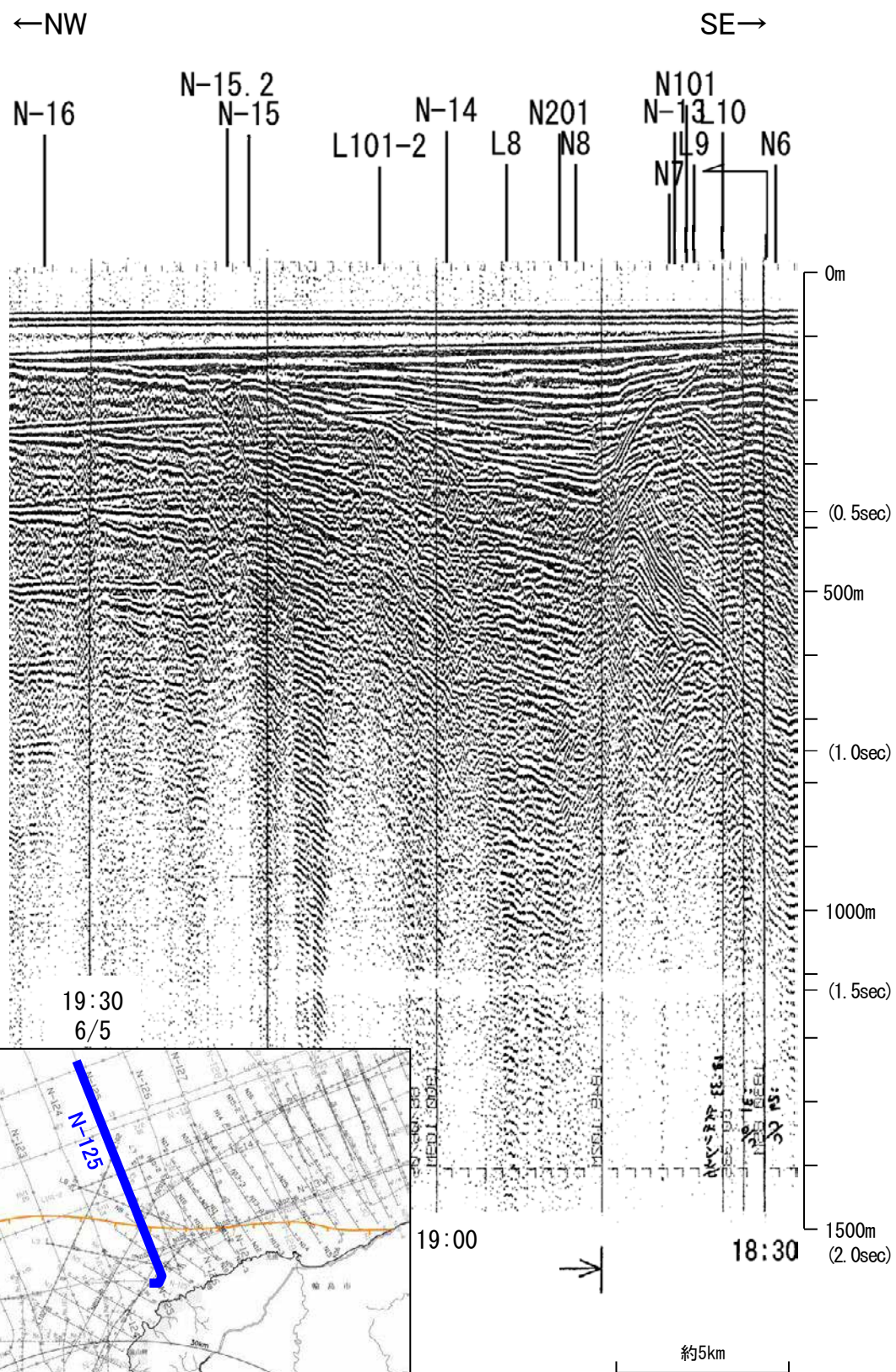


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B ₁ 層	B ₁ 層
	中期	B層	B層
		B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

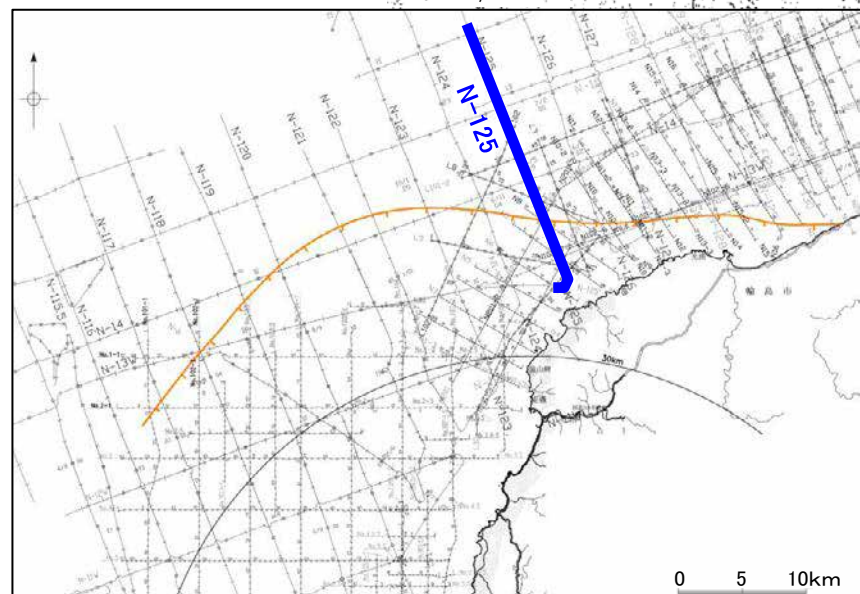


・この図面は、三澤(1997)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-125



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B ₁ 層	B ₁ 層
	更新世	B ₂ 層	B ₂ 層
		B ₃ 層	B ₃ 層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C ₁ 層	C ₁ 層
	中新世	D ₁ 層	D ₁ 層
		D ₂ 層	D ₂ 層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀			

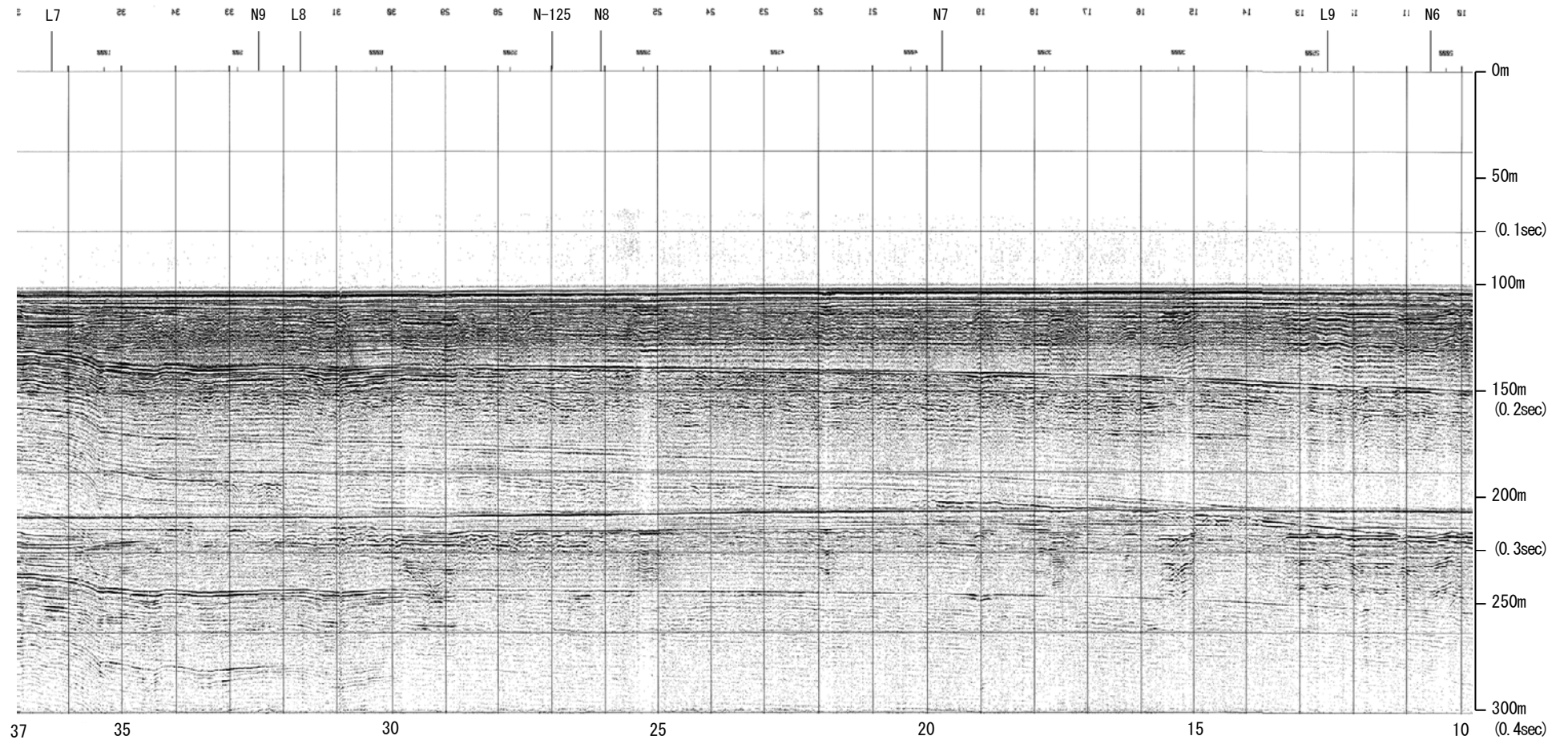


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N201-2

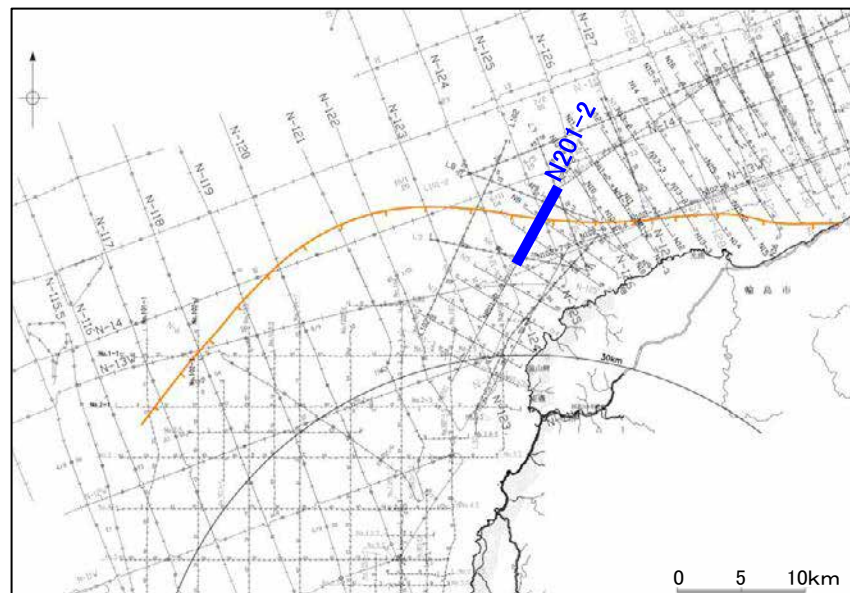
←NE

SW→

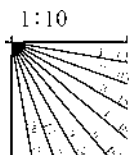


37 35 30 25 20 15 10 (0.4sec)

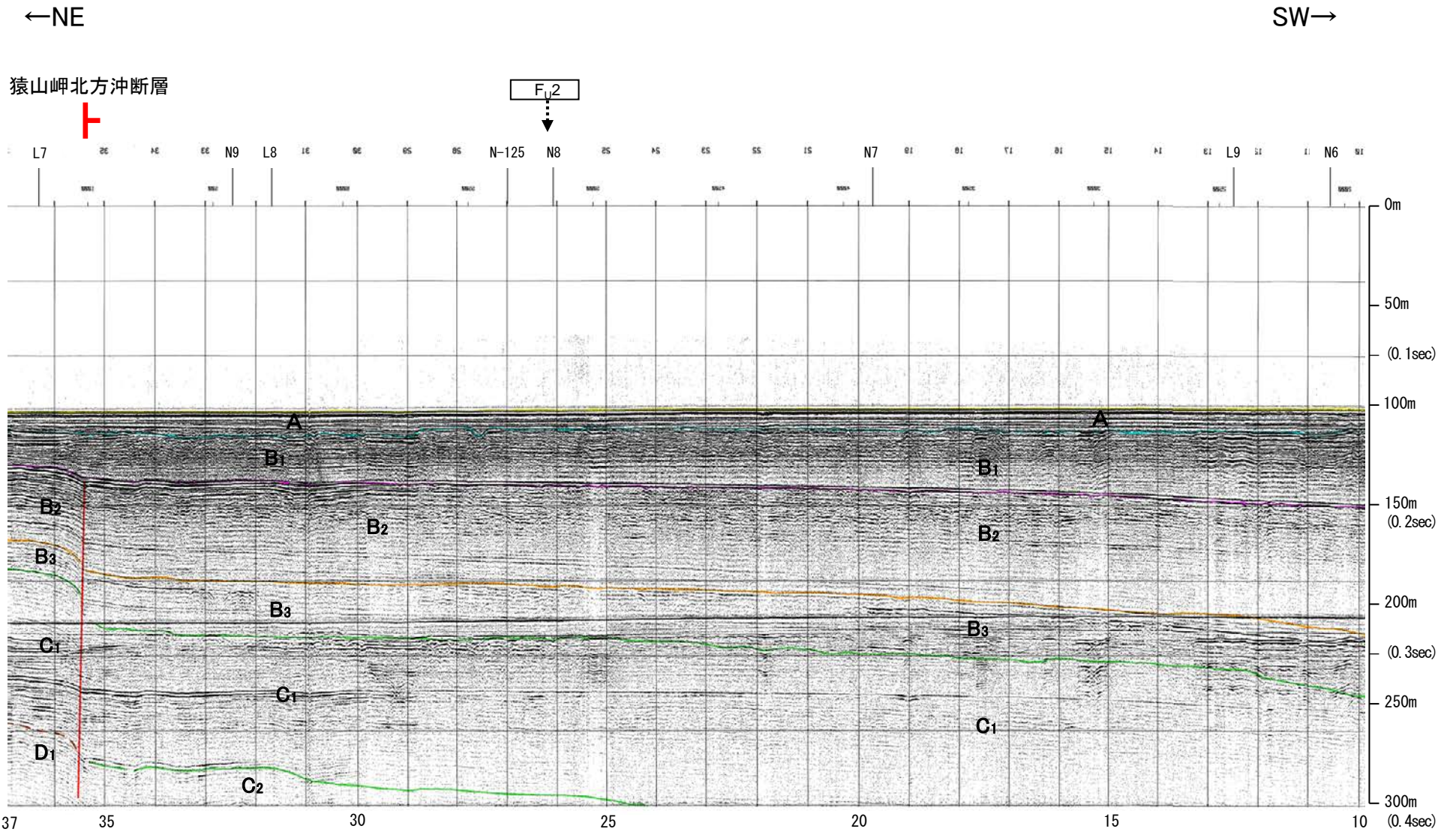
約1km



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	完新世	A層
		後期	B層
	中期	Q層	B層
		B層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

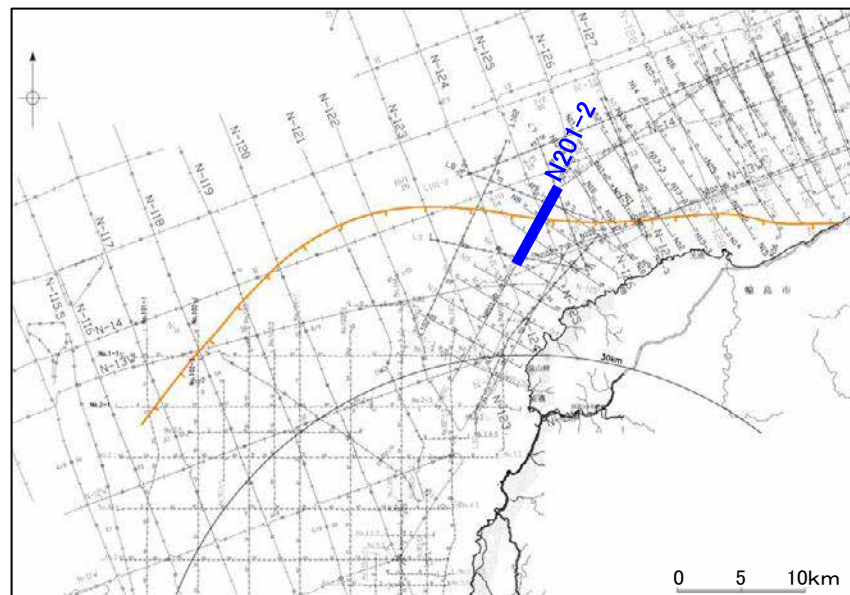
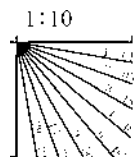


産総研ブーマー N201-2



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	C層
			D層
第三紀	鮮新世	E層	
第三紀	中新世	F層	
	古第三紀	G層	
第三紀	先第三紀	H層	

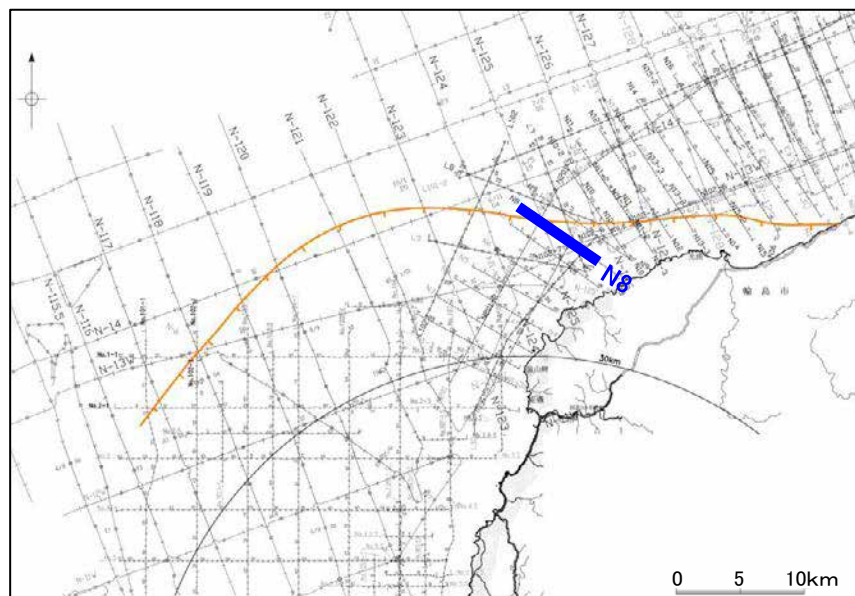
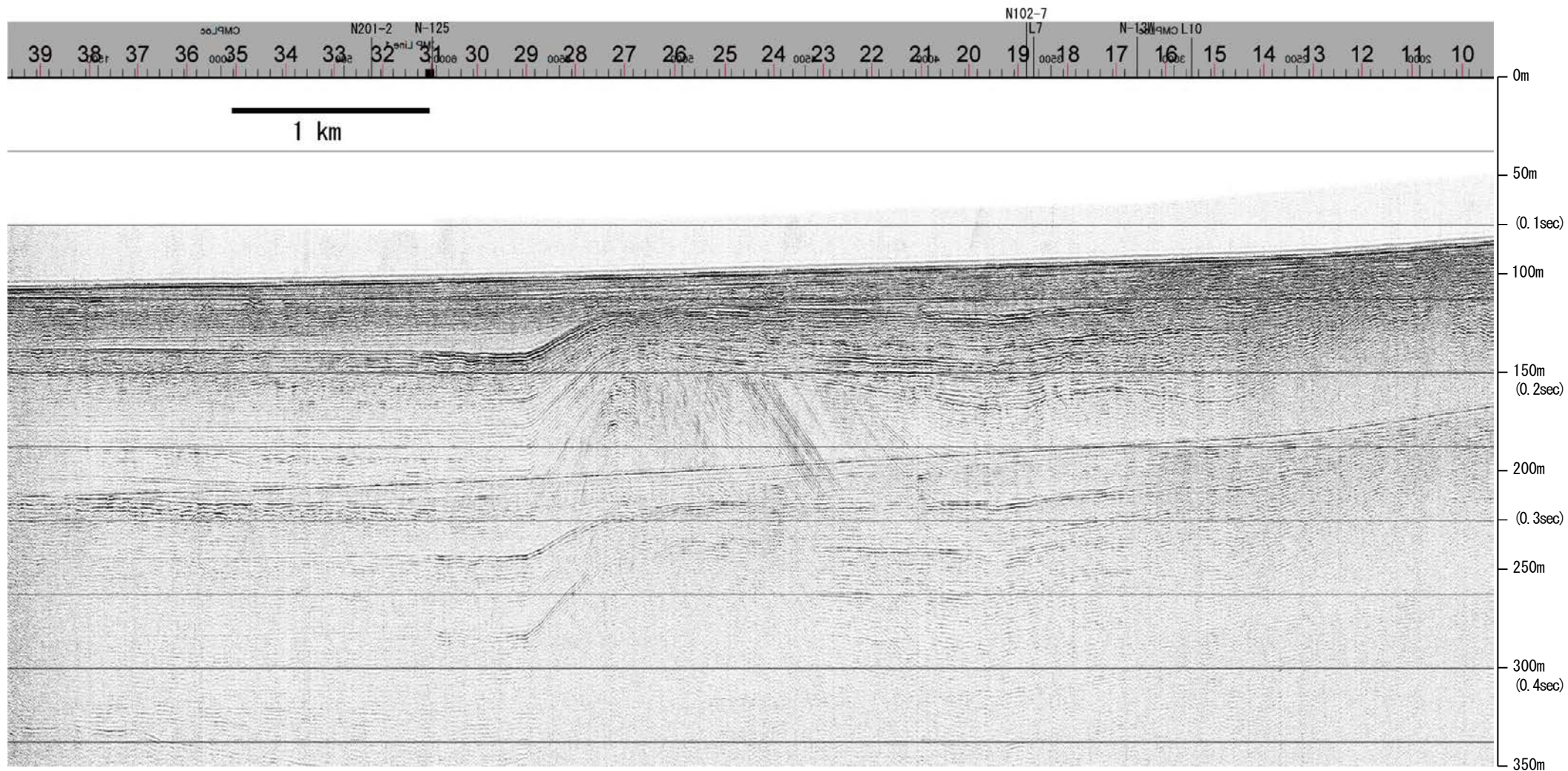


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

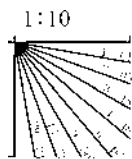
産総研ブーマー N8

←WNW

ESE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀			
先第三紀			



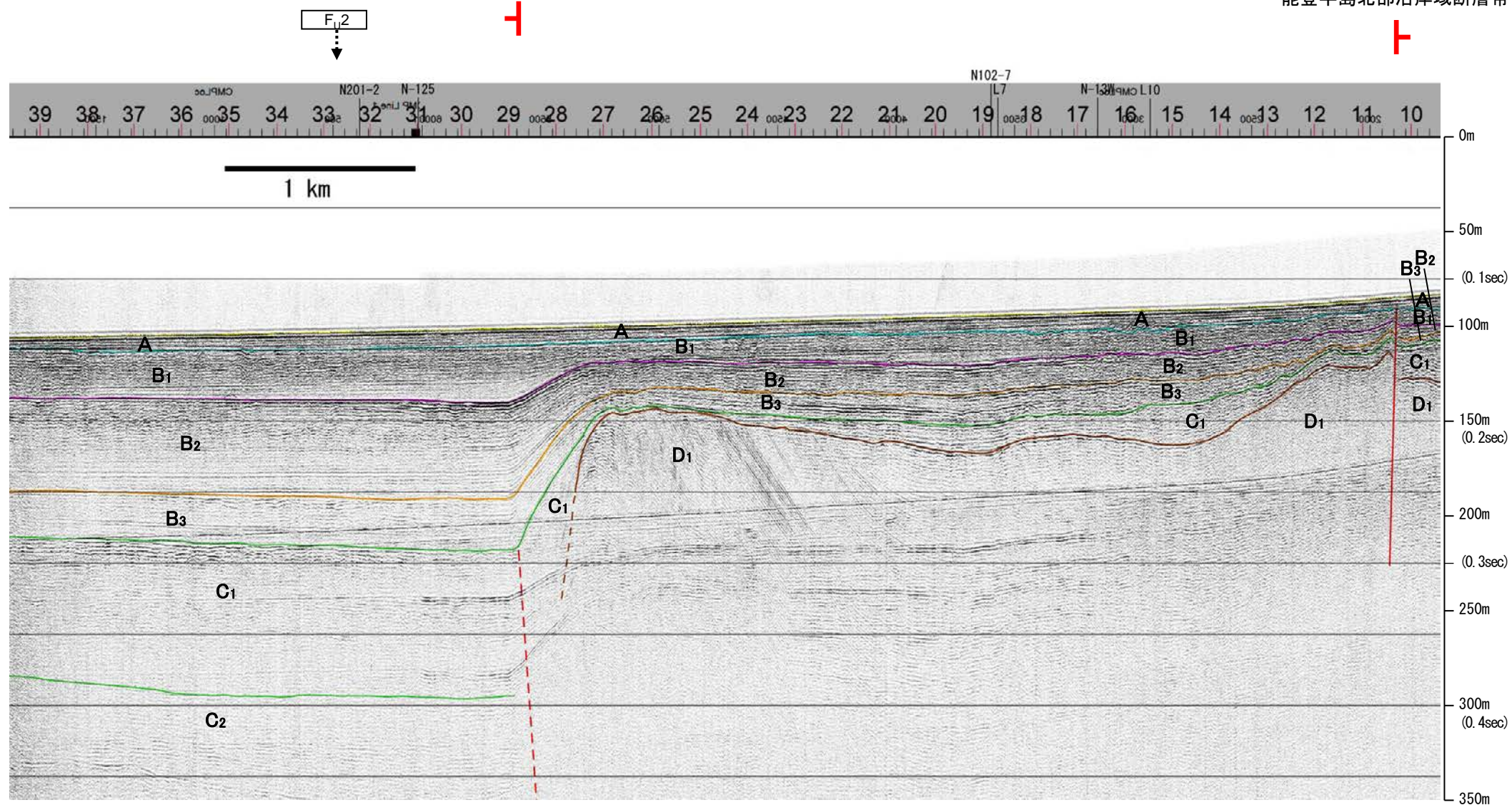
産総研ブーマー N8

←WNW

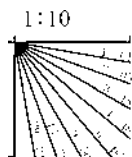
ESE→

猿山岬北方沖断層

能登半島北部沿岸域断層帯

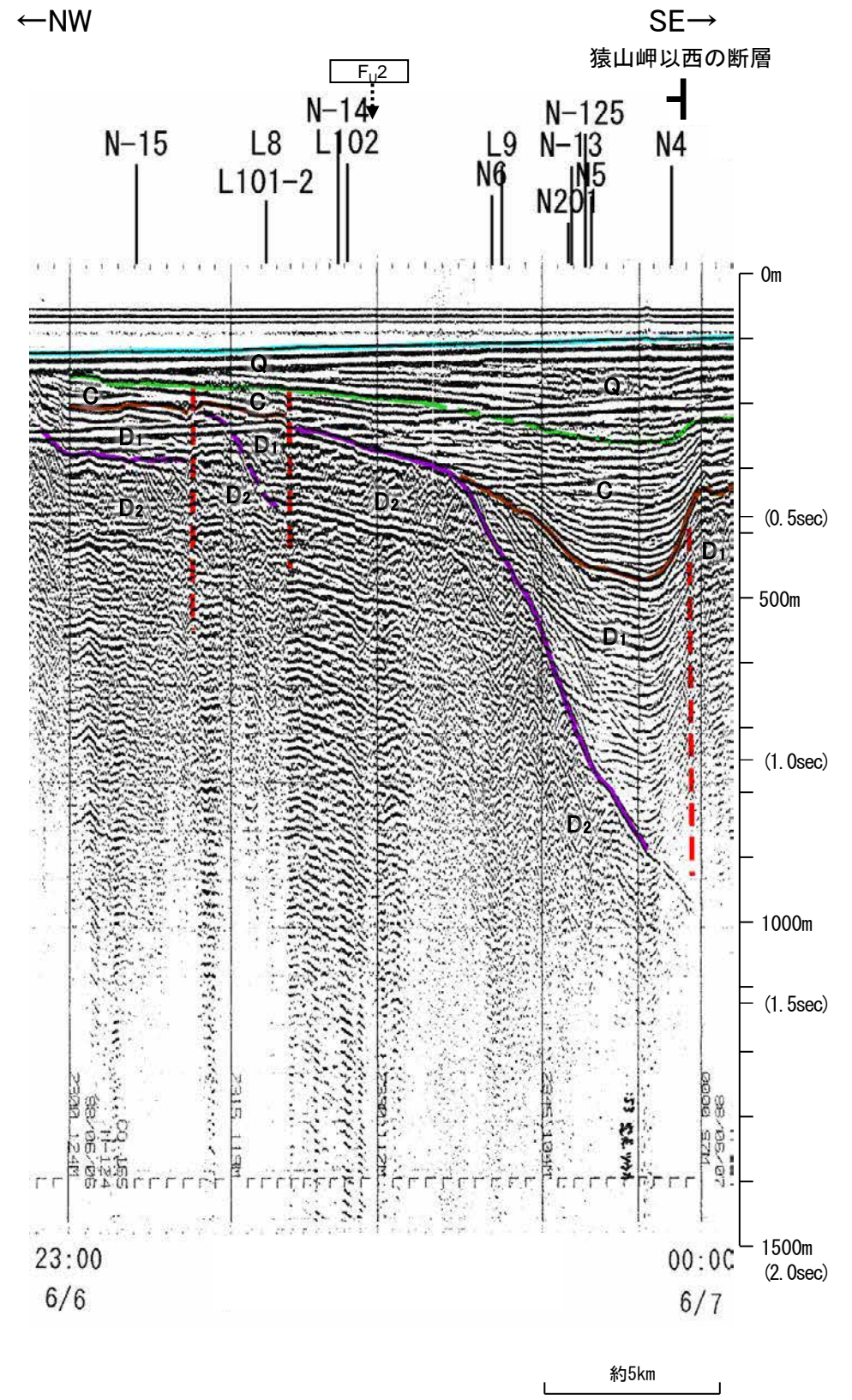
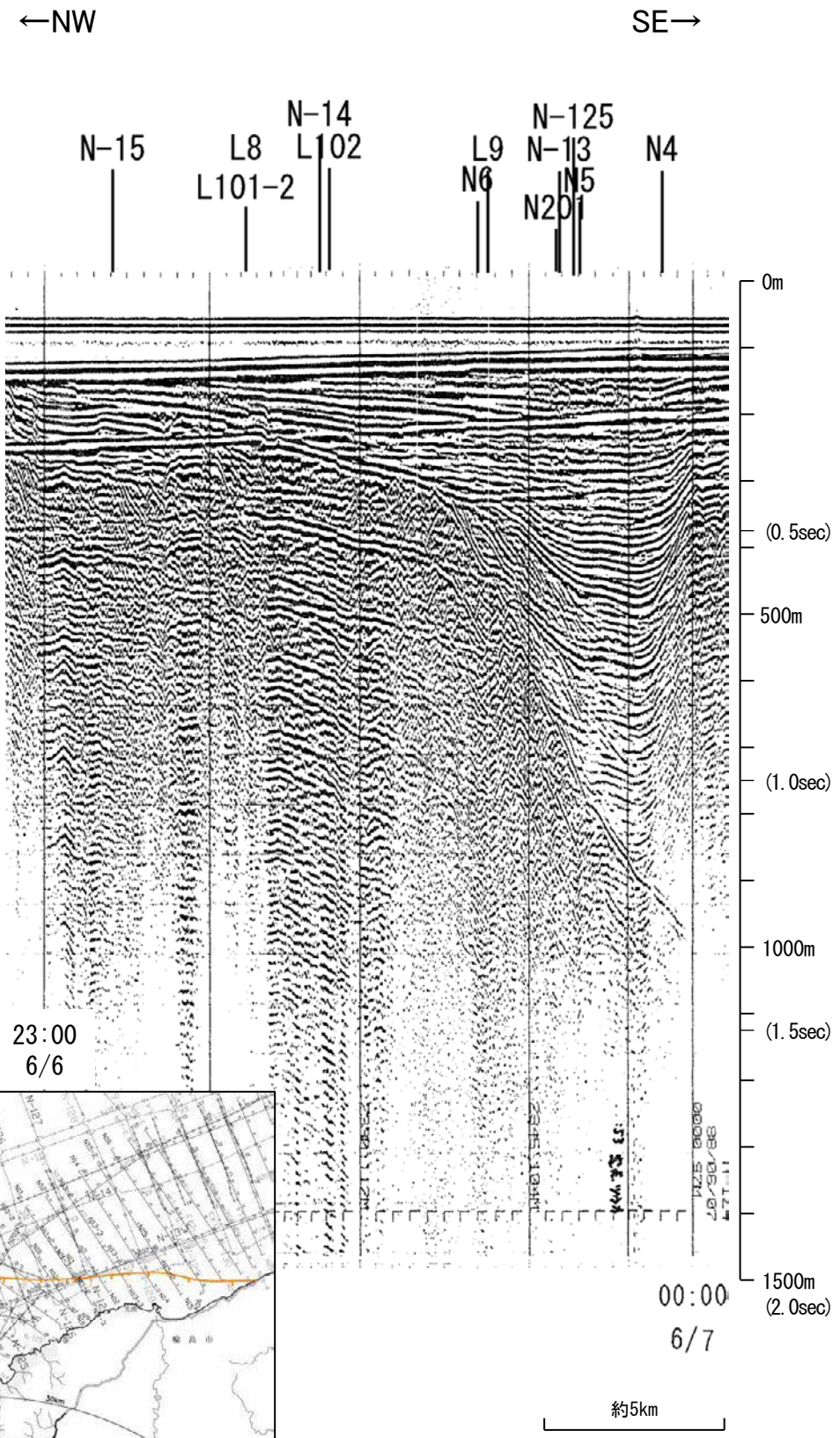


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層 B ₃ 層
	前期	C ₁ 層	
第三紀	鮮新世	C ₂ 層	
	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀 先第三紀	D ₂ 層	



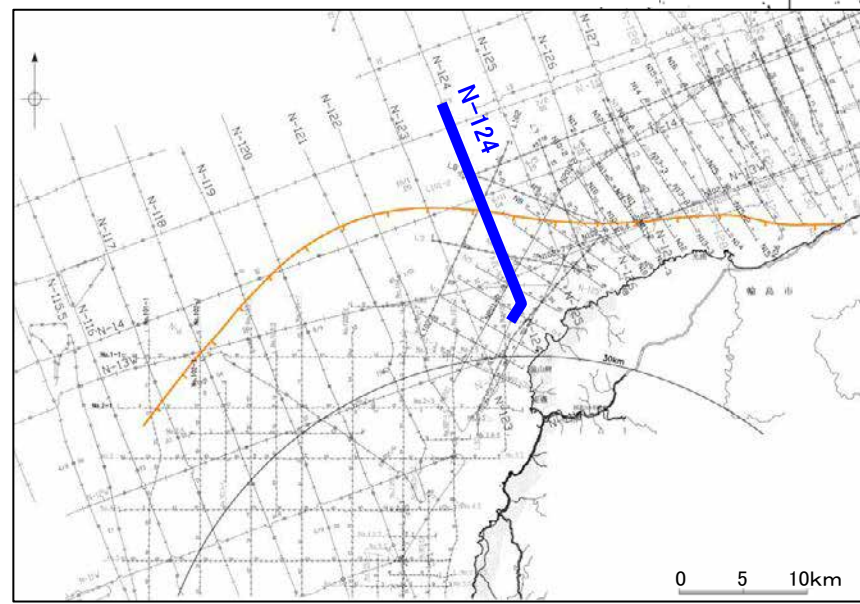
※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-124



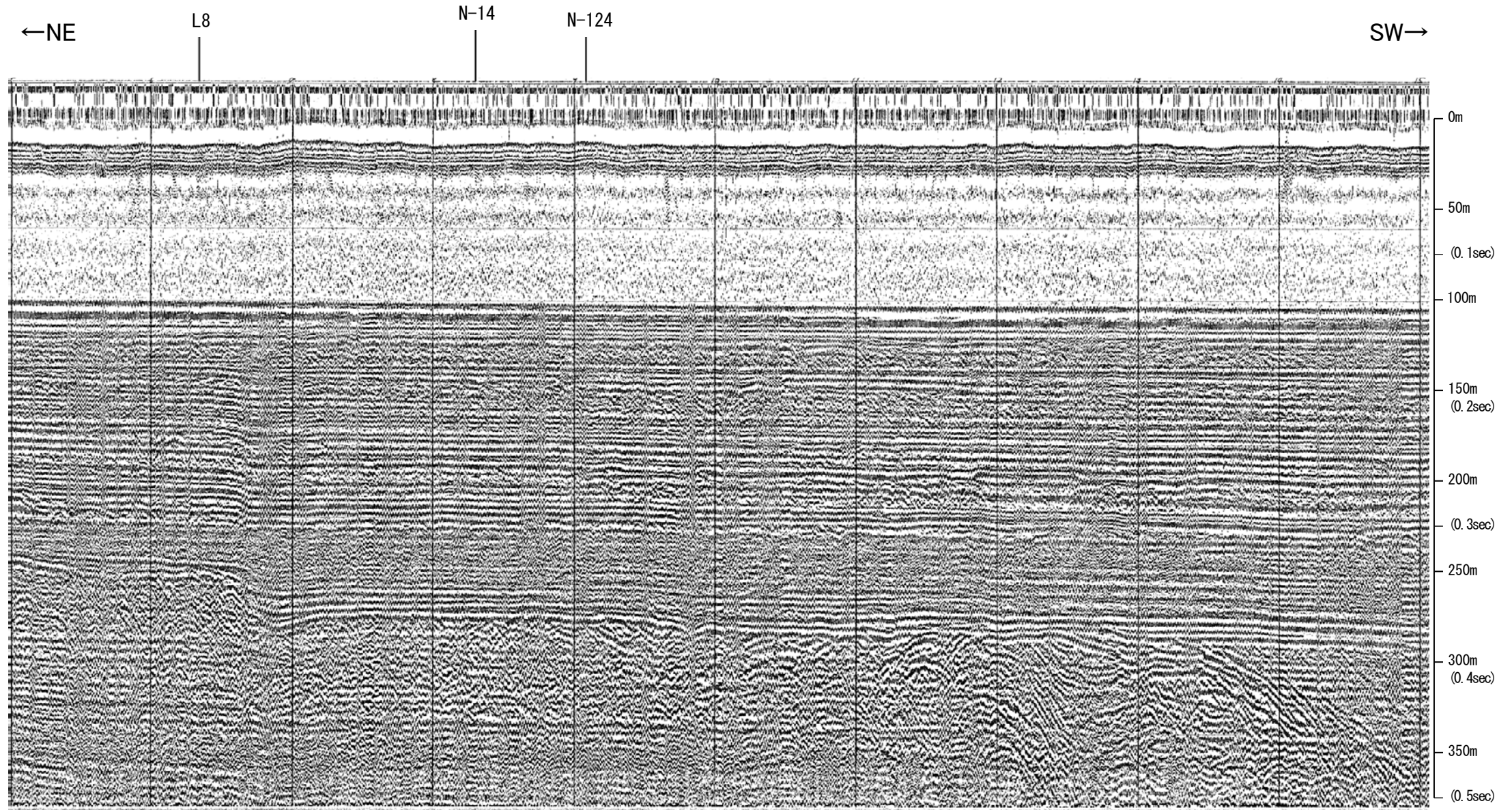
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B ₁ 層
	中期		B ₂ 層
前期	C層	C ₁ 層	
新第三紀	鮮新世	D層	C ₂ 層
	中新世		D ₁ 層
古第三紀			D ₂ 層
先第三紀			

1:19



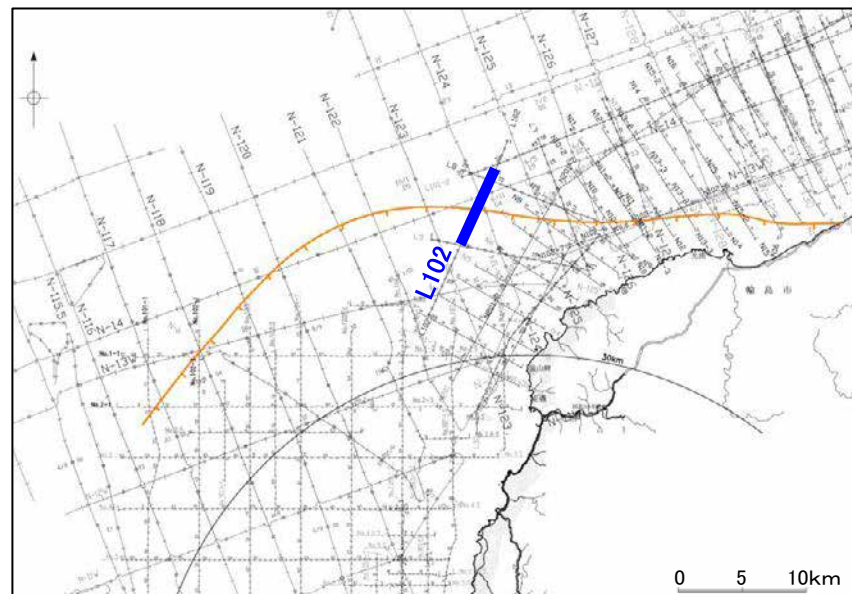
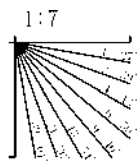
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

三澤(1997)ウォーターガン L102

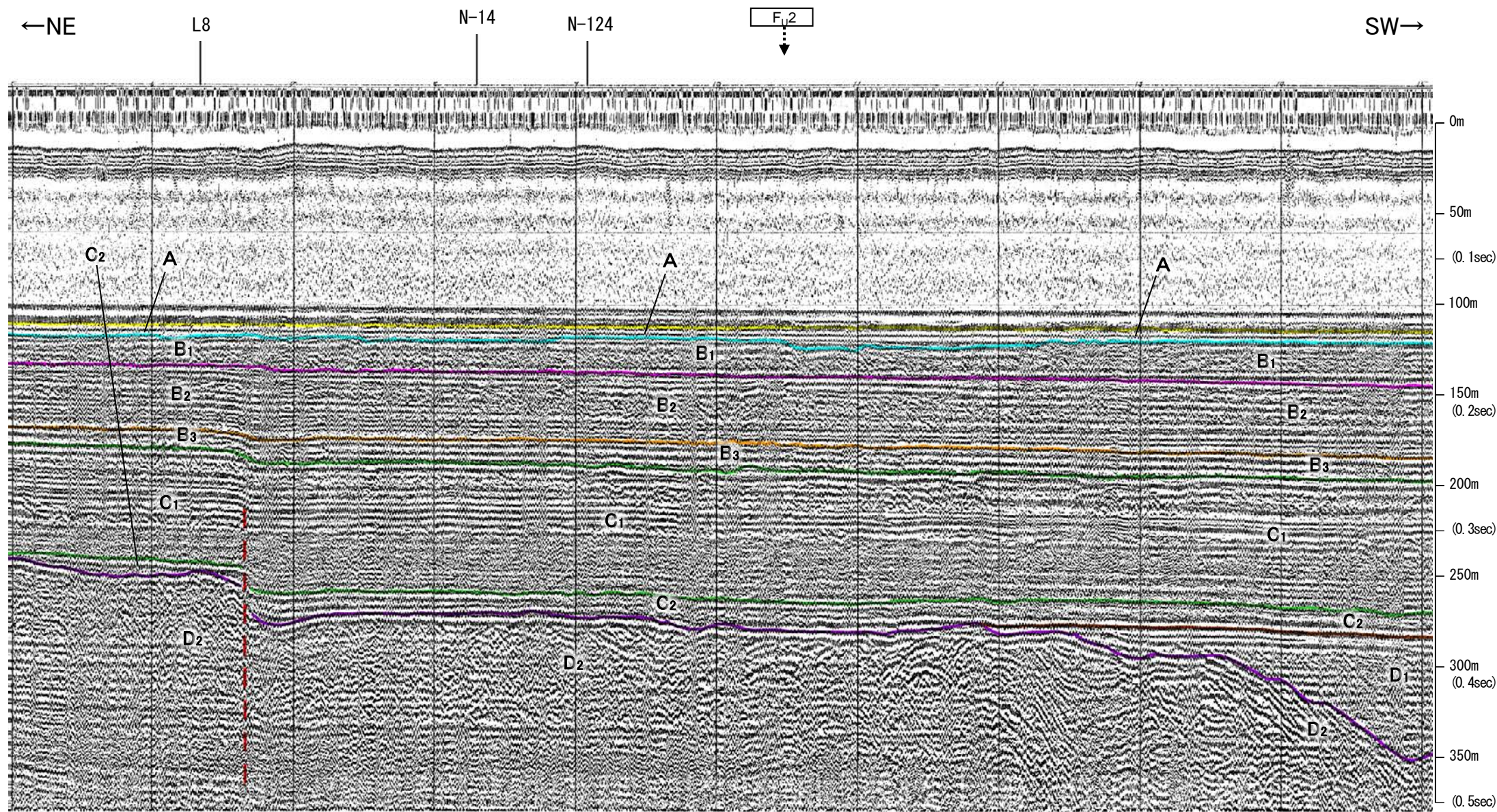


5 10 15 約500m

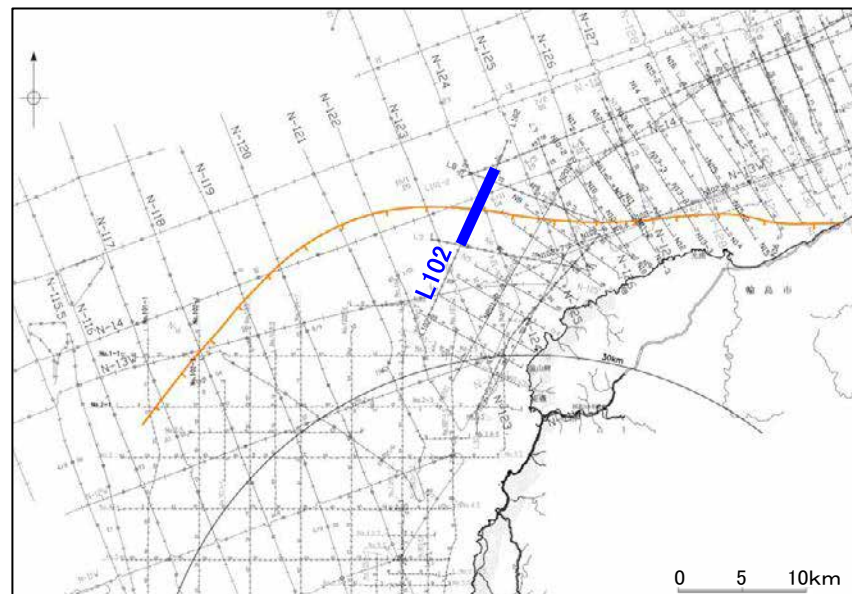
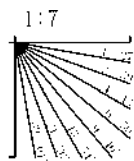
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層



三澤(1997)ウォーターガン L102

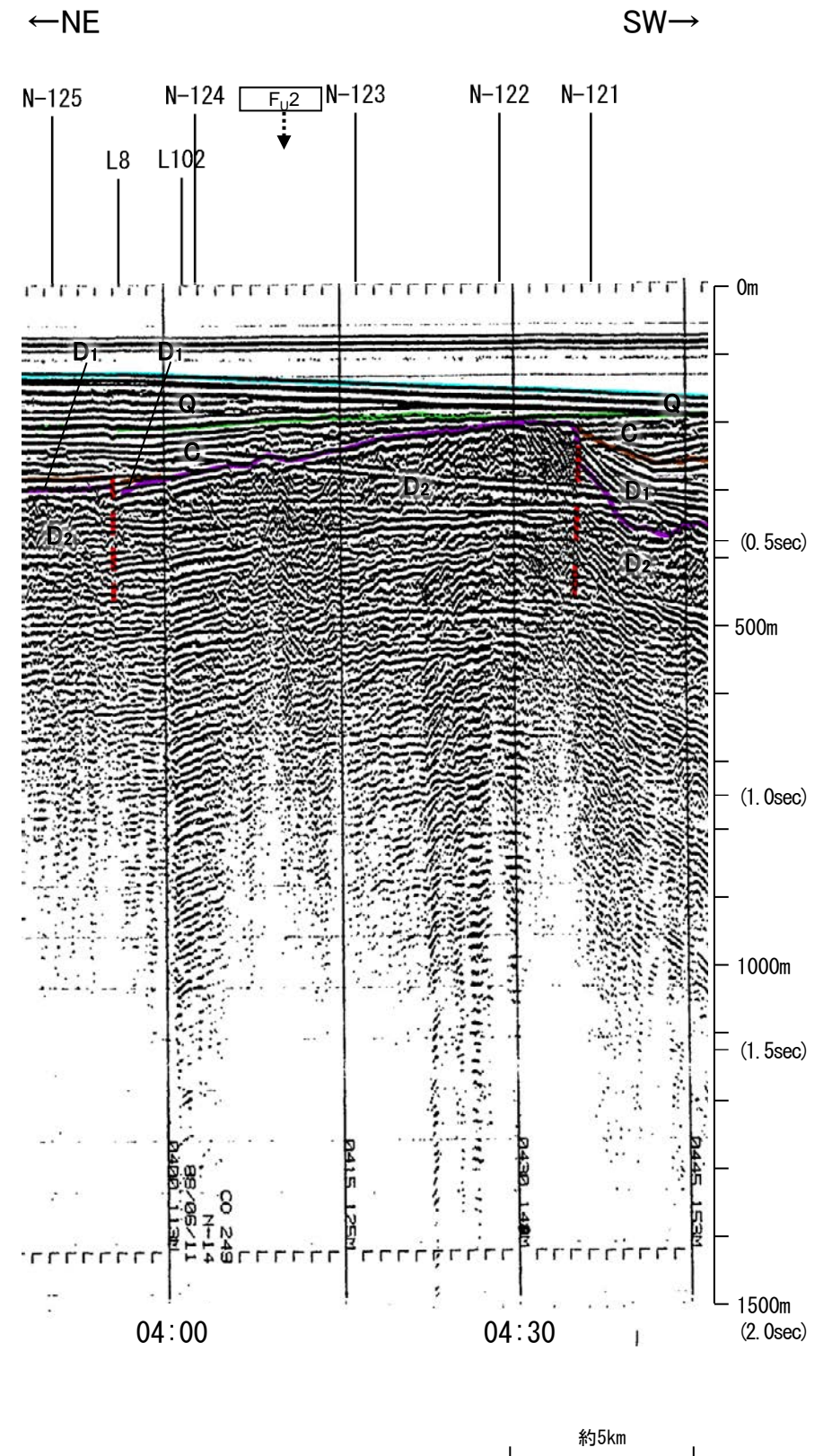
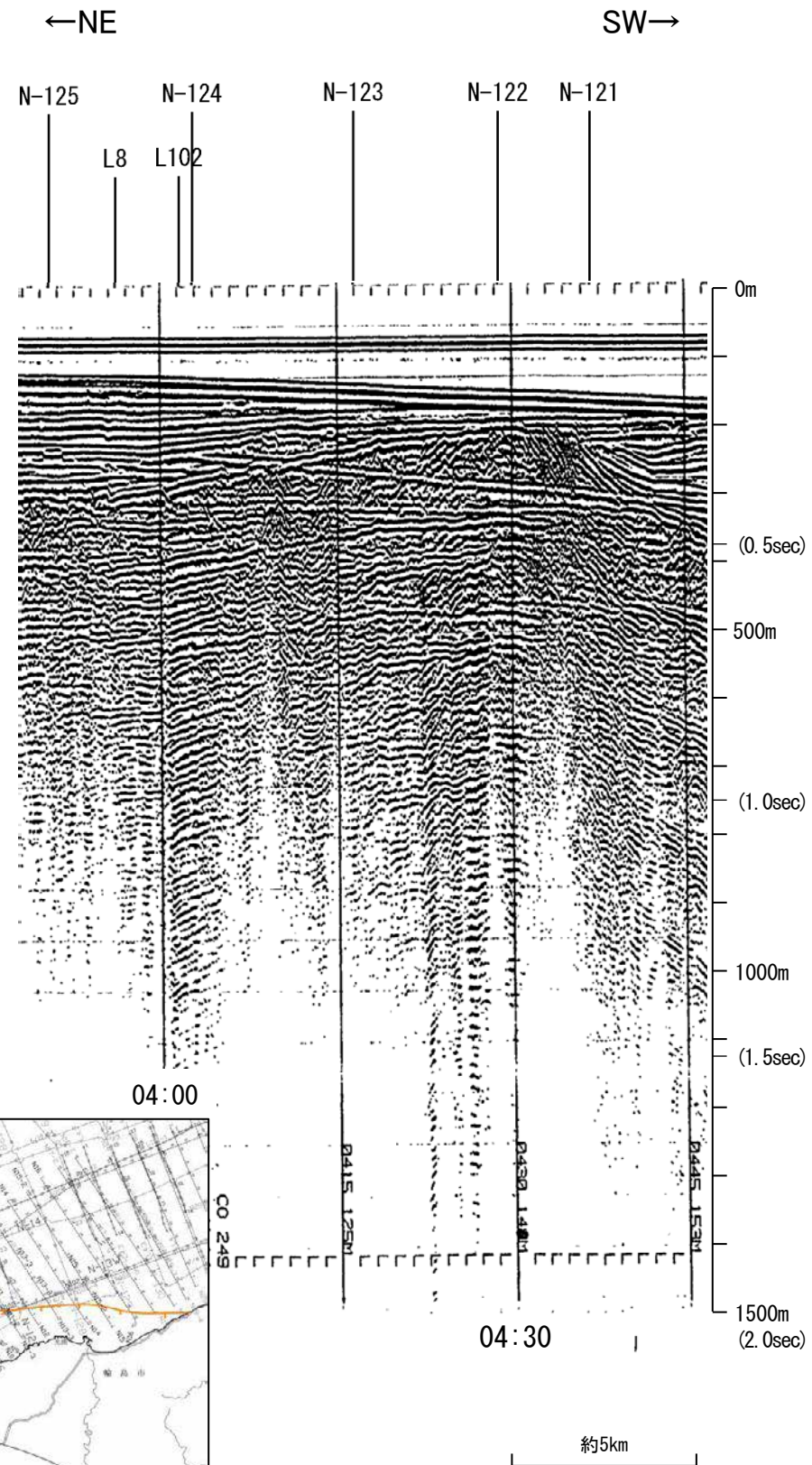


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層

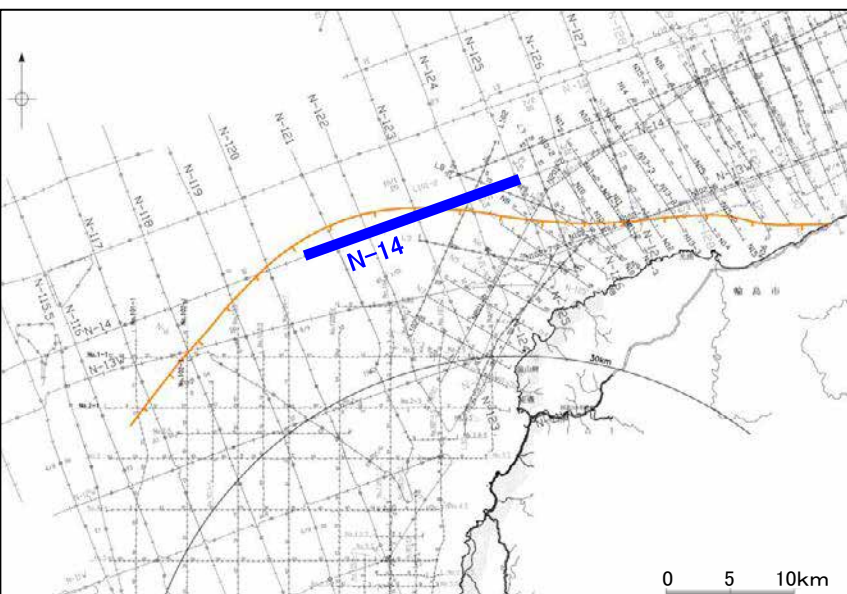
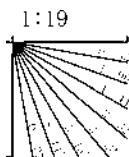


・この図面は、三澤(1997)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-14

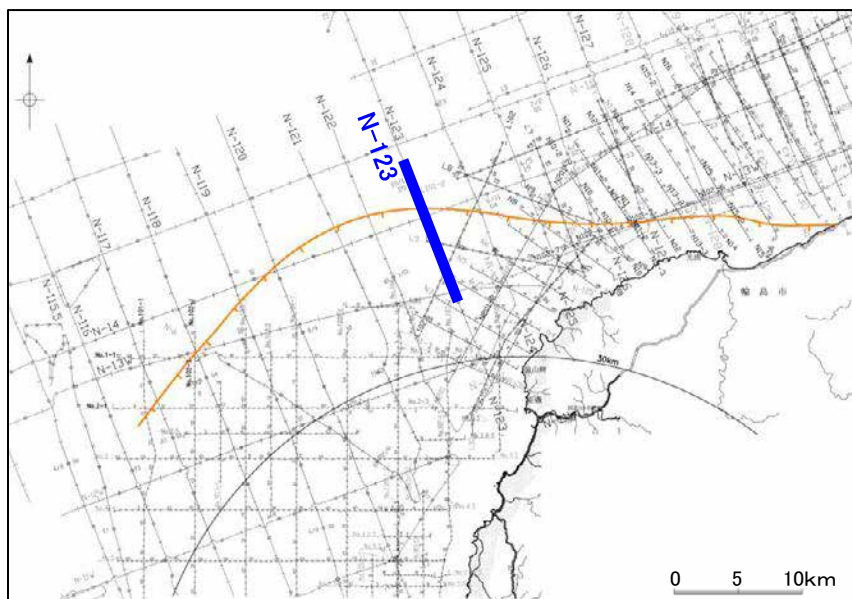
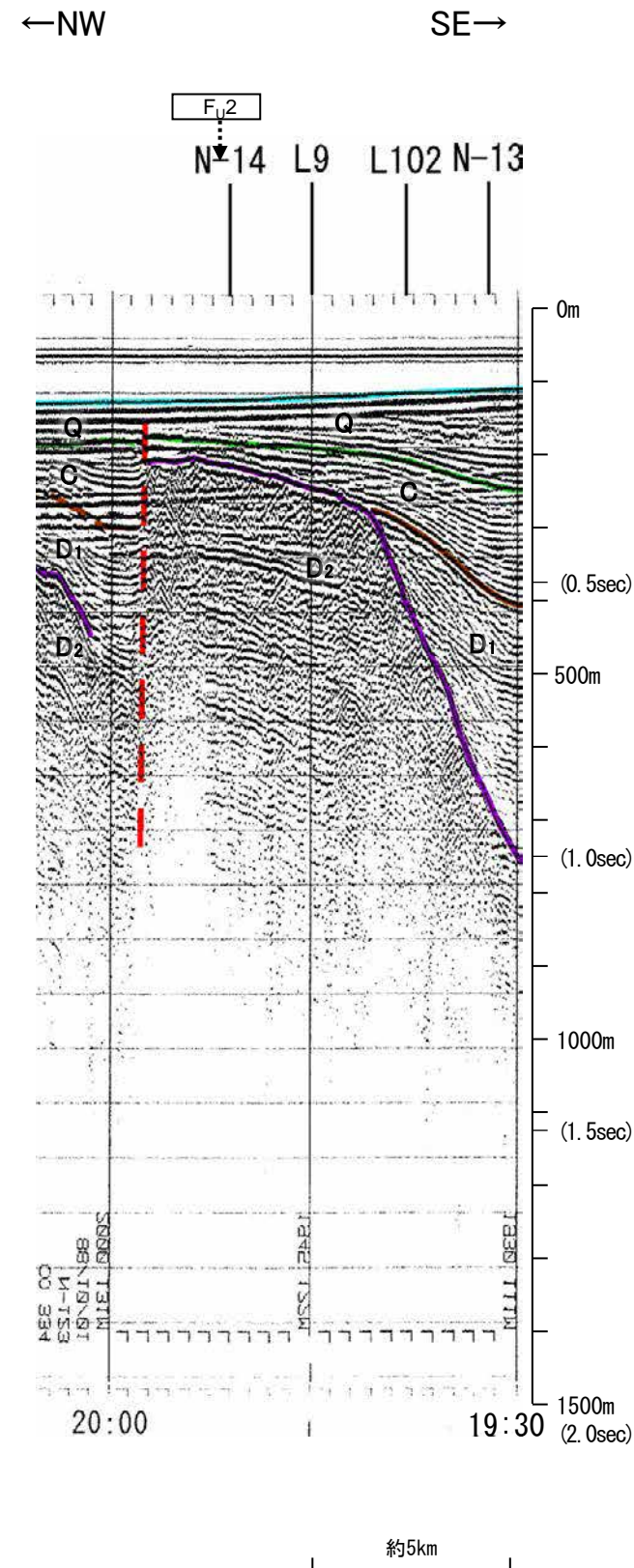
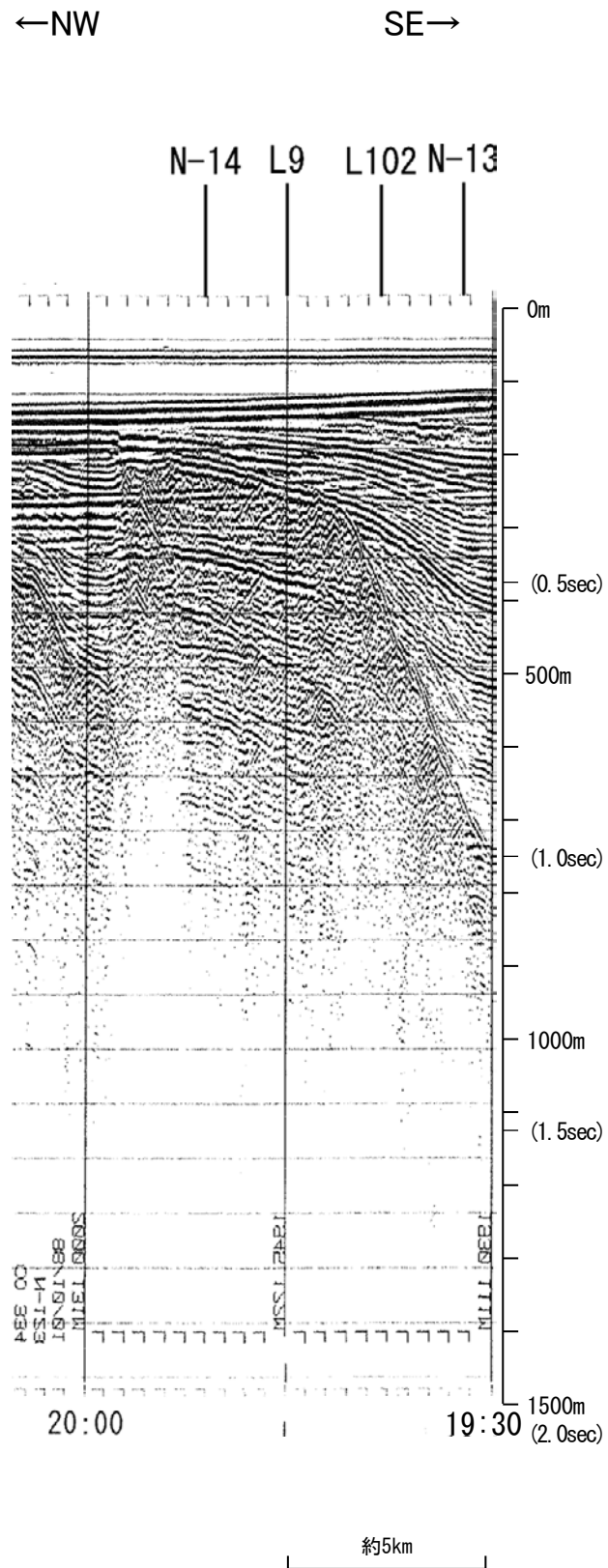


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B ₁ 層
	更新世	中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	C ₁ 層	
	古第三紀	D層	
先第三紀		D ₂ 層	

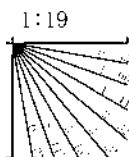


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

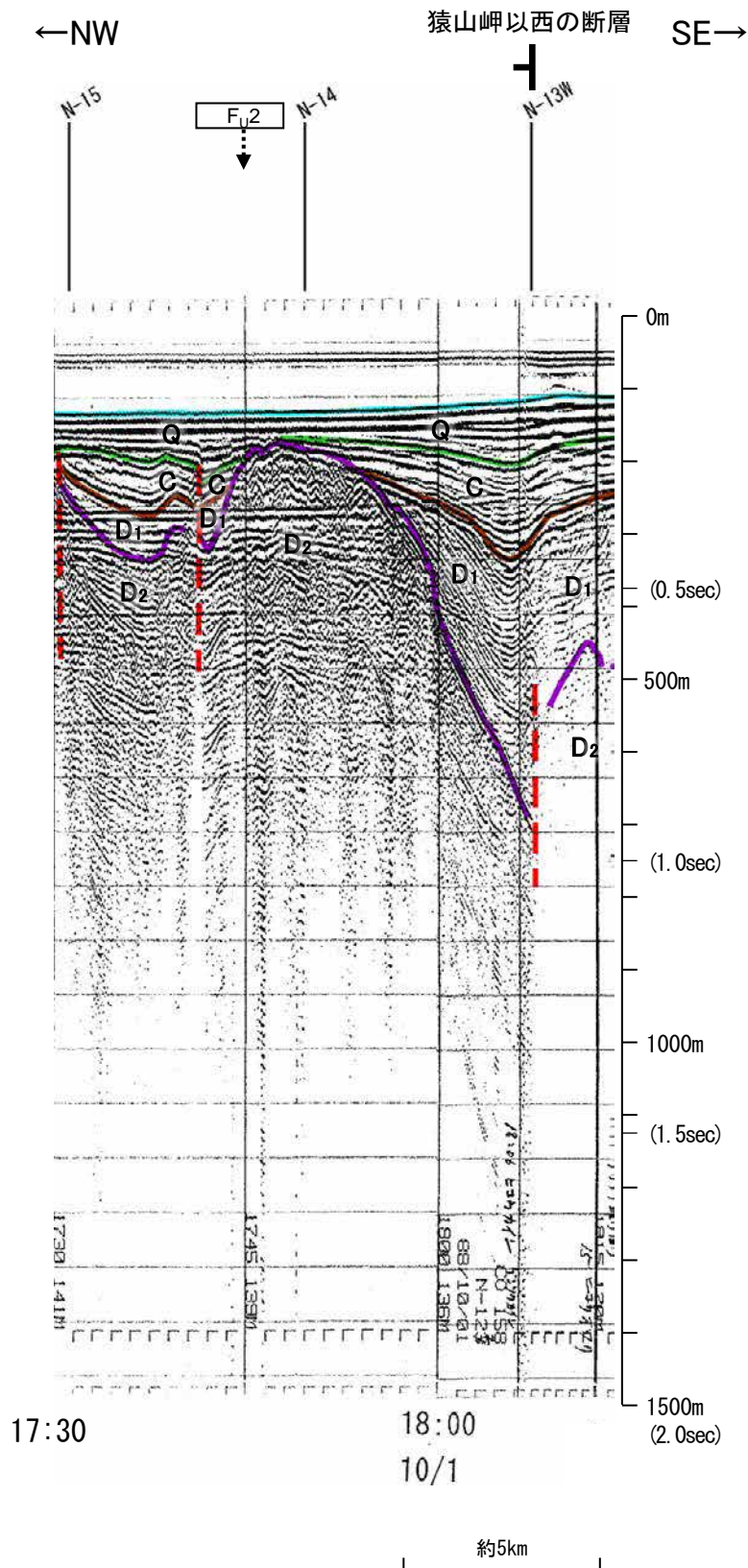
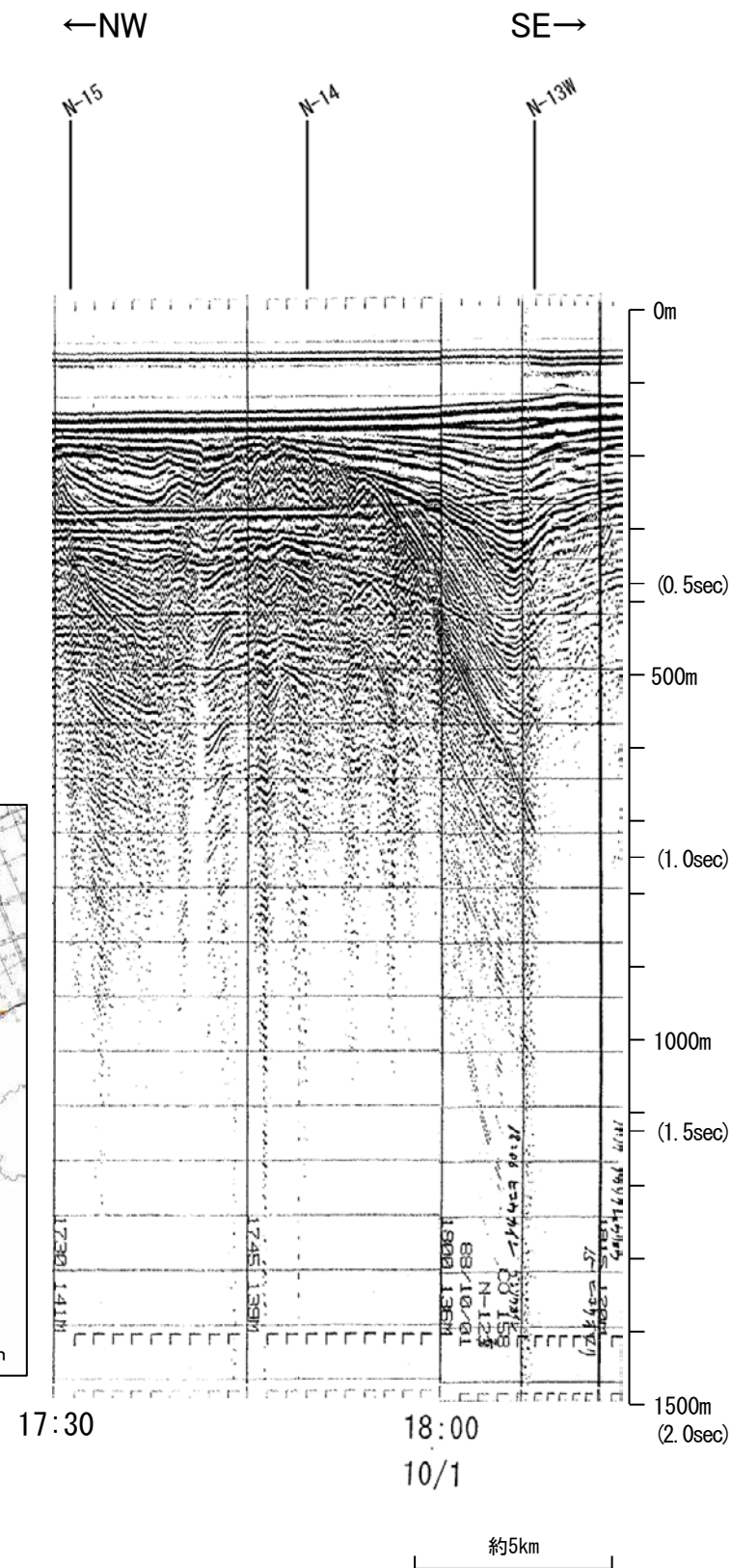
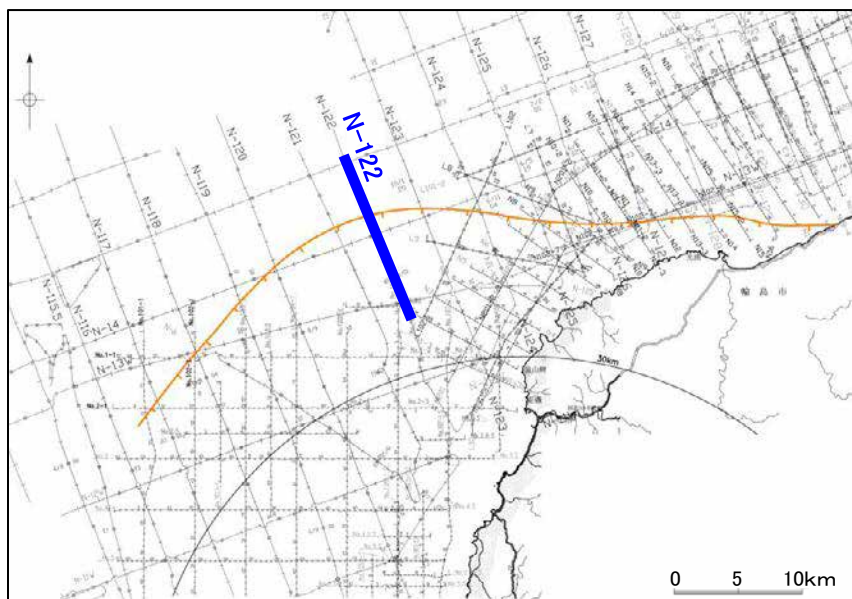
地質調査所エアガン N-123



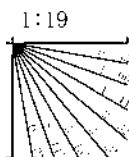
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
	鮮新世	C層	C層
第三紀	中新世	D層	D層
	古第三紀		D層
先第三紀			D層



地質調査所エアガン N-122



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	更新世	後期	B層
		中期	B層
	前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
		D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

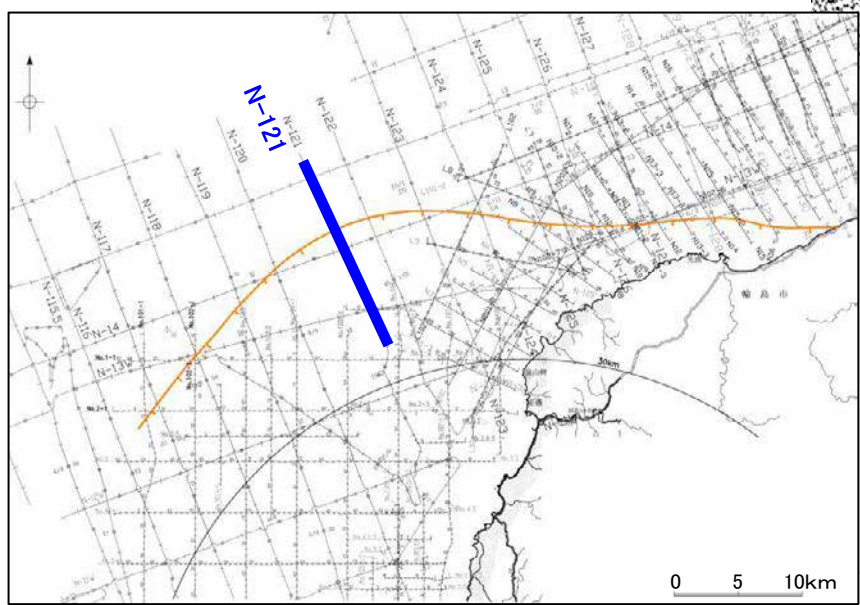
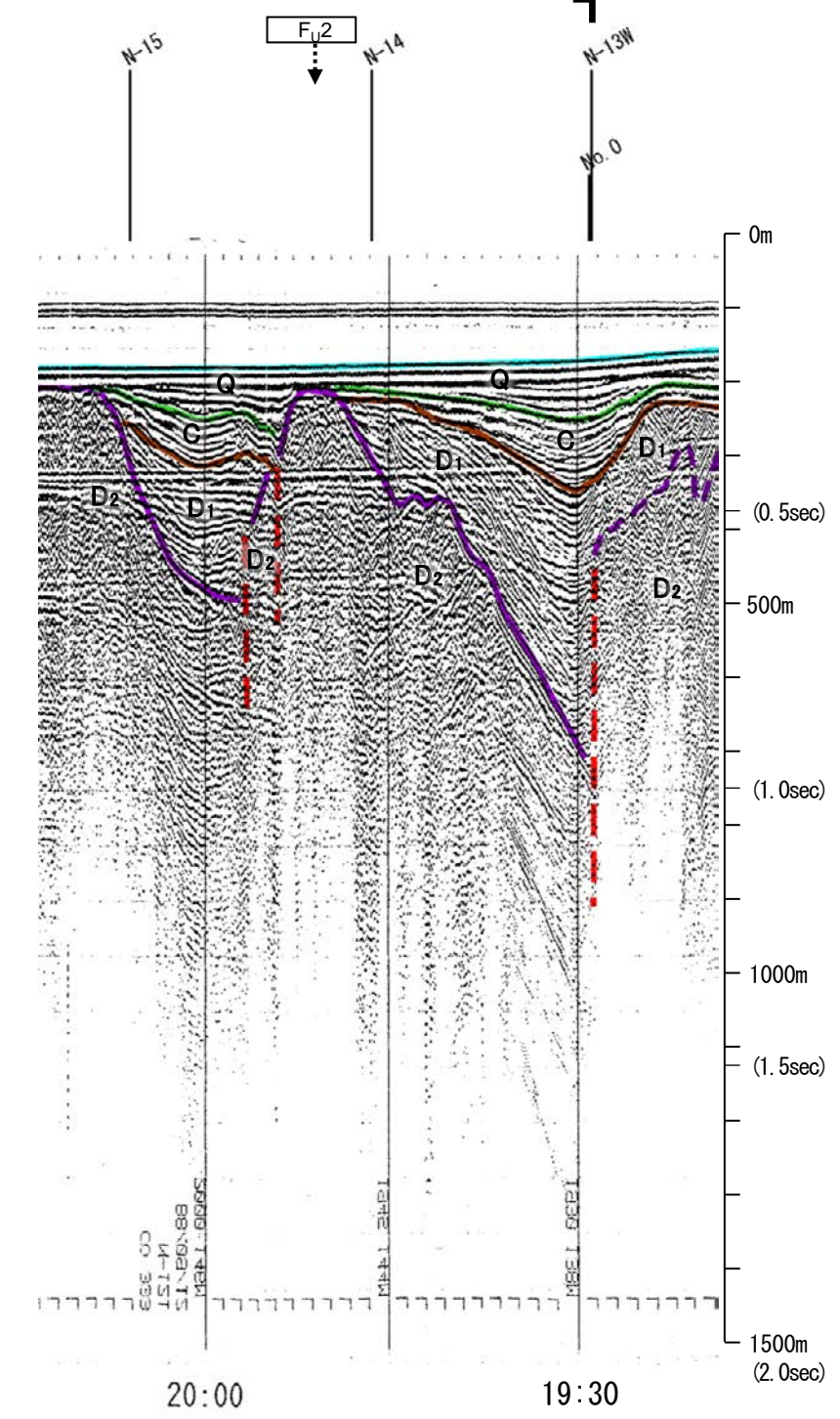
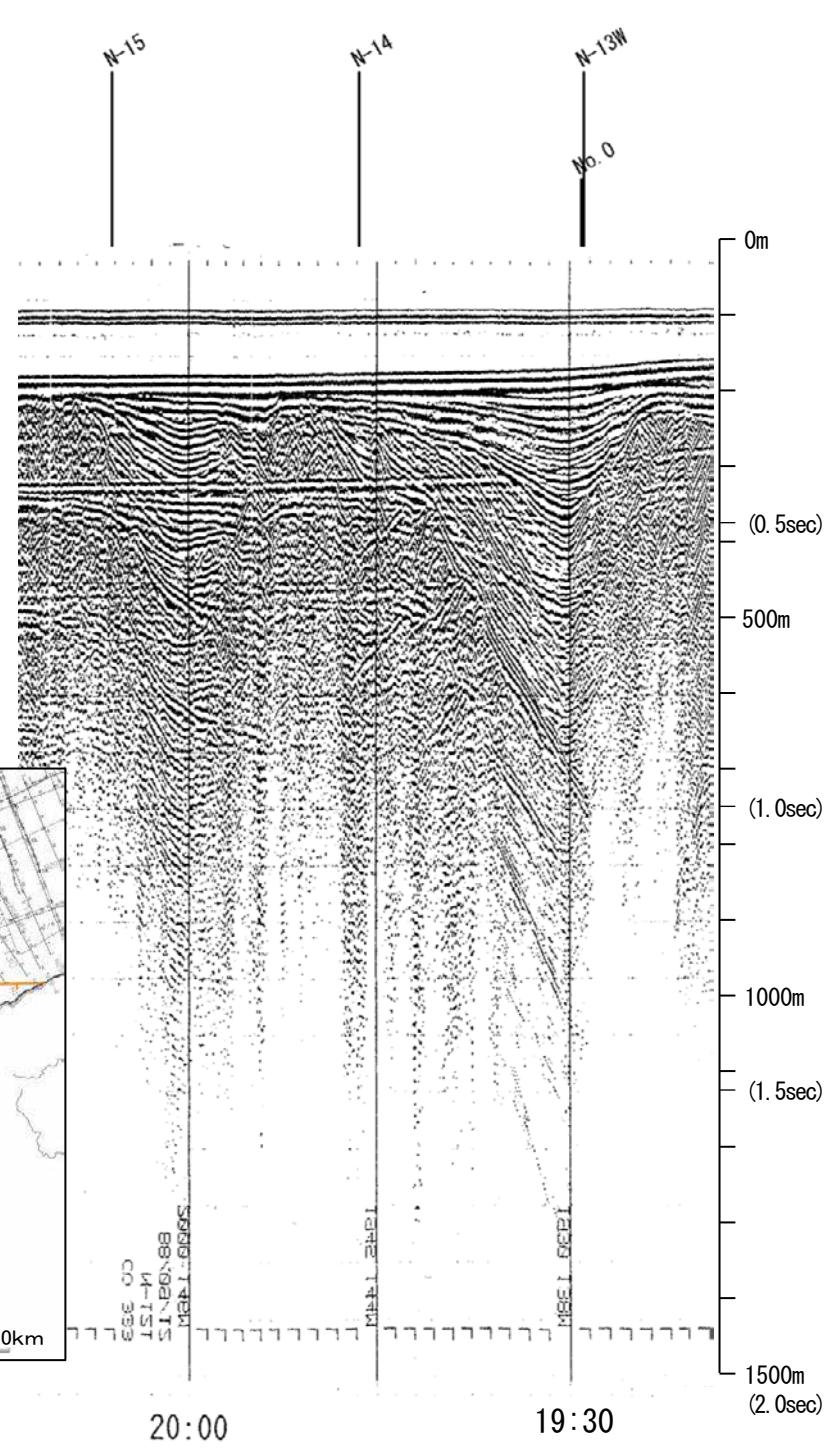


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

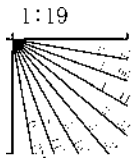
地質調査所エアガン N-121

←NW SE→

←NW SE→ 猿山岬以西の断層SE→

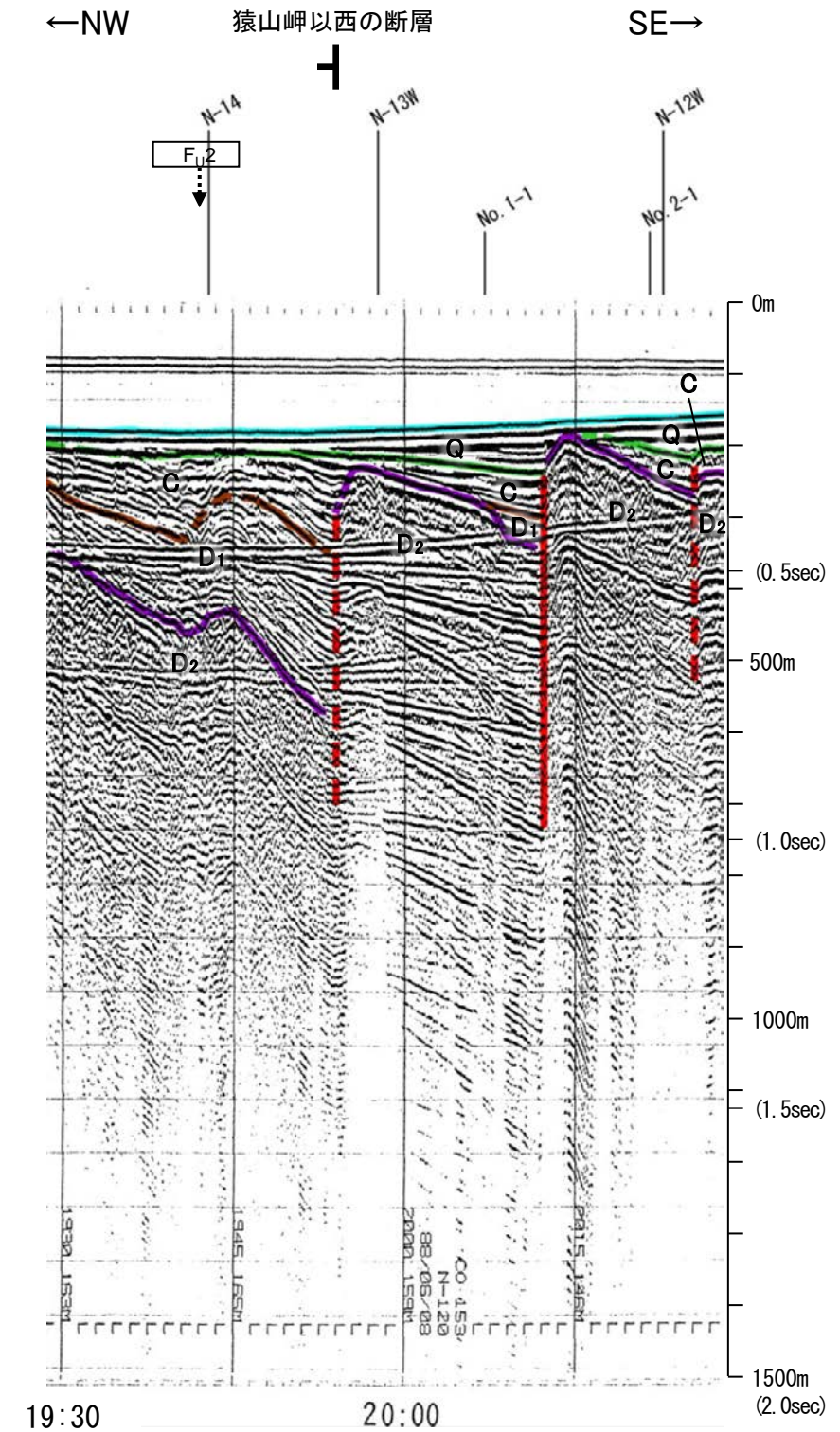
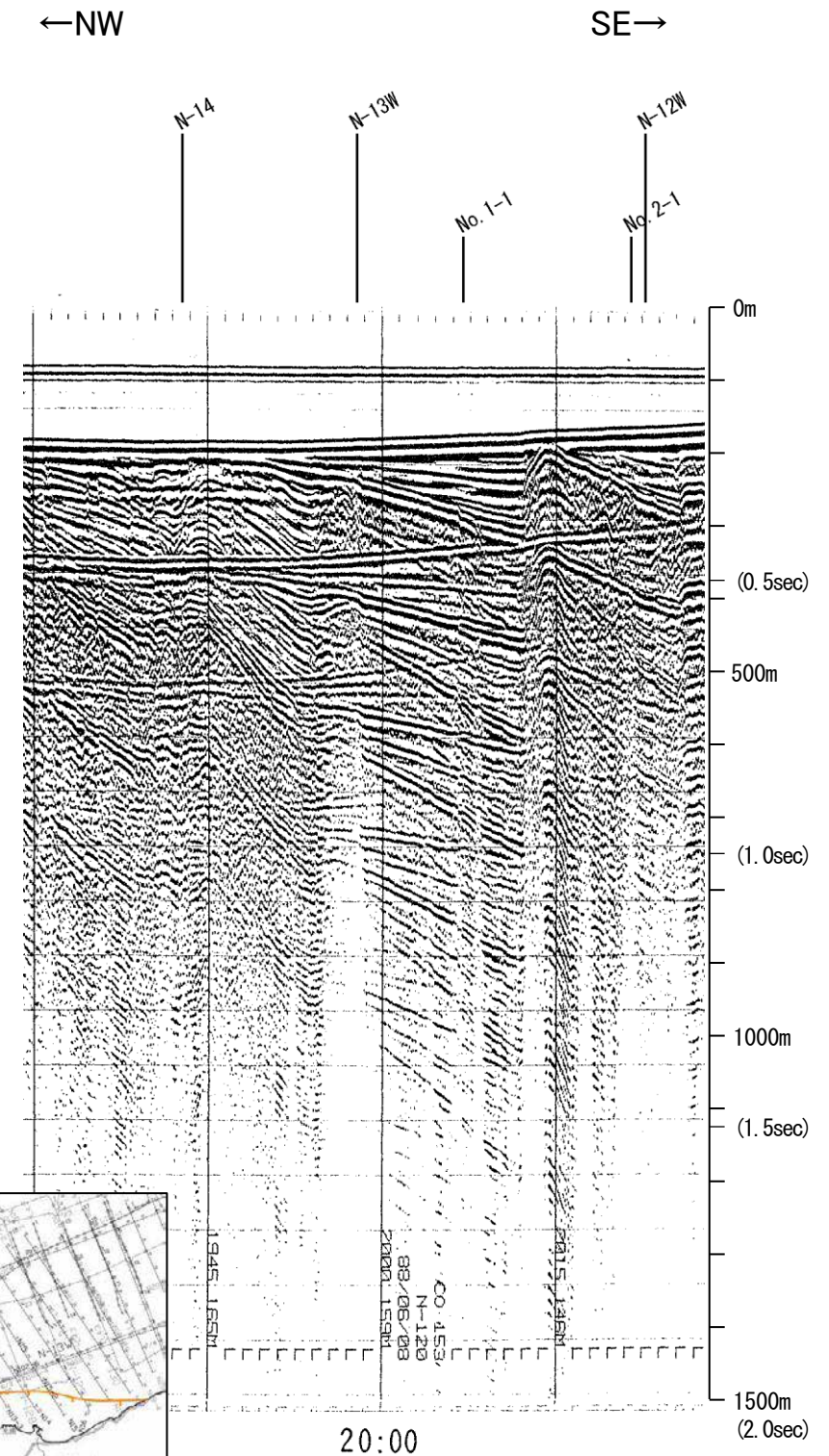


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	更新世	後期	B層
		中期	B層
	前期		B層
			B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
		D層	D層
	中新世		D層
			D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

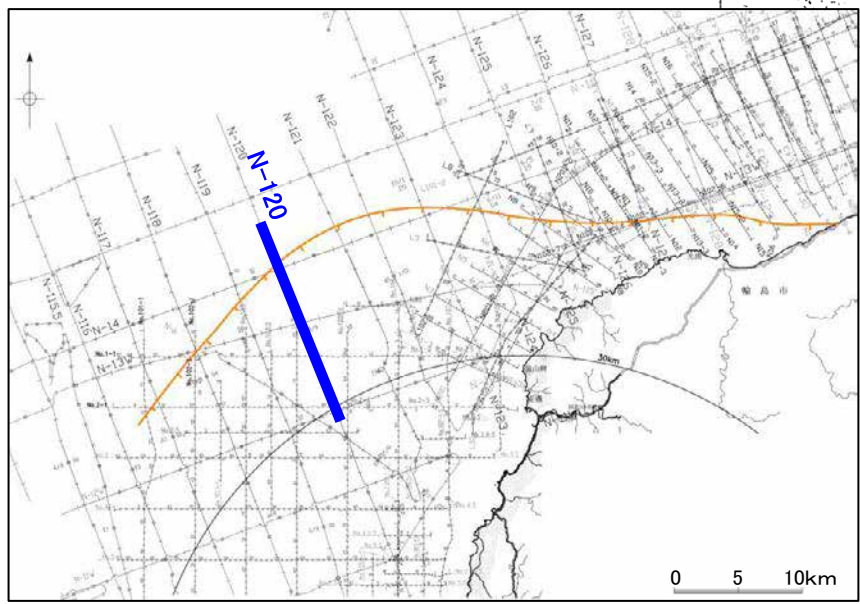
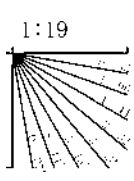


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-120

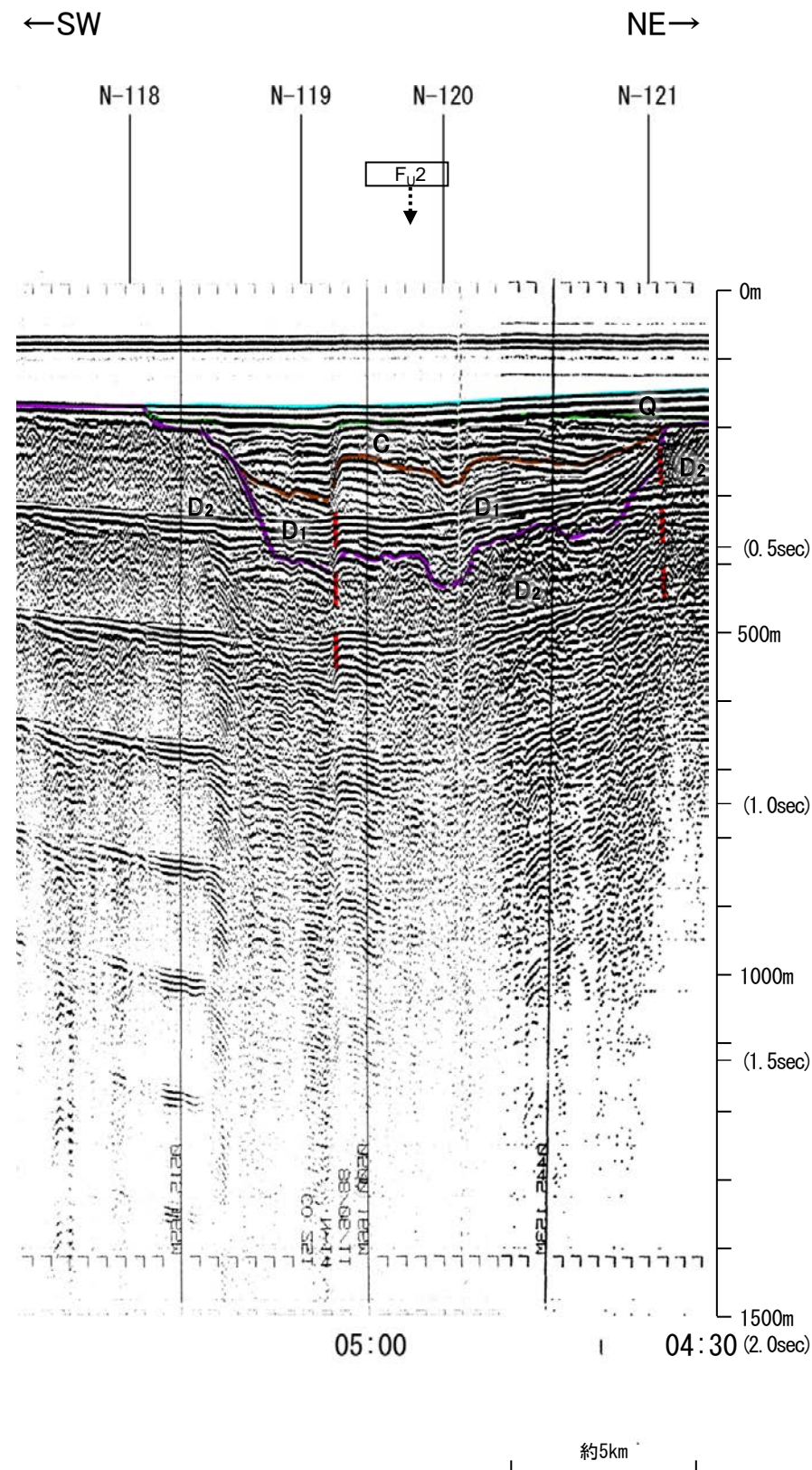
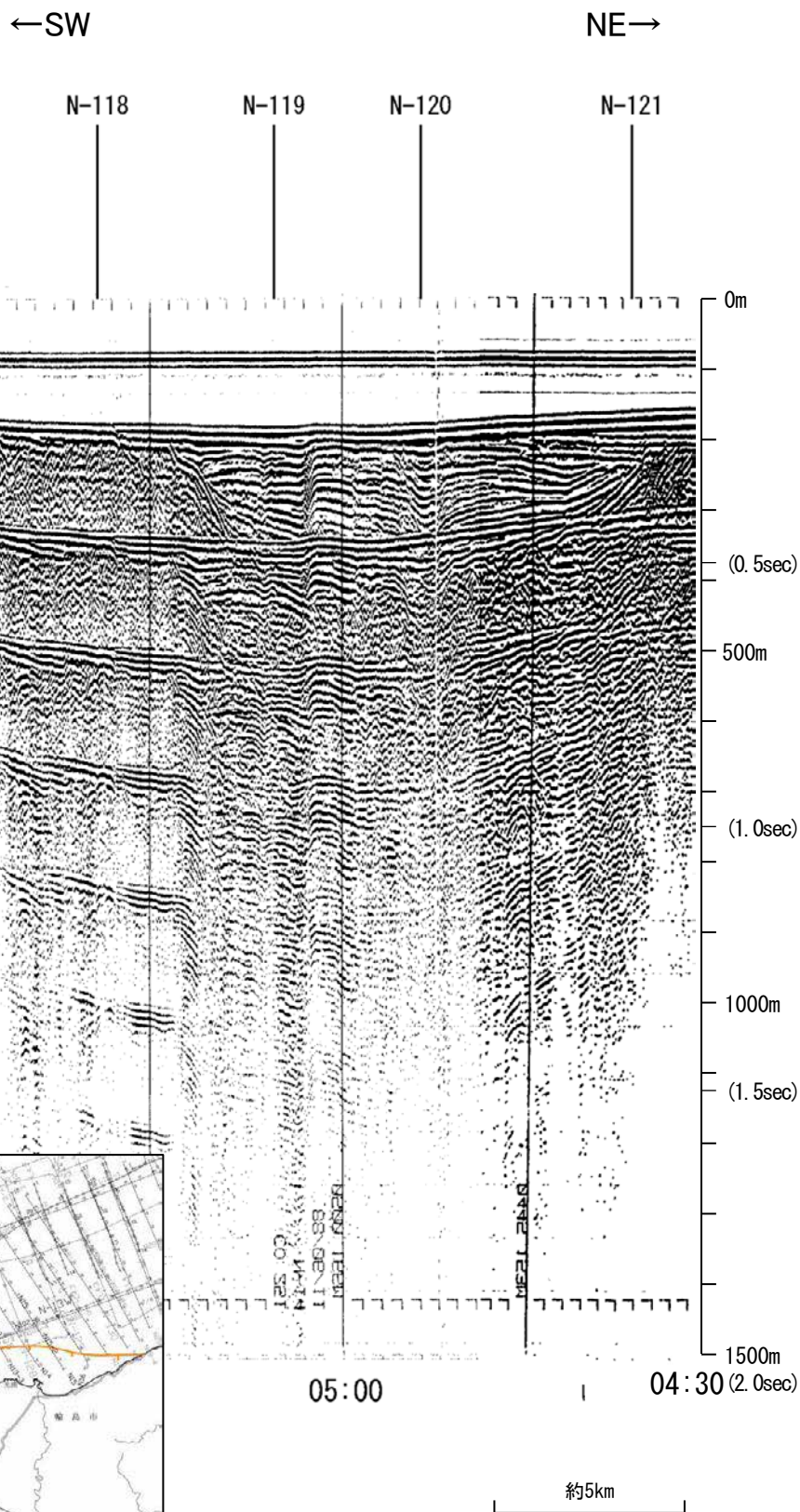


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B ₁ 層
	更新世	中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C層	C ₁ 層
	中新世		C ₂ 層
	古第三紀	D層	D ₁ 層
先第三紀	D ₂ 層		

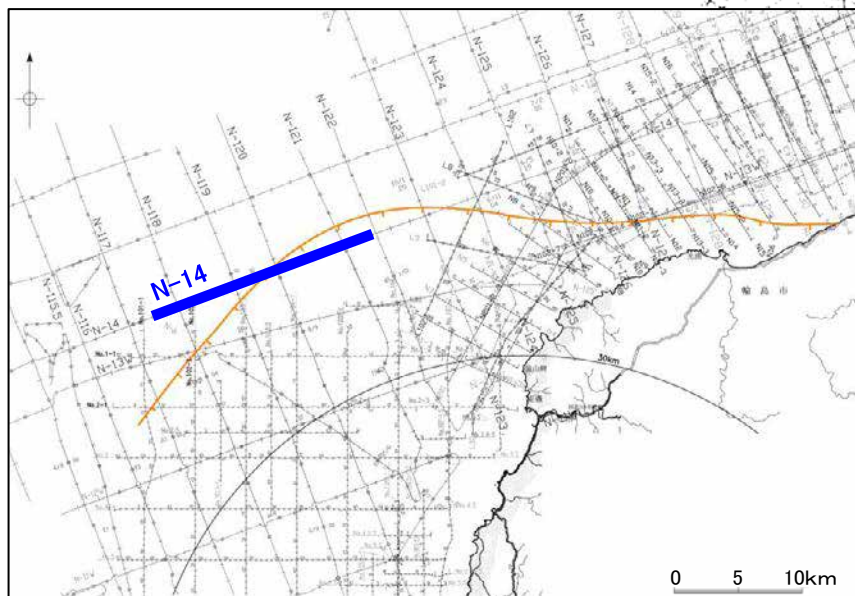
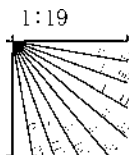


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-14

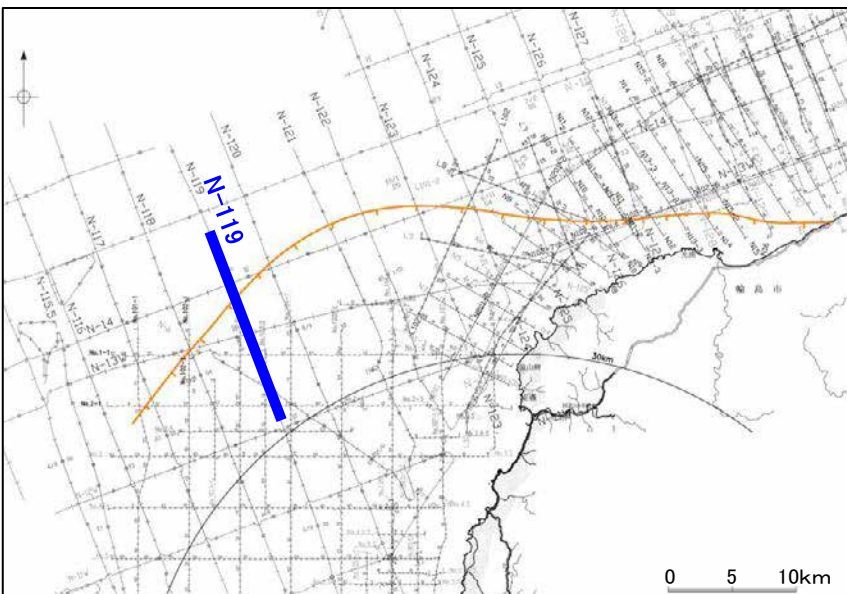
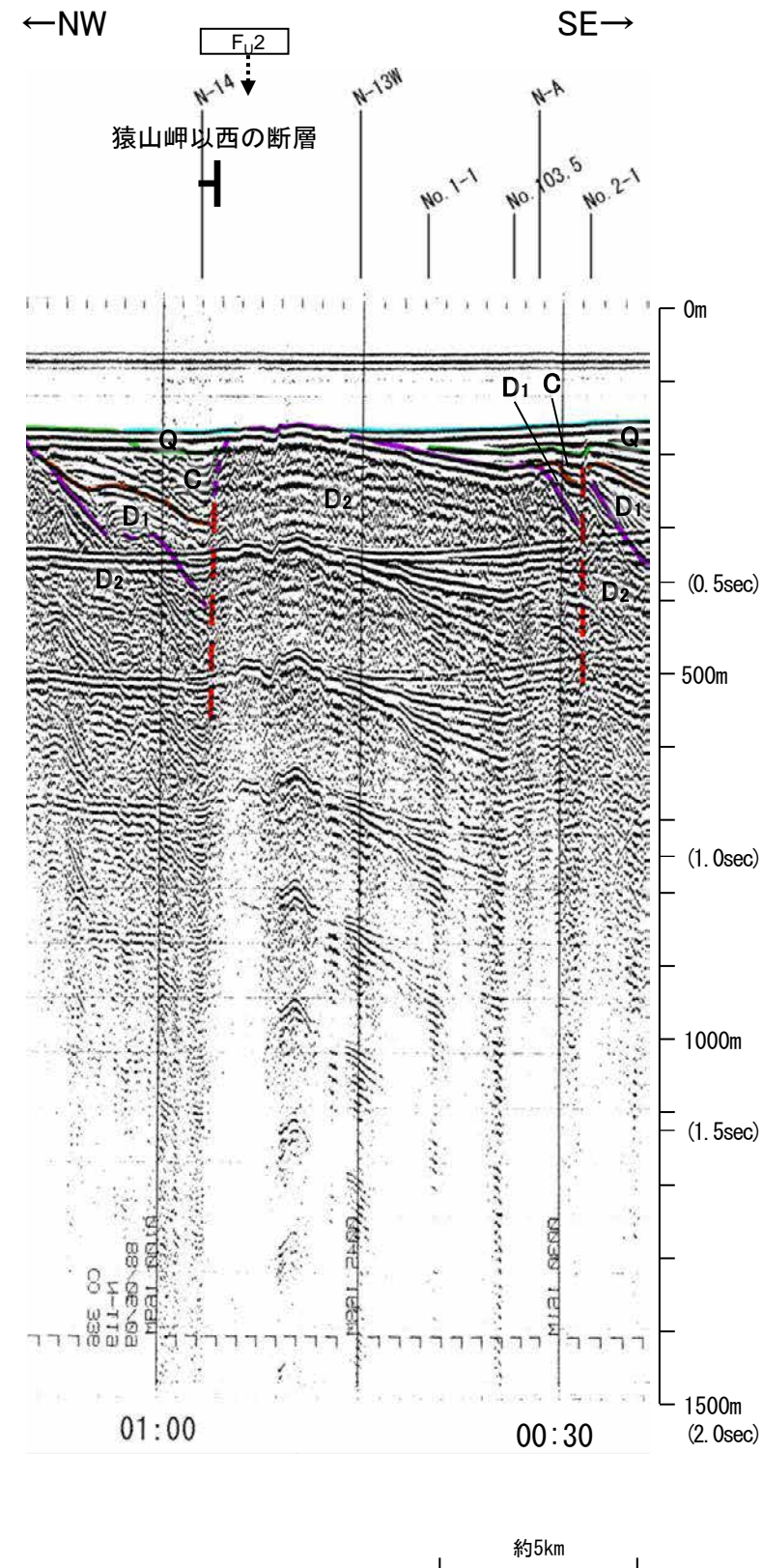
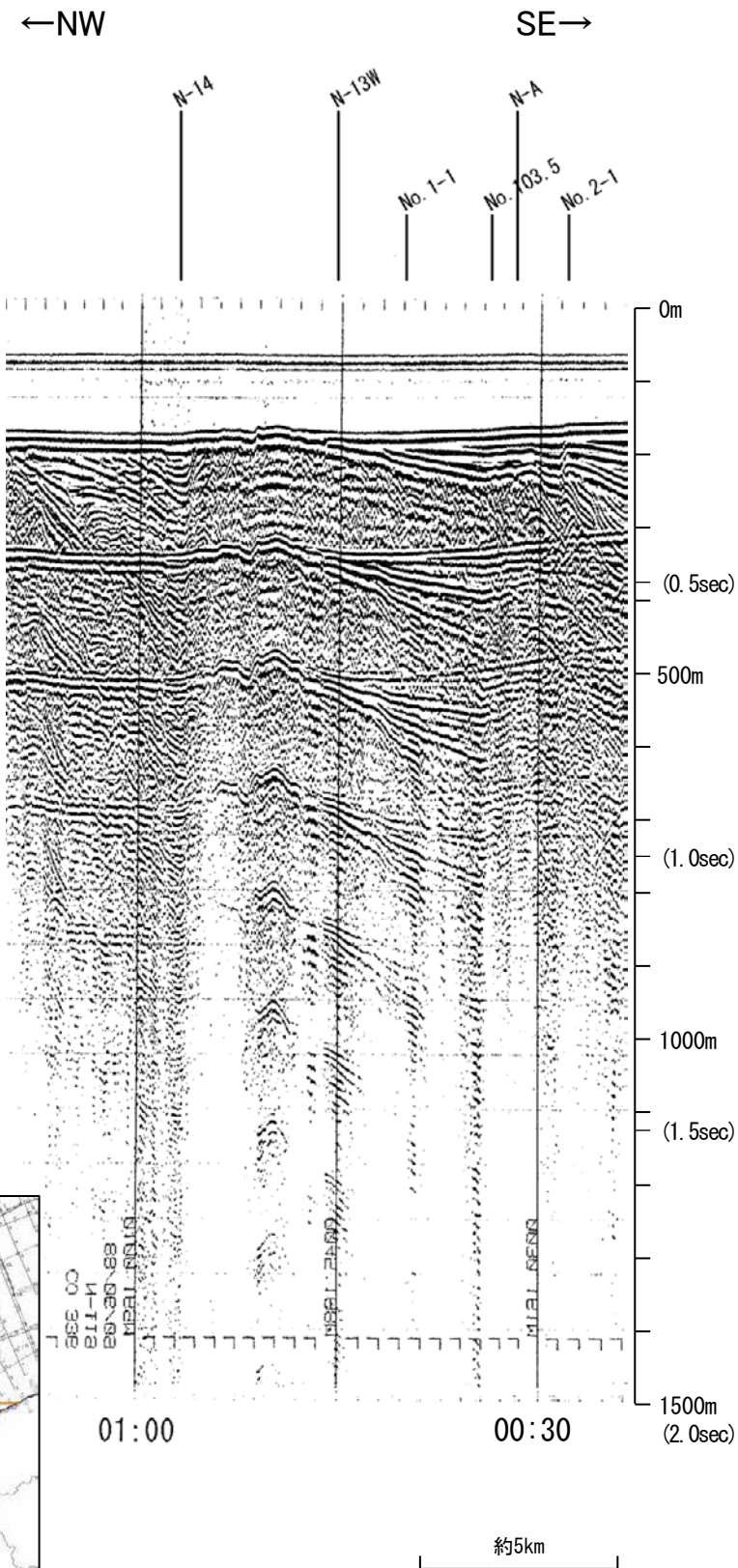
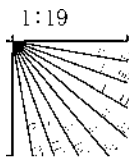


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	C層
			D層
第三紀	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D層	
第三紀	古第三紀	D層	
第三紀	先第三紀	D層	



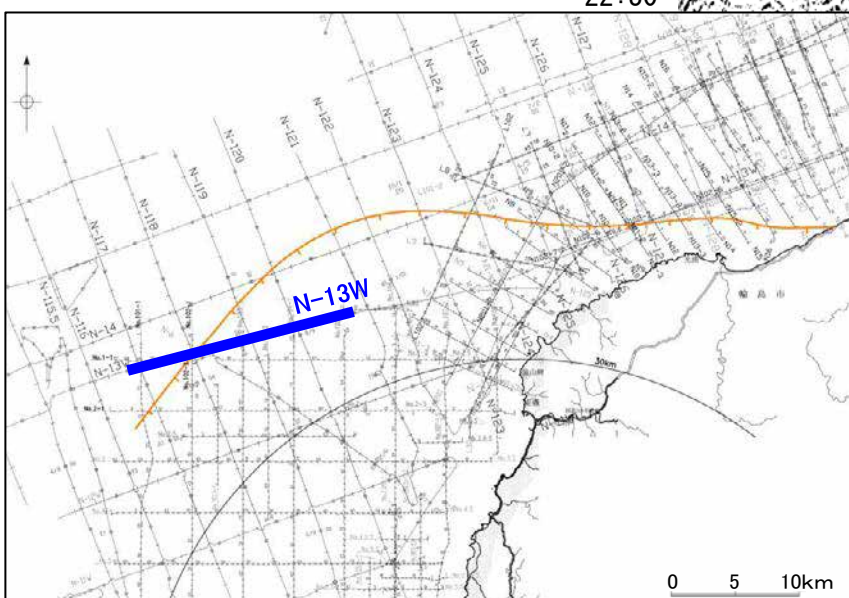
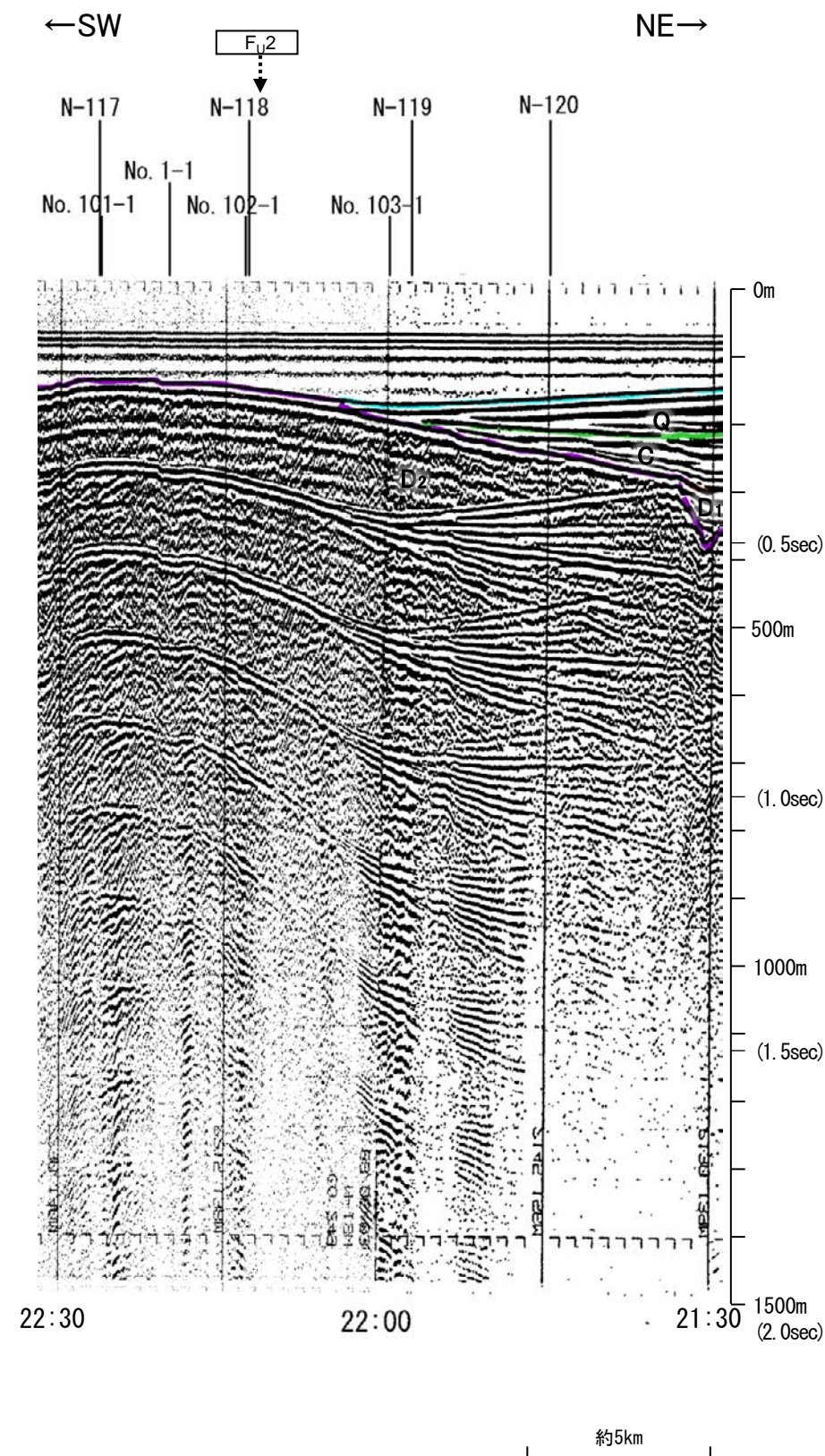
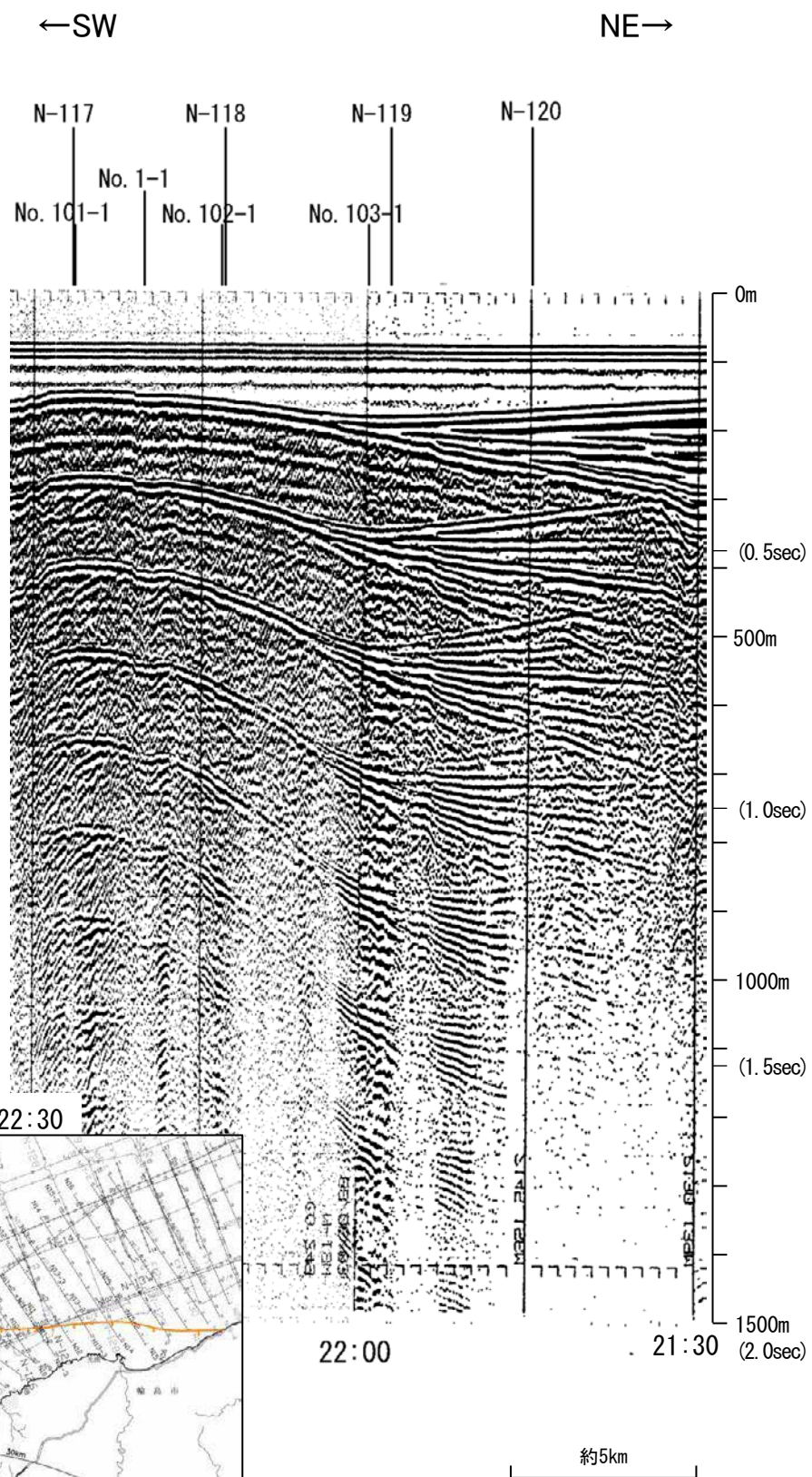
地質調査所エアガン N-119

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B ₁ 層
	更新世		B ₂ 層
	中期		B ₃ 層
	前期		B ₄ 層
第三紀	鮮新世	D層	C層
	中新世		C ₁ 層
	古第三紀		D ₁ 層
先第三紀			D ₂ 層

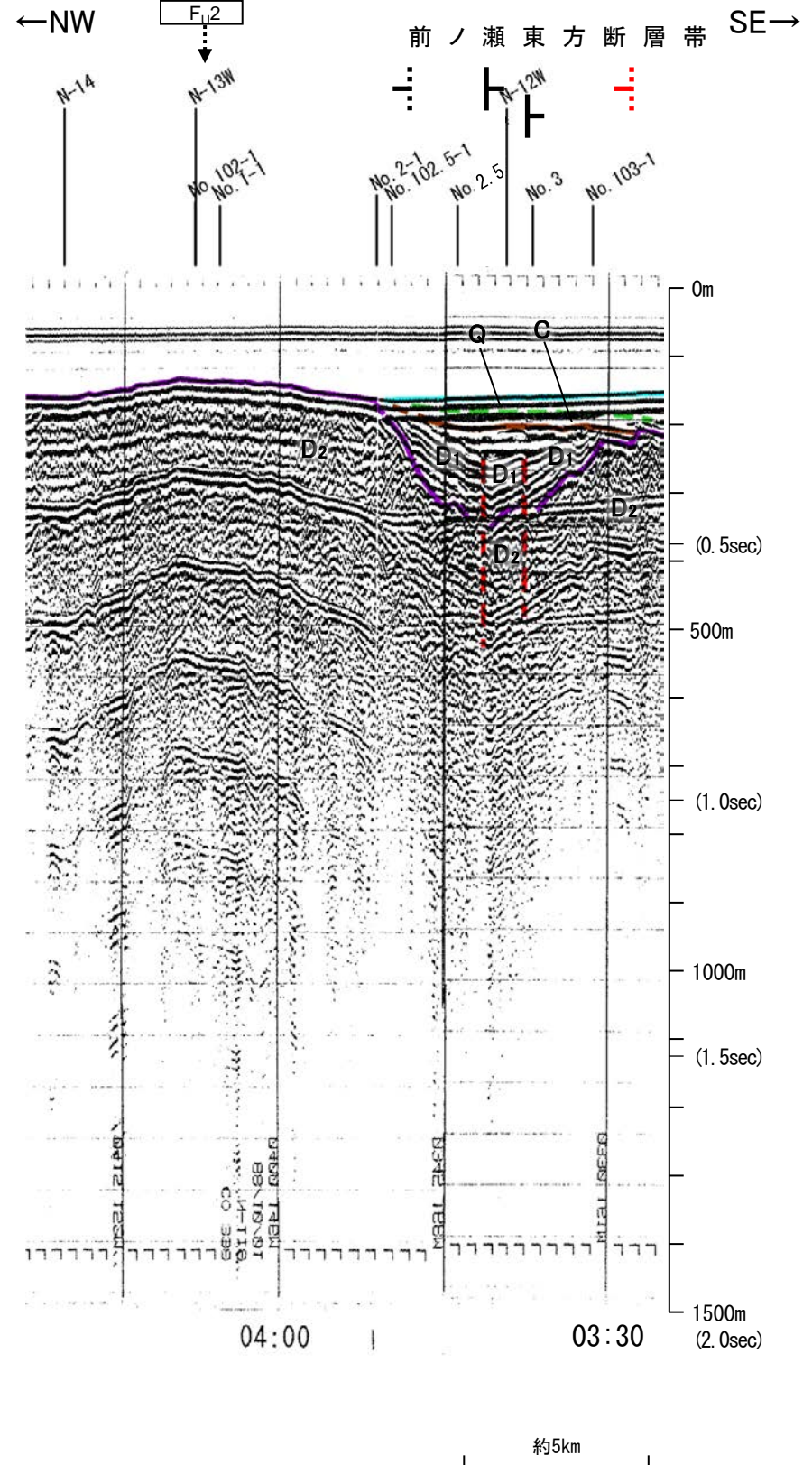
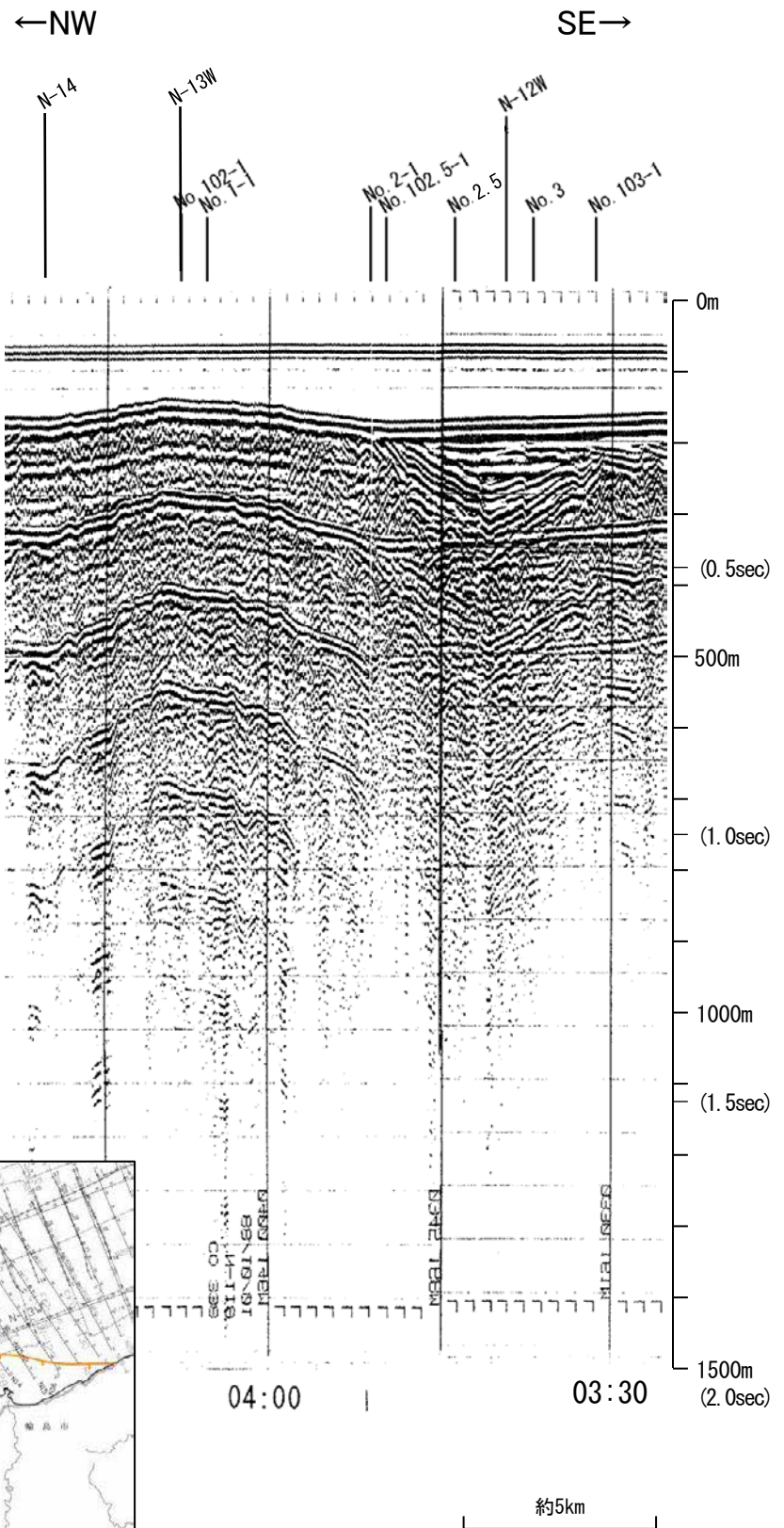


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

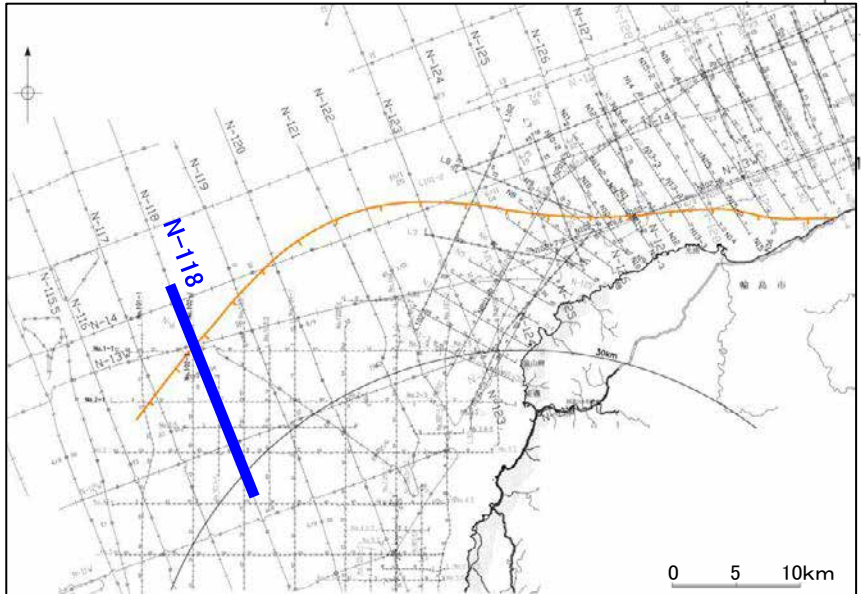
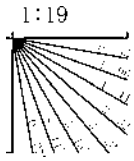
地質調査所エアガン N-13W



地質調査所エアガン N-118

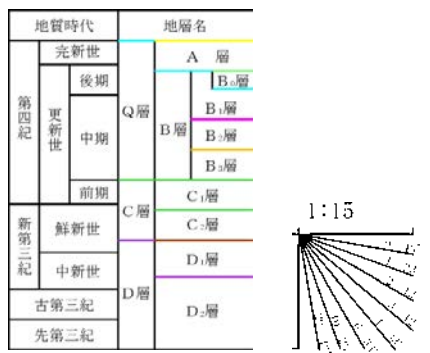
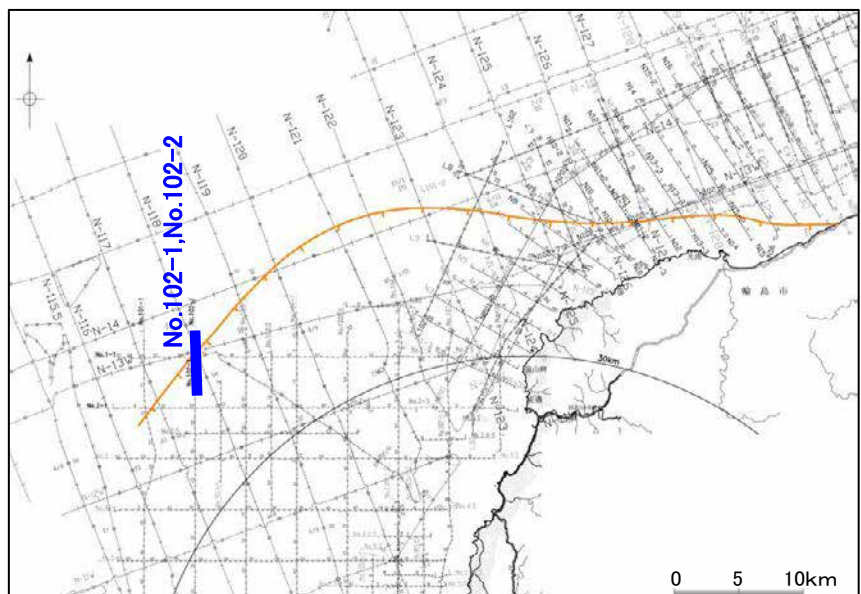
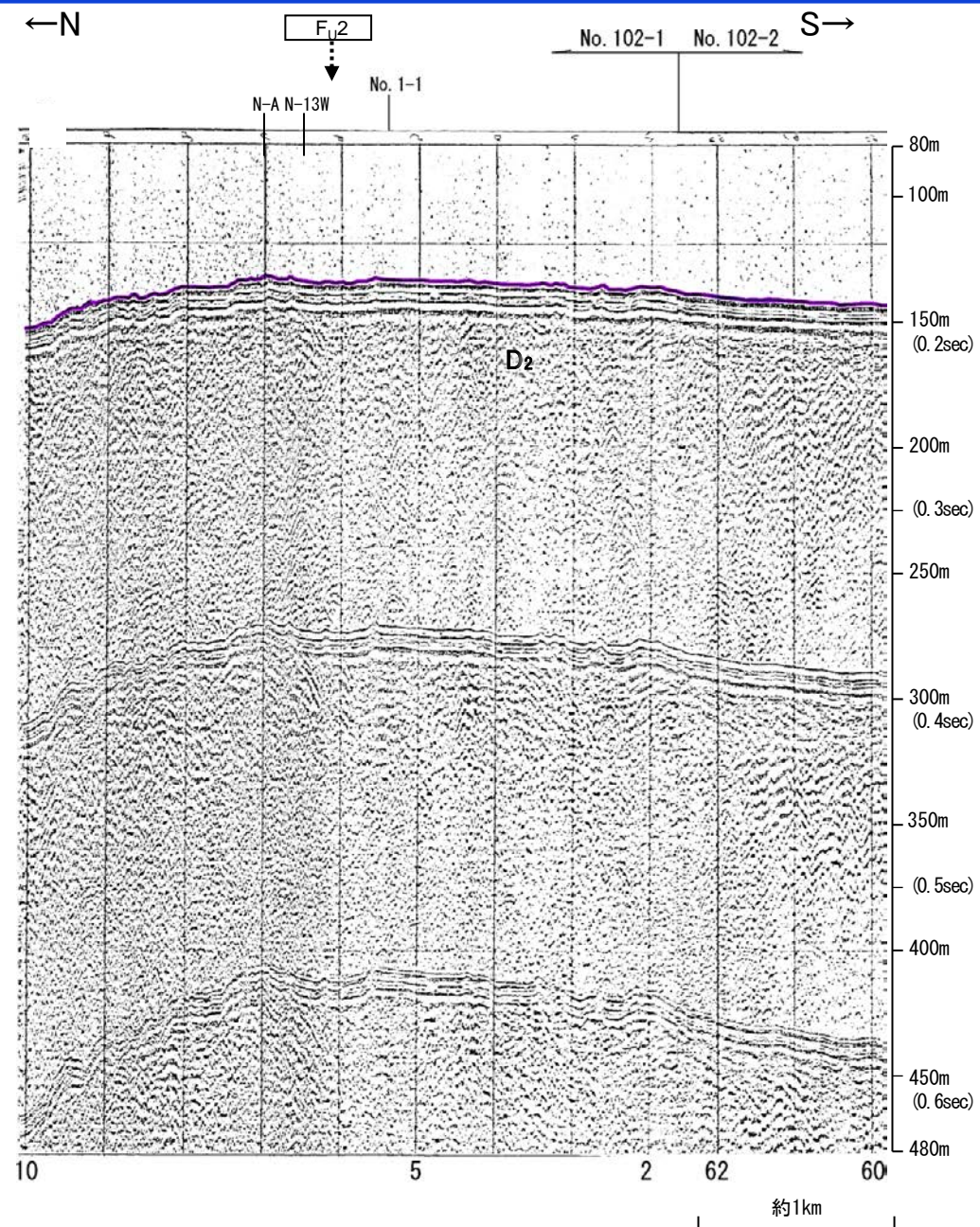
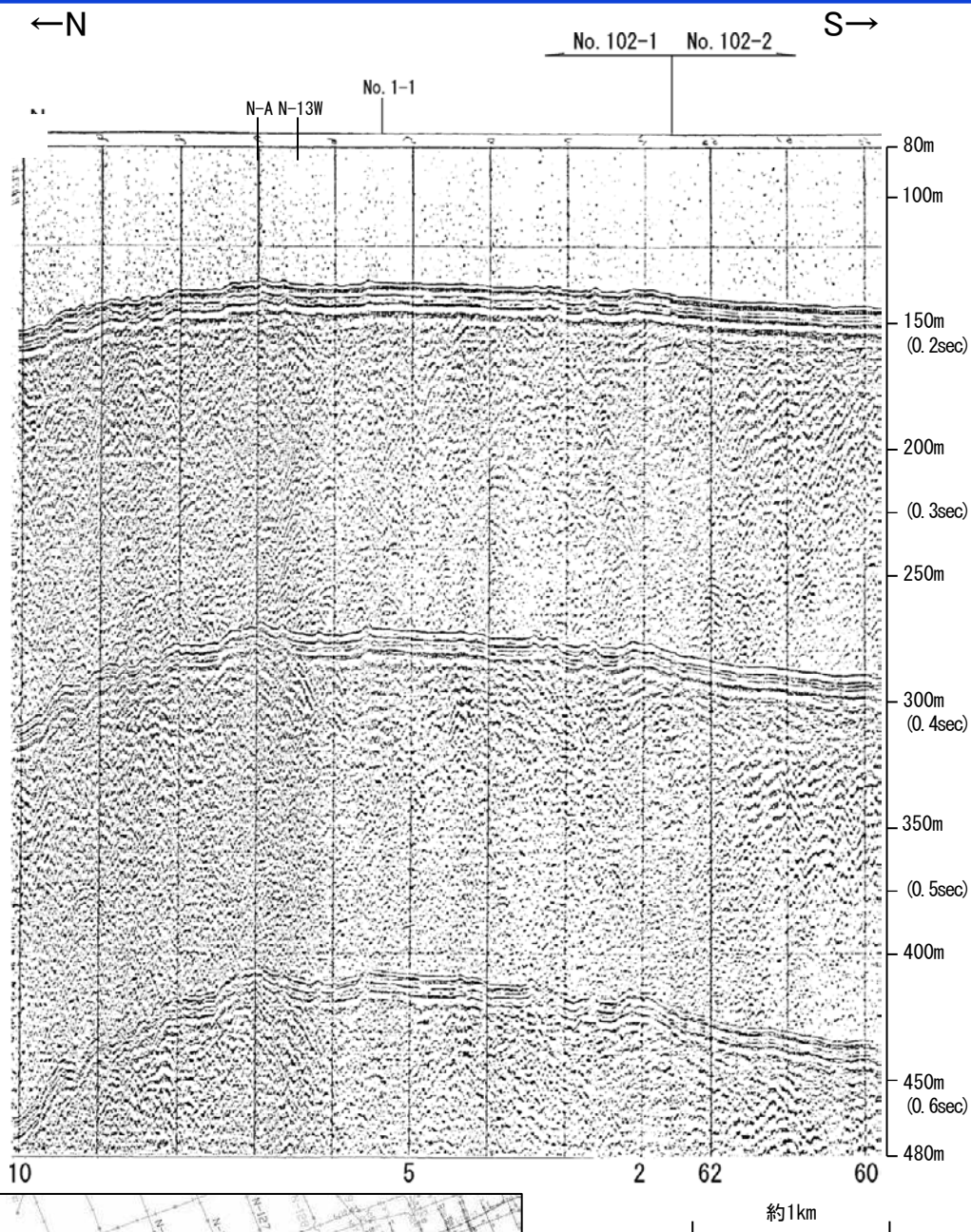


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	更新世	後期	B層
		中期	B層
		前期	B層
新第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層

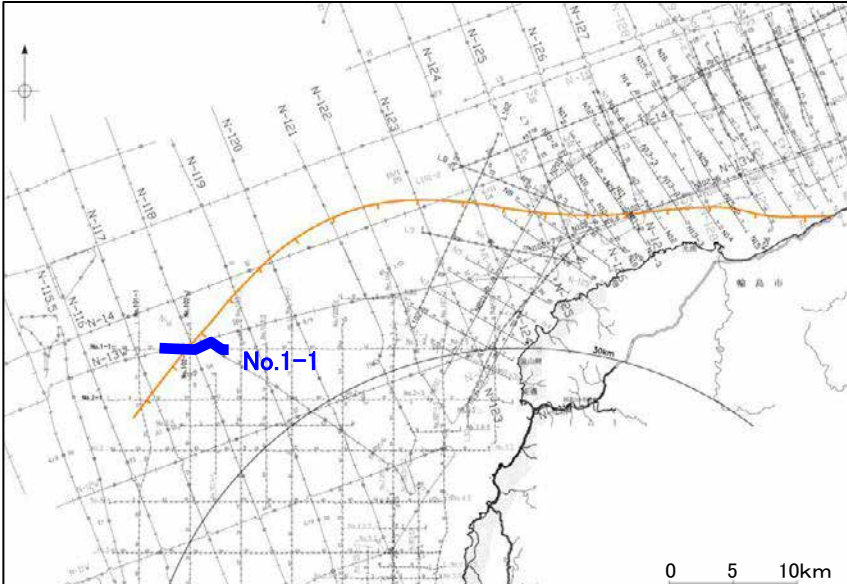
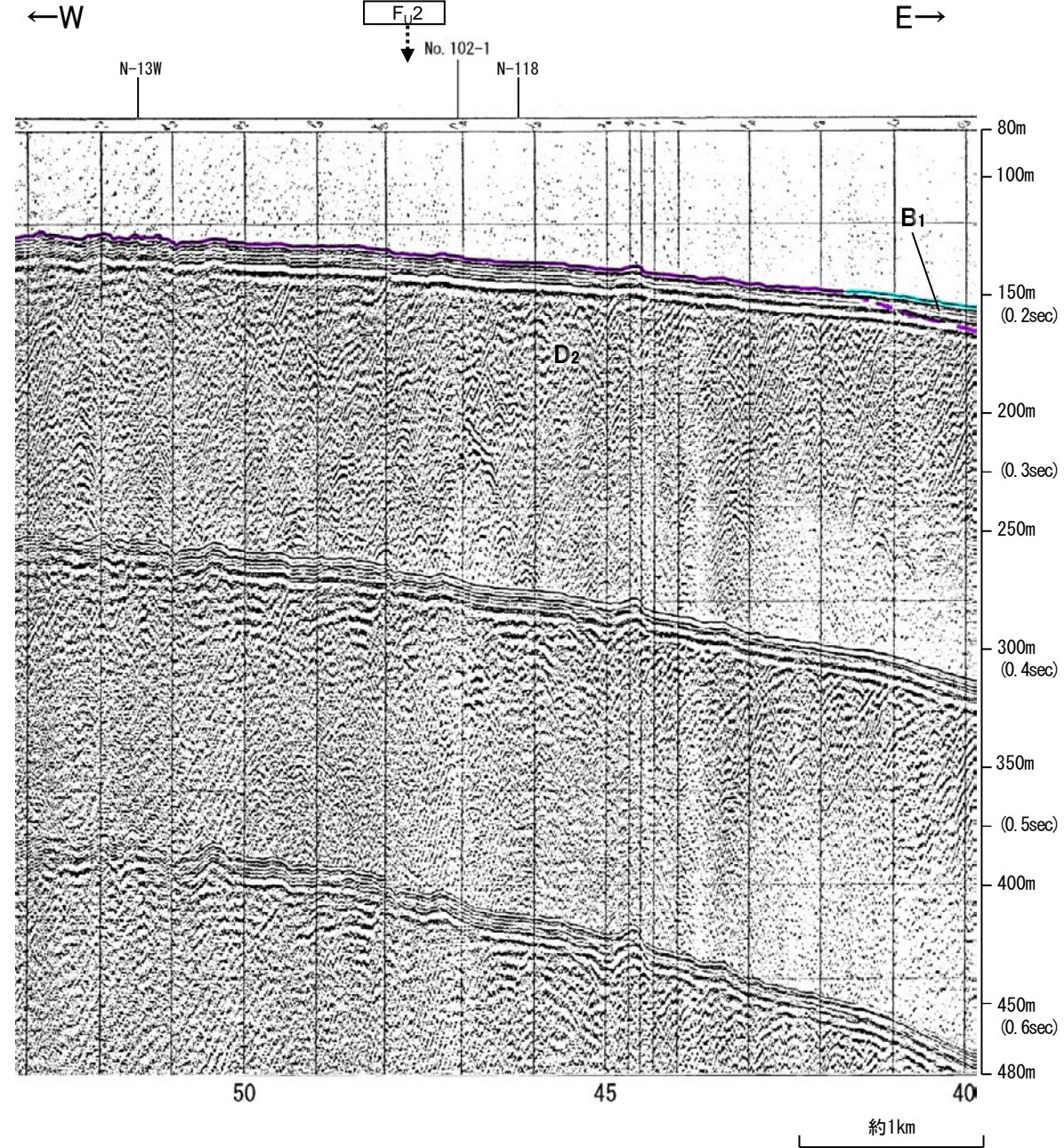
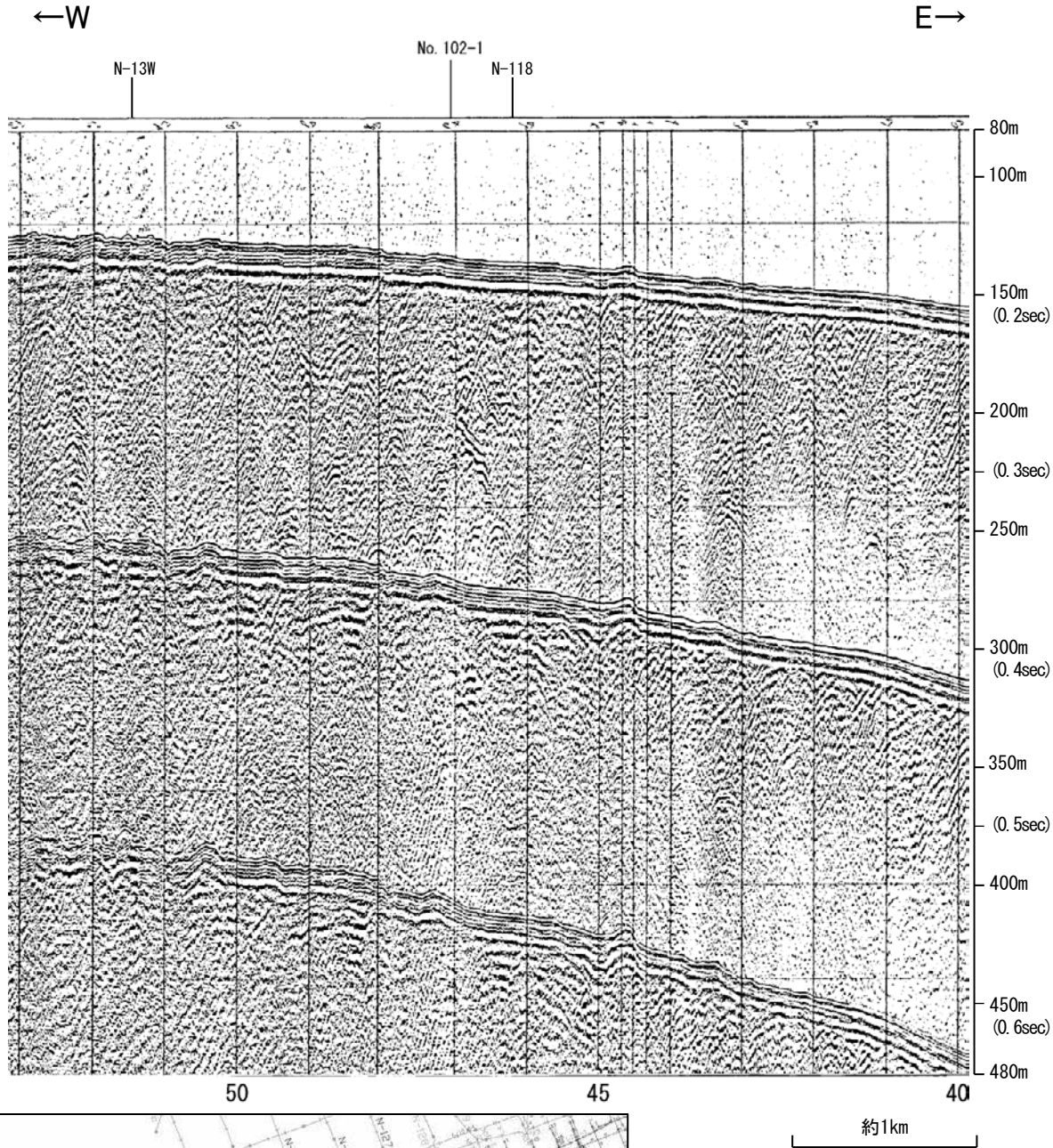


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

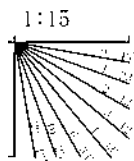
北陸電カスパーカー No.102-1, No102-2



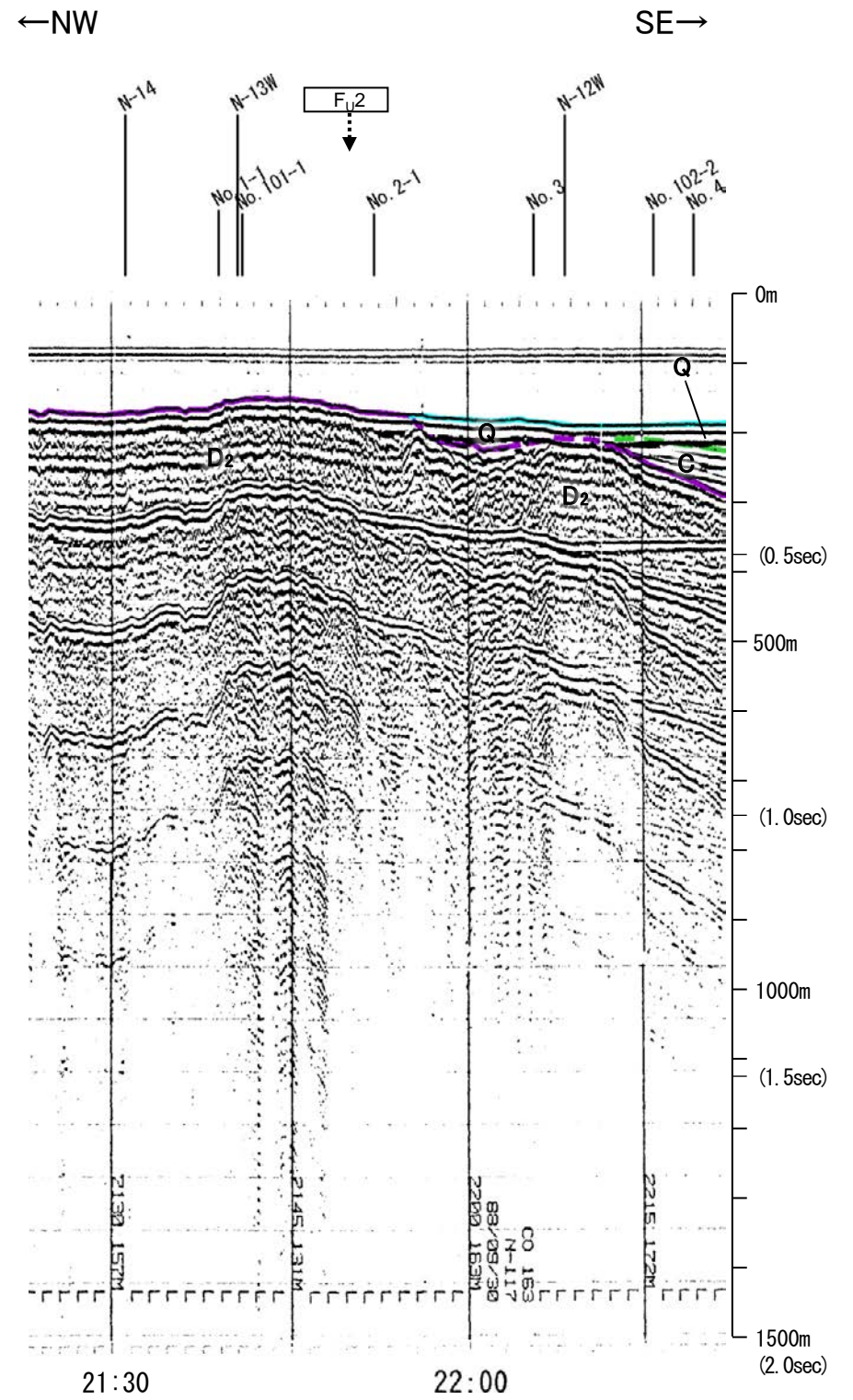
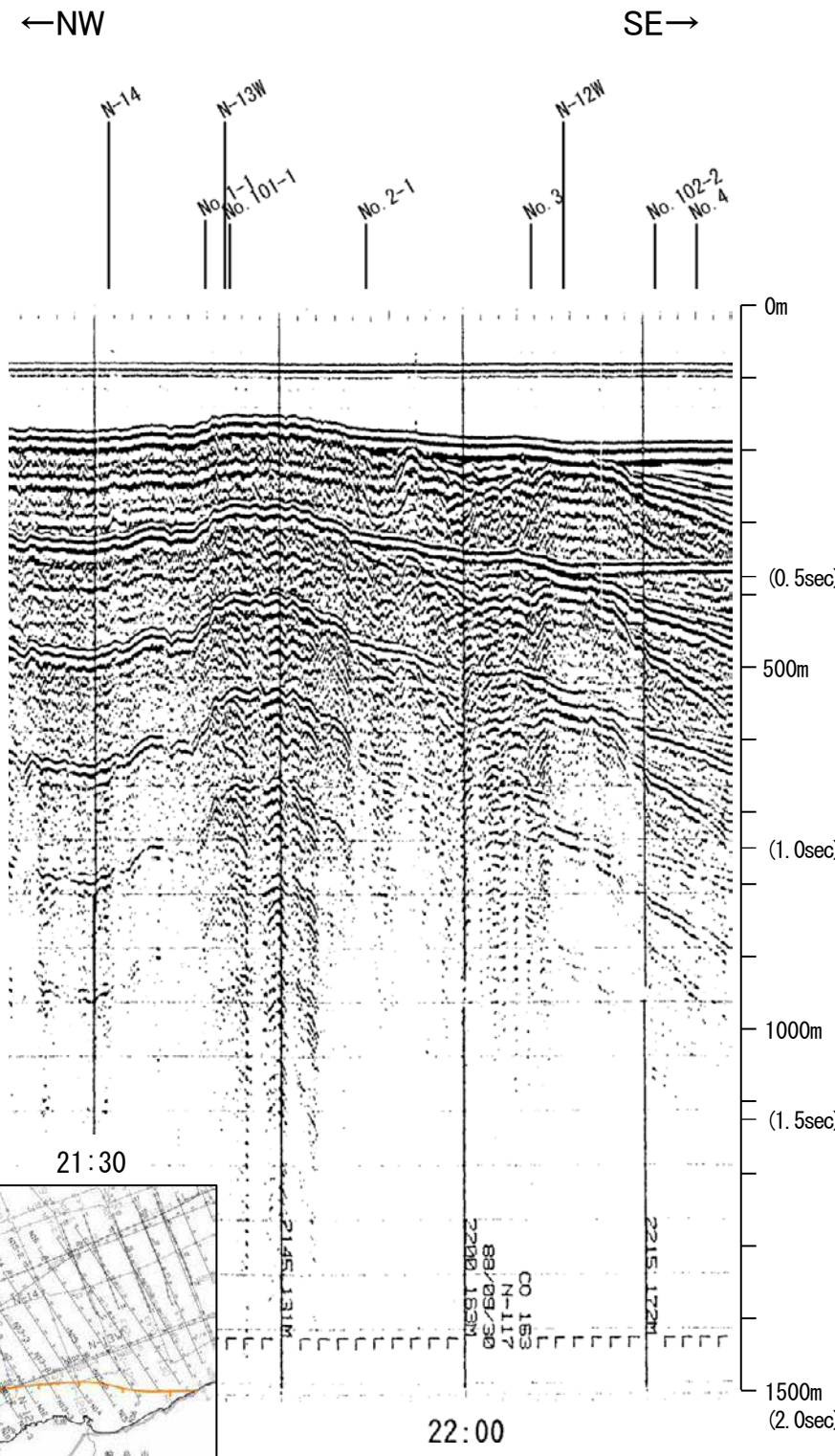
北陸電カスパーカー No.1-1



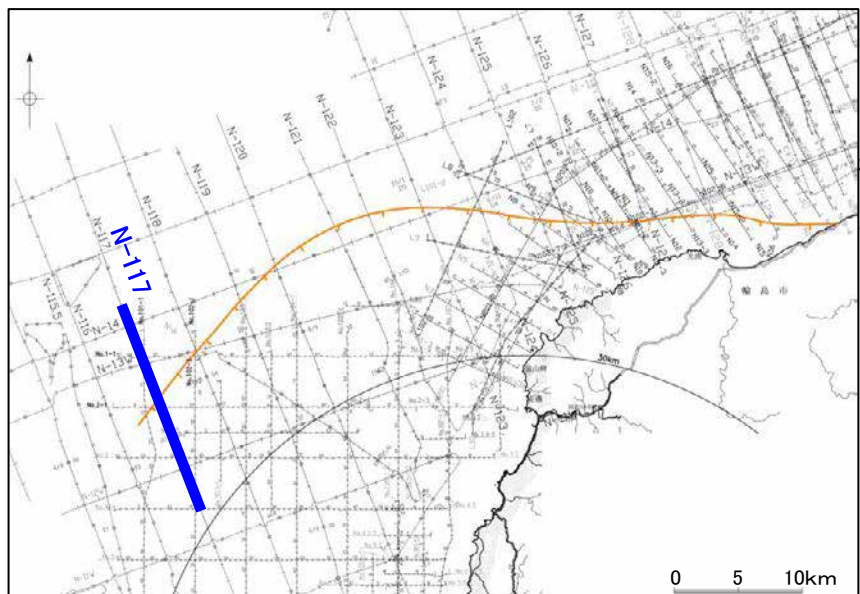
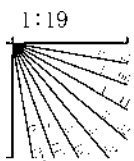
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	更新世	B層
	中期	B層
前期	B層	
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	C層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



地質調査所エアガン N-117

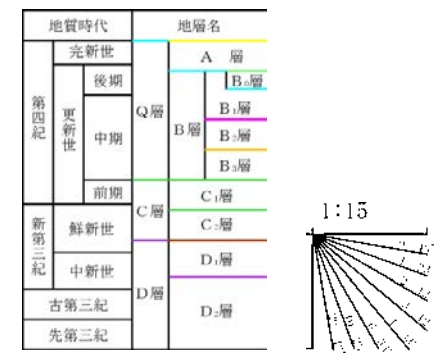
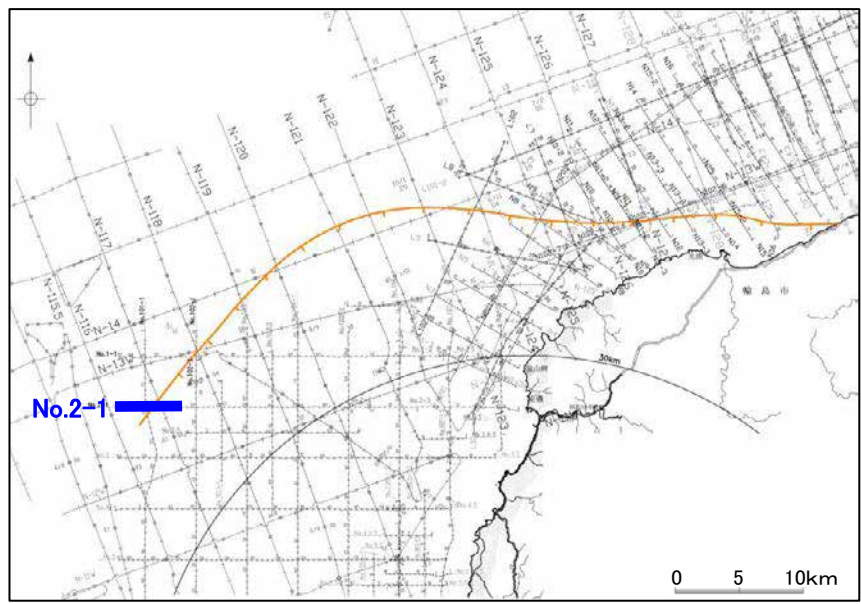
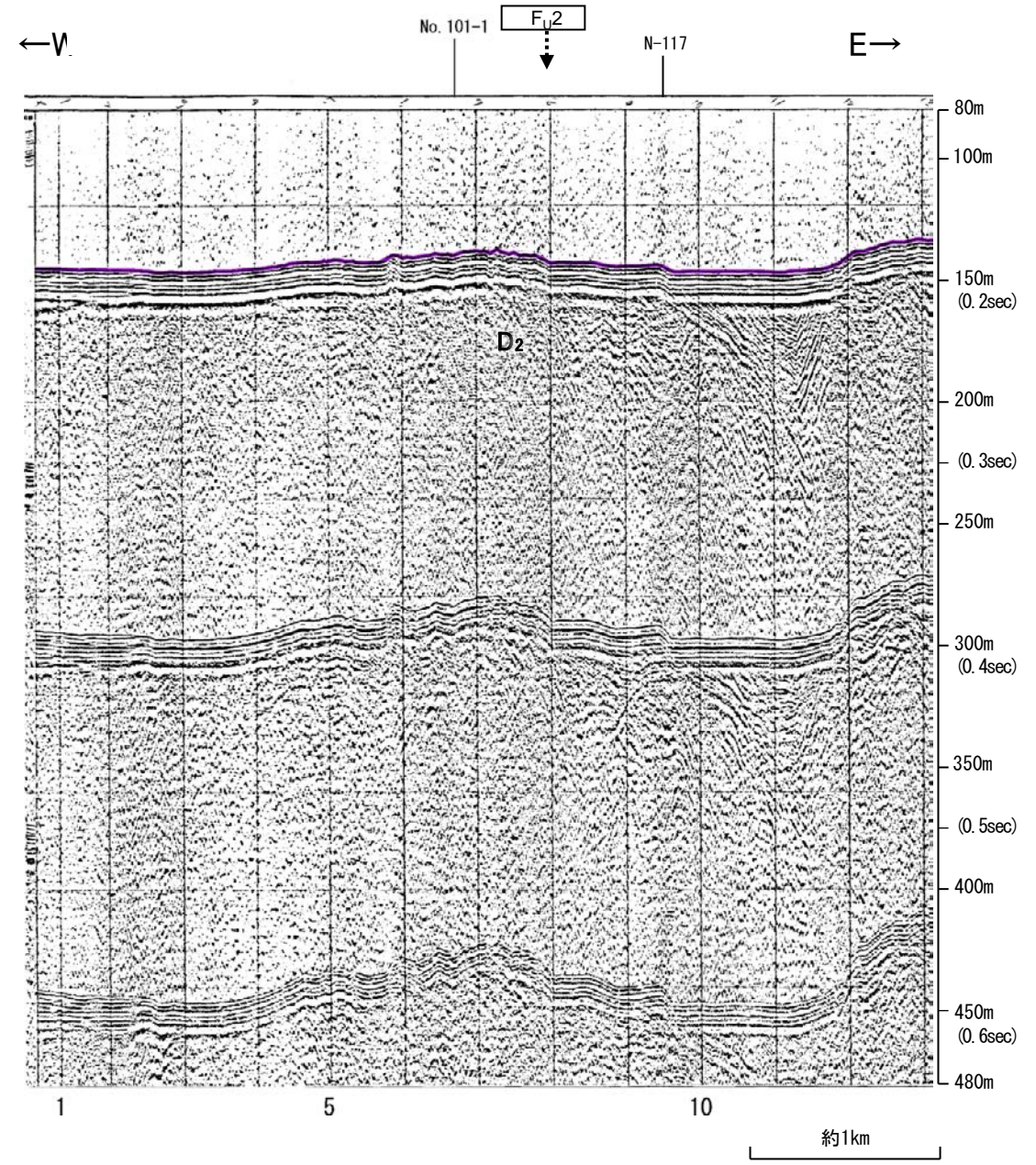
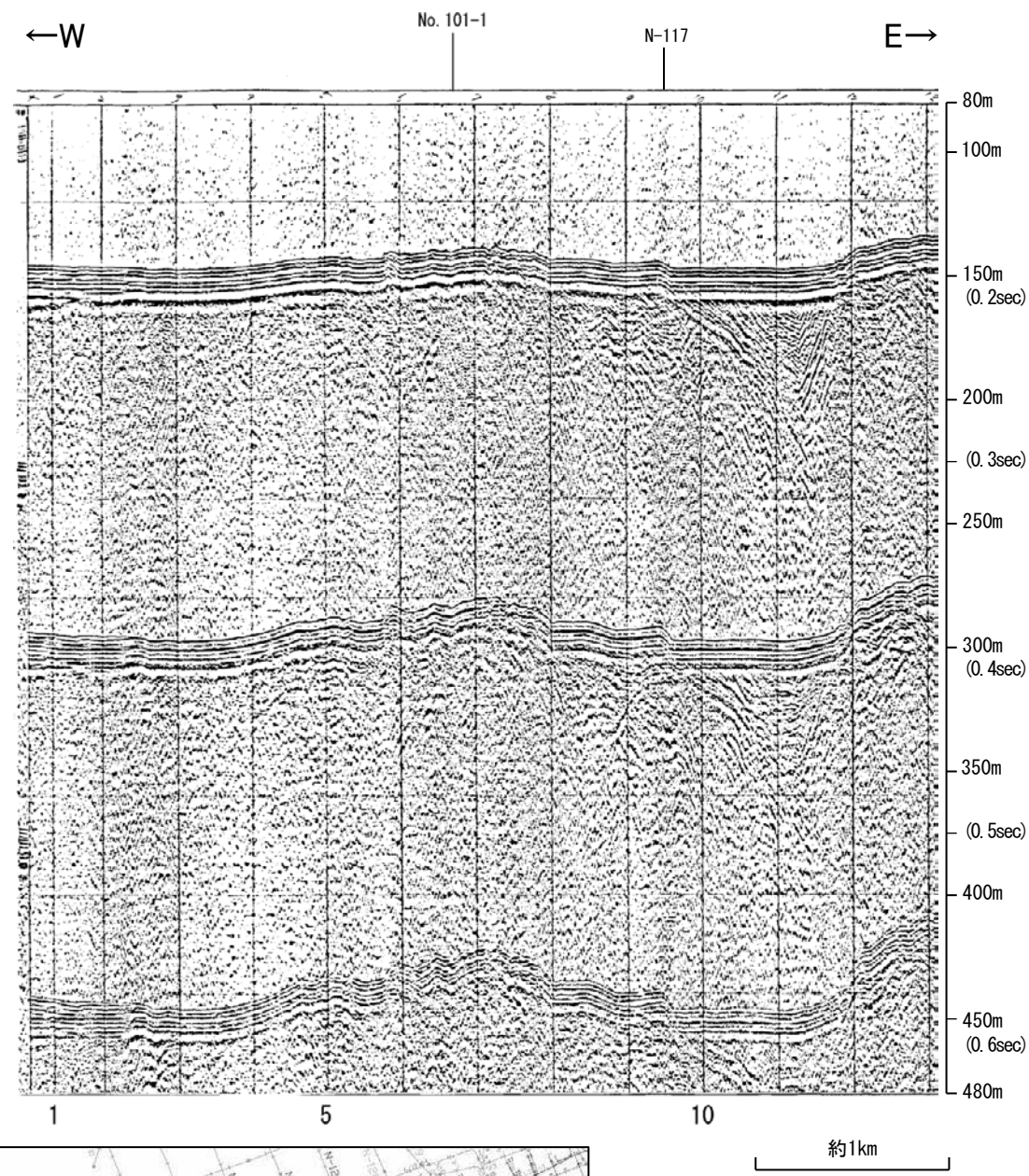


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B ₁ 層
	更新世	B層	B ₂ 層
			B ₃ 層
	前期	C層	
鮮新世	C ₁ 層		
新第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	

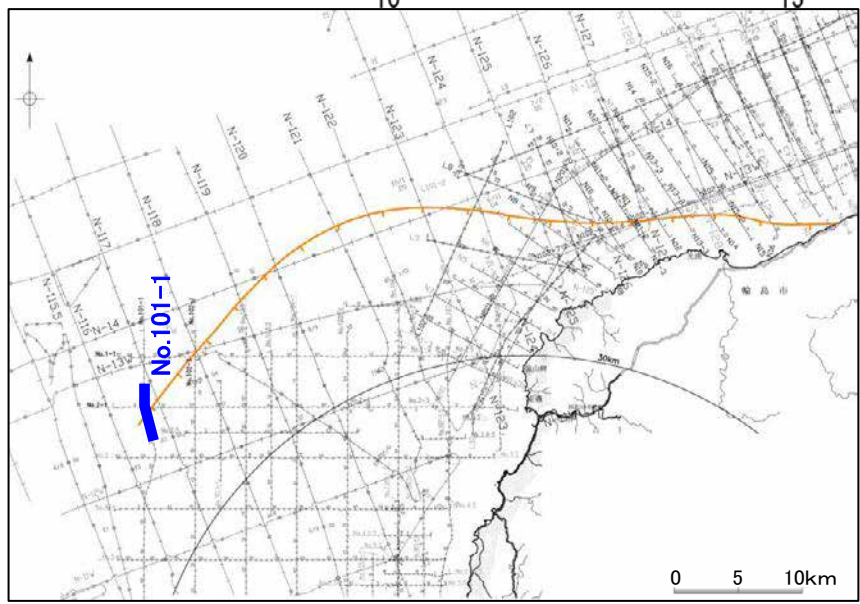
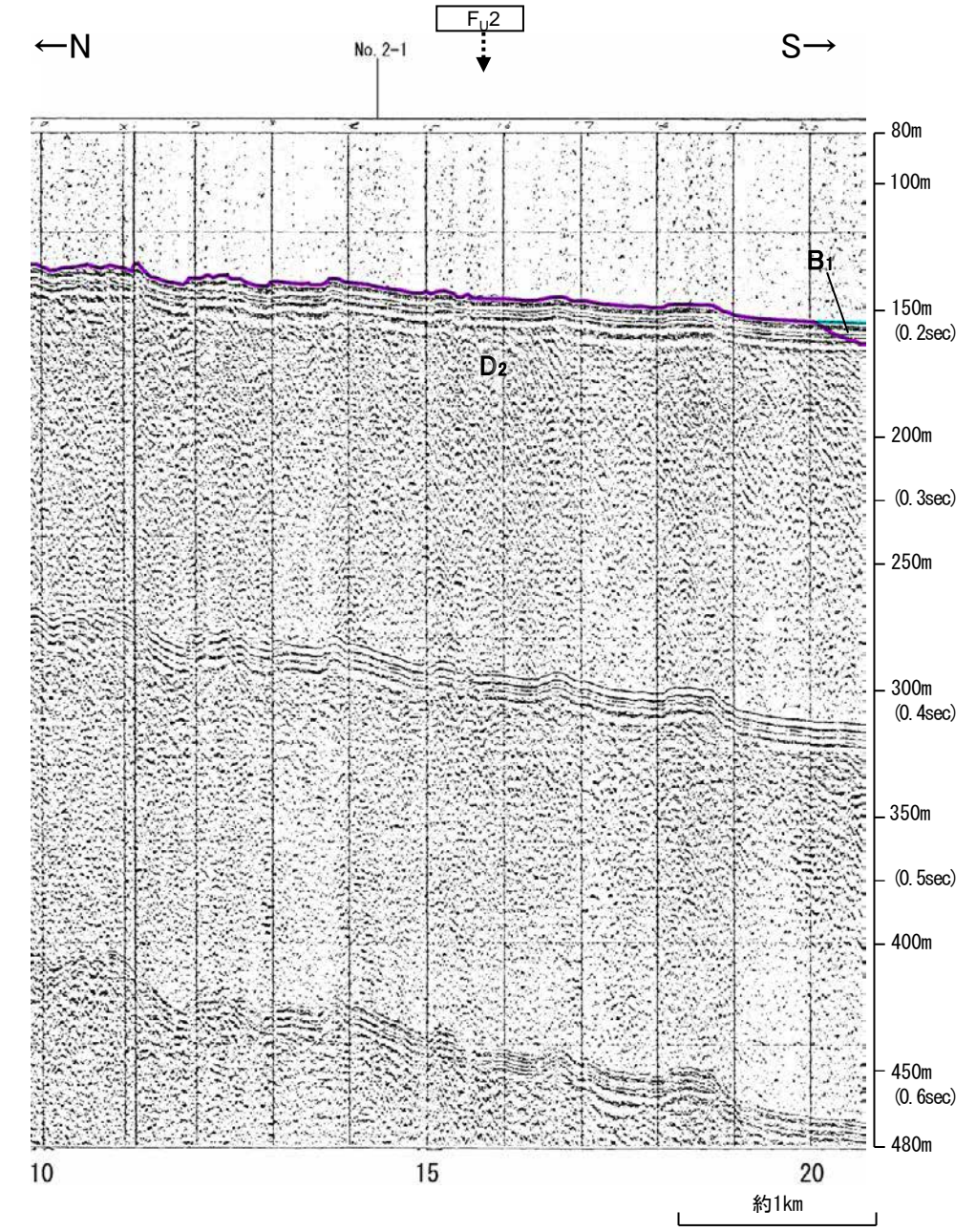
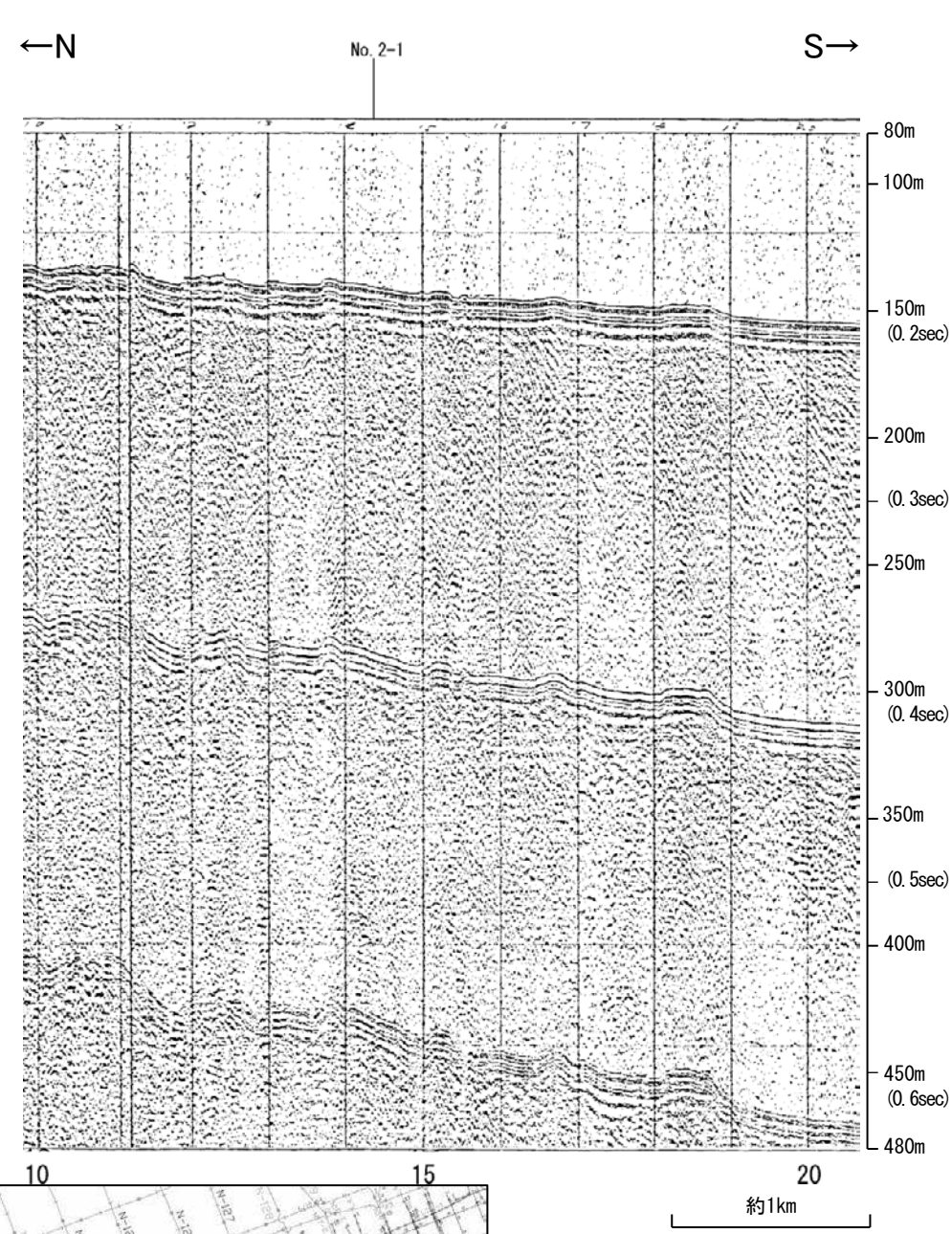


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

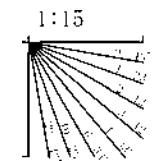
北陸電カスパーカー No.2-1



北陸電カスパーカー No.101-1

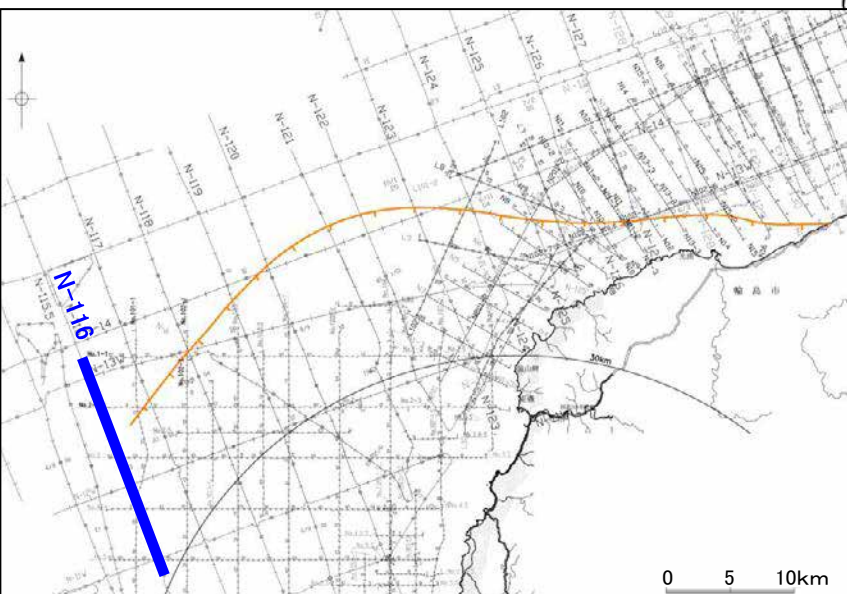
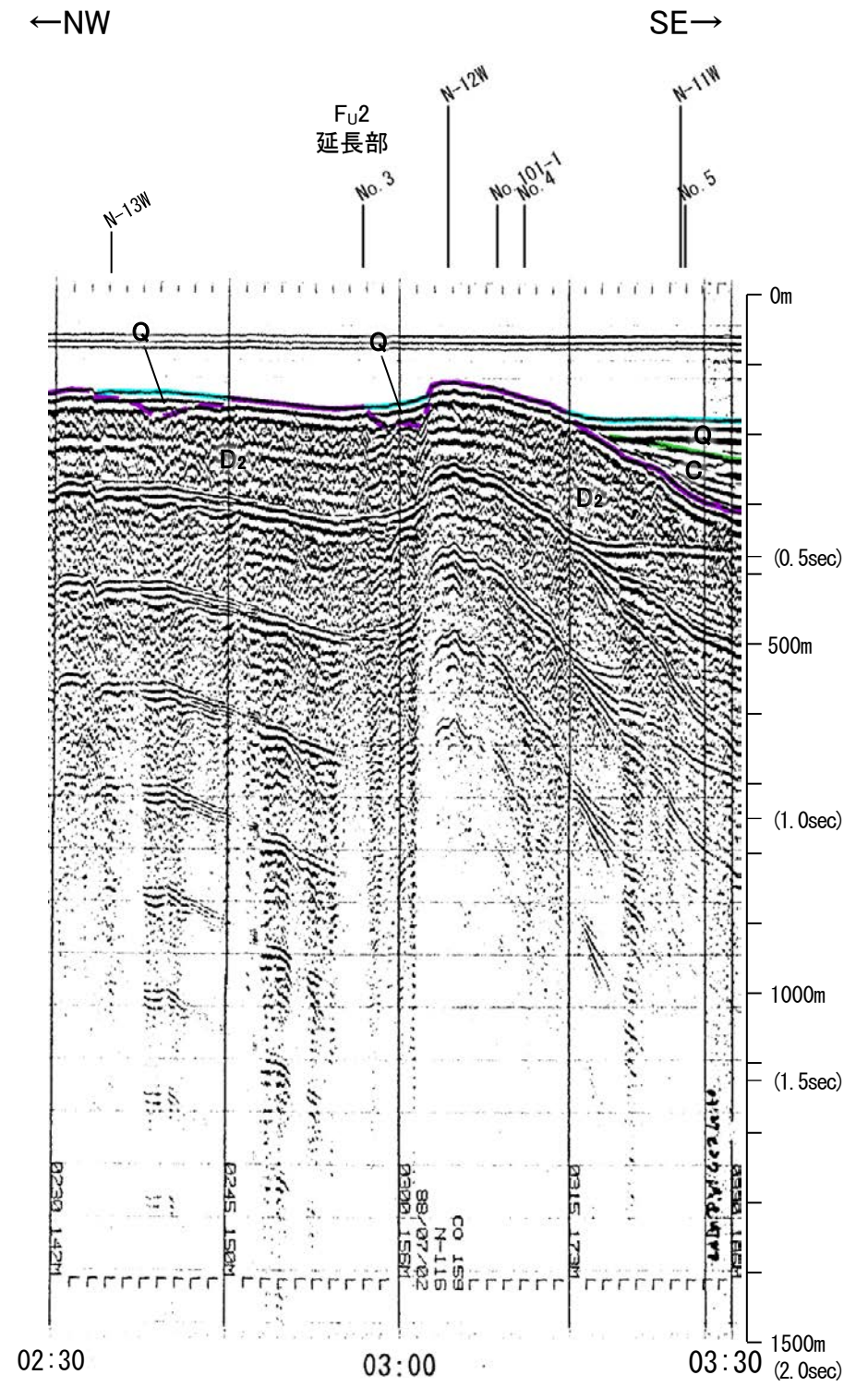
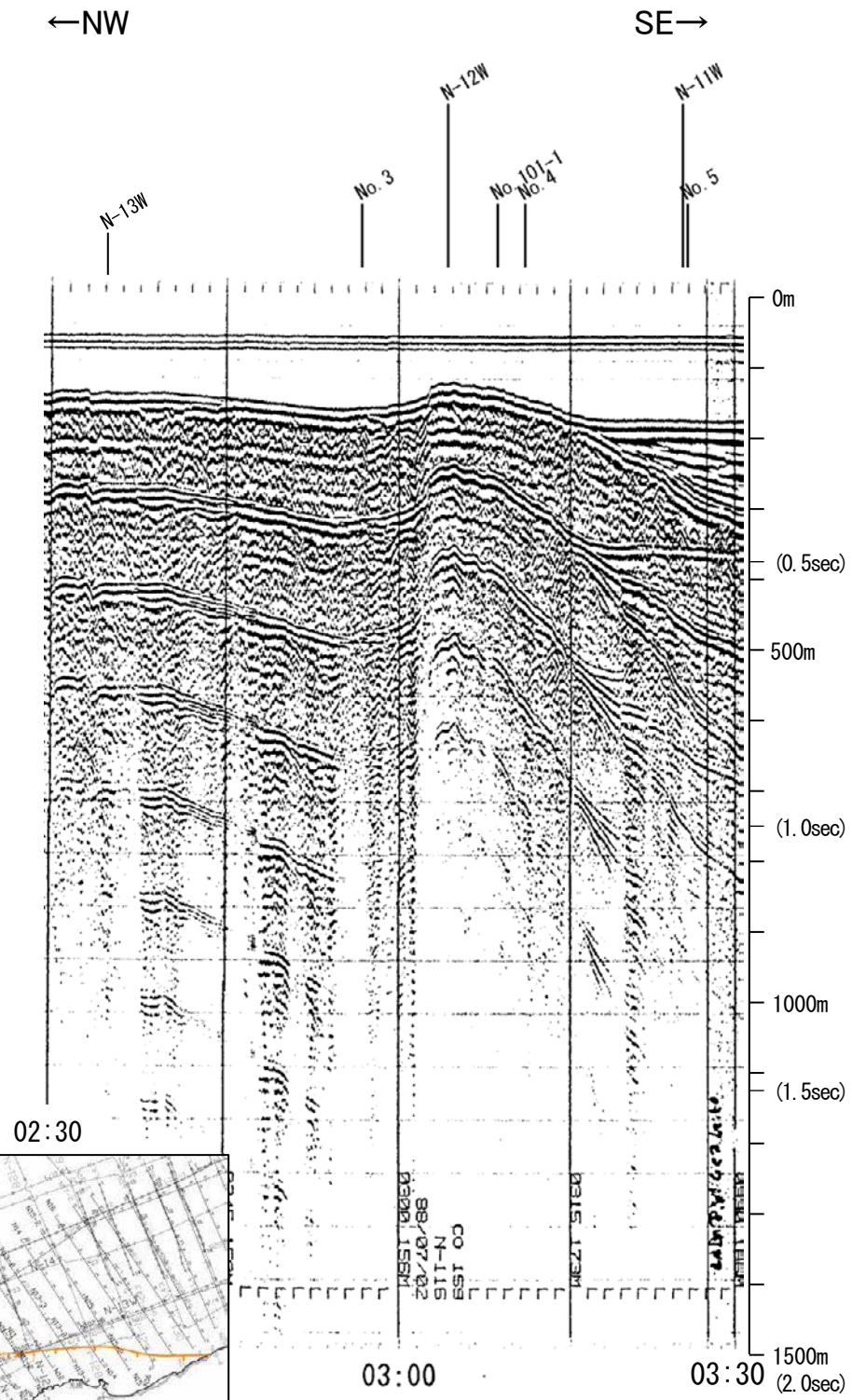
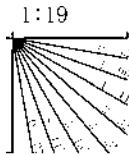


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	更新世	B層
中期	B層	
	B層	
前期	C層	
	C層	
鮮新世	C層	
	D層	
中新世	D層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



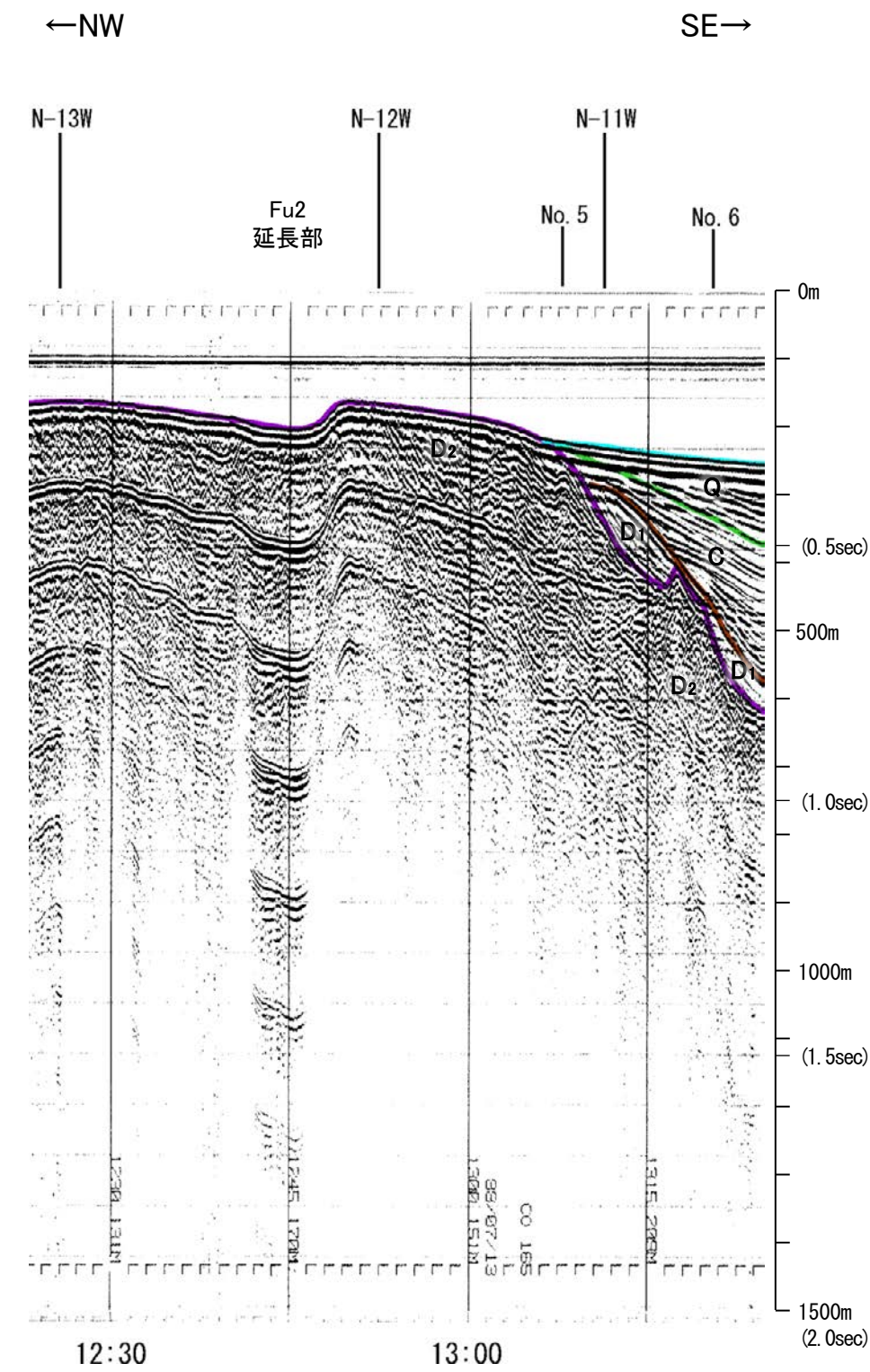
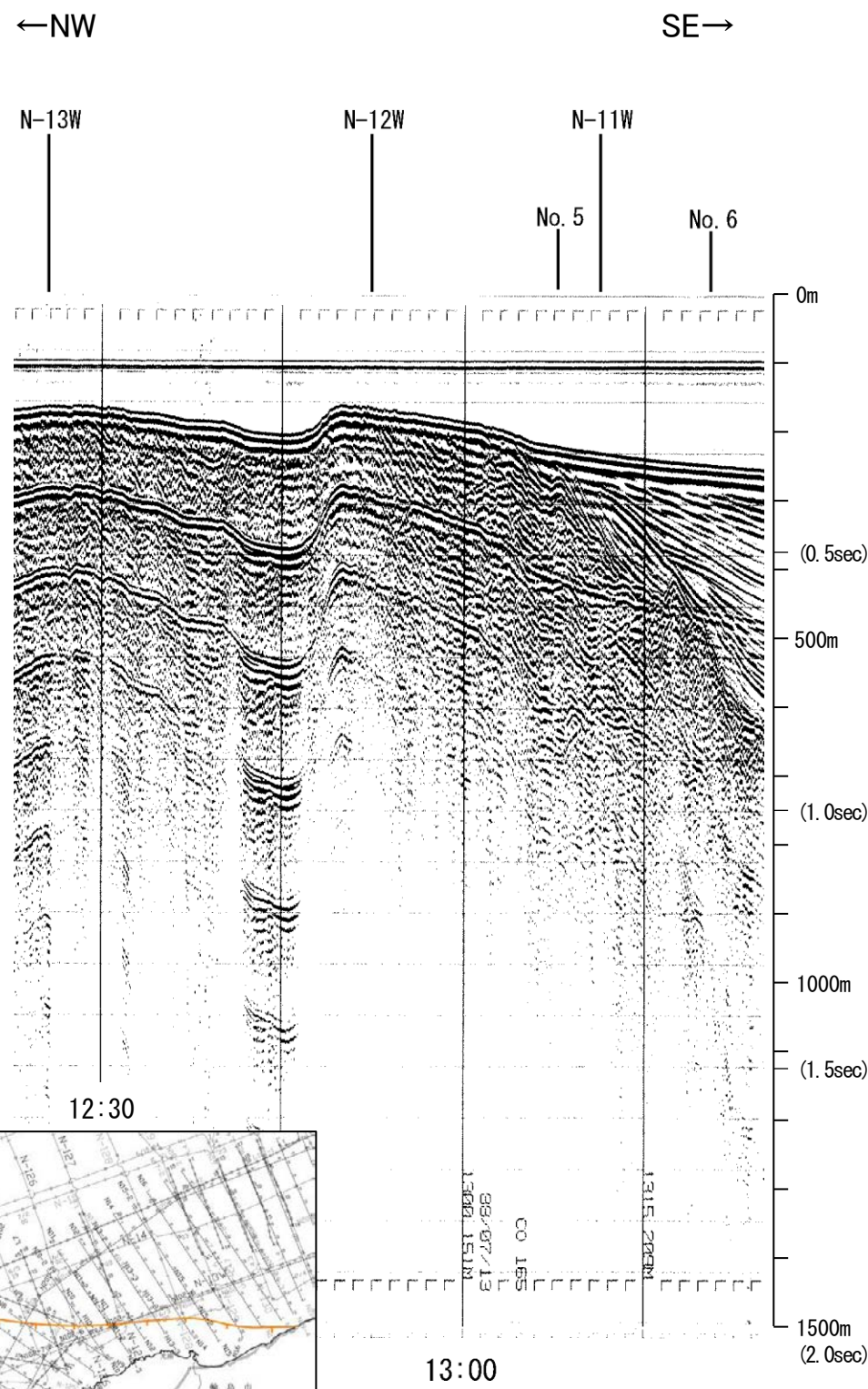
地質調査所エアガン N-116

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B ₁ 層
	更新世	中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C層	C ₁ 層
	中新世	D層	C ₂ 層
			D ₁ 層
古第三紀		D ₂ 層	
先第三紀			D ₃ 層

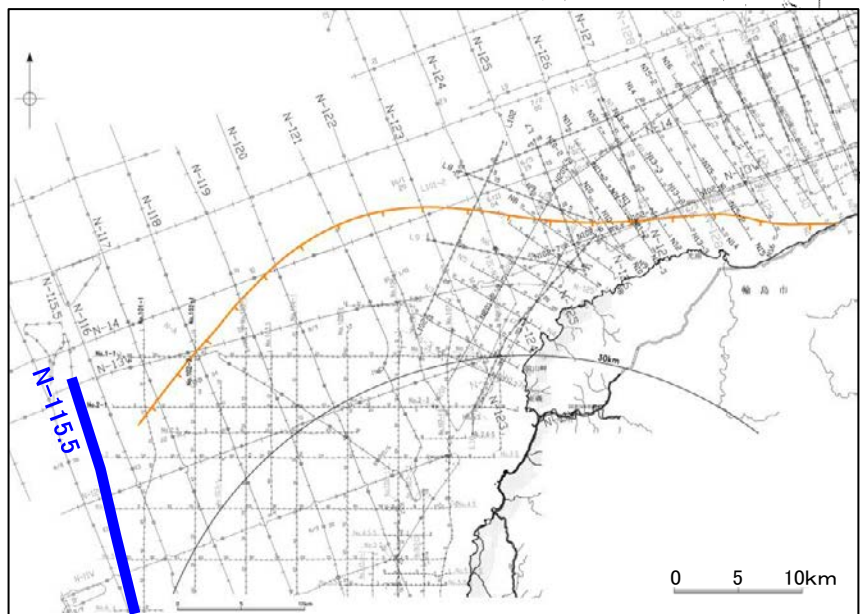
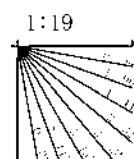


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-115.5



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	C層
			D層
	第三紀	鮮新世	E層
第三紀	中新世	F層	
	古第三紀	G層	
第三紀	先第三紀	H層	

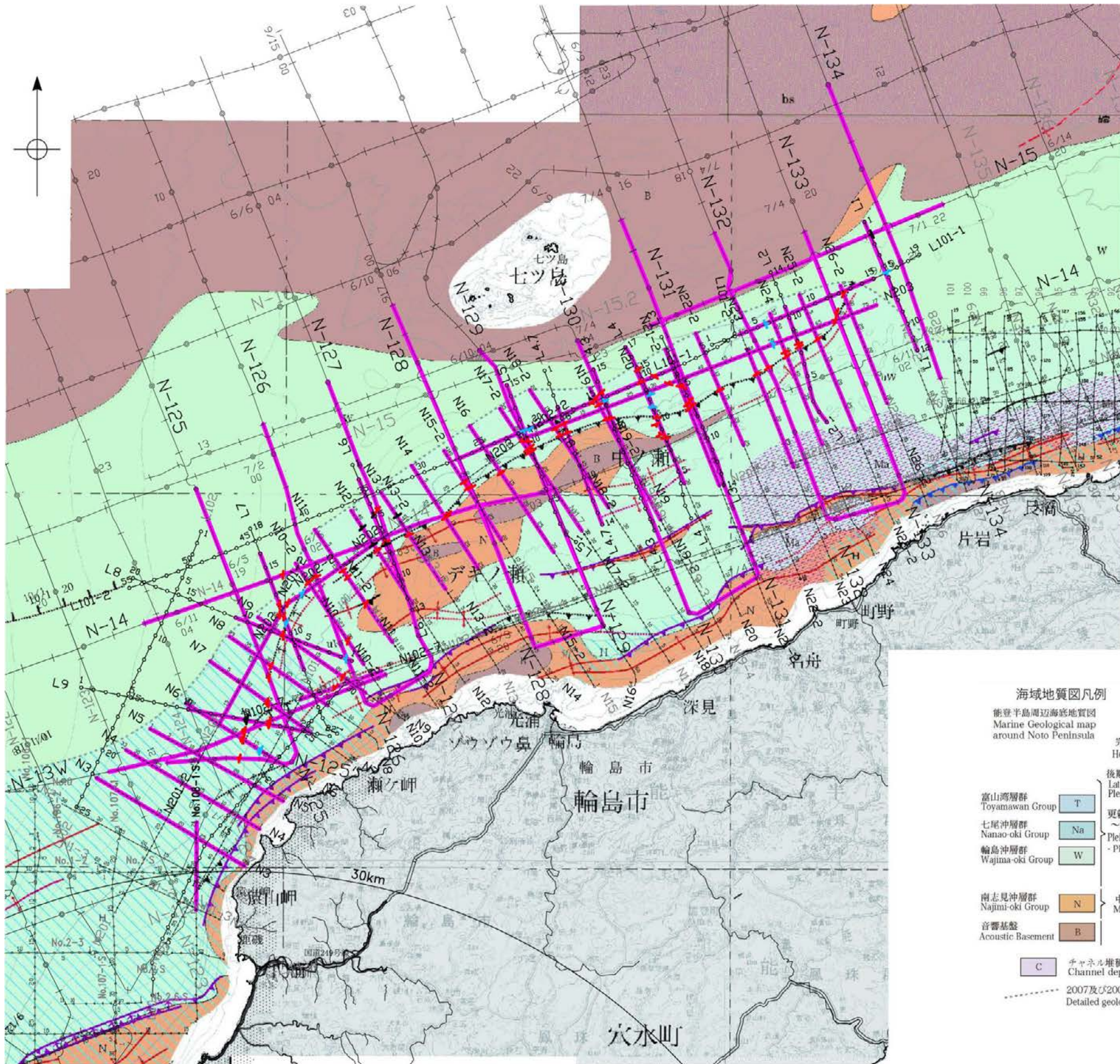


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

余白

猿山岬北方沖の断層

音波探査記録 添付測線(猿山岬北方沖断層)



- 凡 例
- (b) 連続性のない断層 (換曲)
 - B 層以上またはQ層に変位・変形が認められる
 - B 層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない
 - B 層以上またはQ層に変位・変形が認められない
 - No. 3 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
 - No. 3 S 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約360ジュール)
 - L3 調査測線 (三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル)
 - N-130 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)
 - N8 調査測線 (産業技術総合研究所: ブーマー・マルチチャンネル)
 - 90 調査測線 (海上保安庁水路部: スーパーカー・シングルチャンネル)
 - 添付した音波探査記録

- 海域地質図凡例
能登半島周辺海底地質図
Marine Geological map
around Noto Peninsula
- Legend of offshore geological map
- | | | |
|--|-----------------------------------|---|
| 完新世
Holocene | 門前沖層群
Monzen-oki Formation | 海底谷壁上端
Upper boundary of canyon wall |
| 後更新世
Late Pleistocene | 町野沖層群
Machino-oki Formation | 実在逆断層(点線は伏在)
Confirmed reverse fault, dotted where concealed |
| 更新世
~ 鮮新世
Pleistocene - Pliocene | 輪島沖層群上部
Upper Wajima-oki Group | 推定逆断層(点線は伏在)
Inferred reverse fault, dotted where concealed |
| | 輪島沖層群下部
Lower Wajima-oki Group | 換曲(点線は伏在)
Flexure, dotted where concealed |
| | 南志見沖層群
Najimi-oki Group | 実在正断層(点線は伏在)
Confirmed normal fault, dotted where concealed |
| | 音響基盤
Acoustic Basement | 実在活換曲軸(点線は伏在)
Active flexure, dotted where concealed |
| | チャネル堆積物
Channel deposits | 実在活逆断層(点線は伏在)
Confirmed active reverse fault, dotted where concealed |
| | | 実在背斜軸(点線は伏在)
Confirmed anticlinal axis, dotted where concealed |
| | | 向斜軸(点線は伏在)
synclinal axis, dotted where concealed |
- 2007及び2008年詳細海底地質調査範囲
Detailed geological survey area in 2007 and 2008

[井上・岡村(2010)]

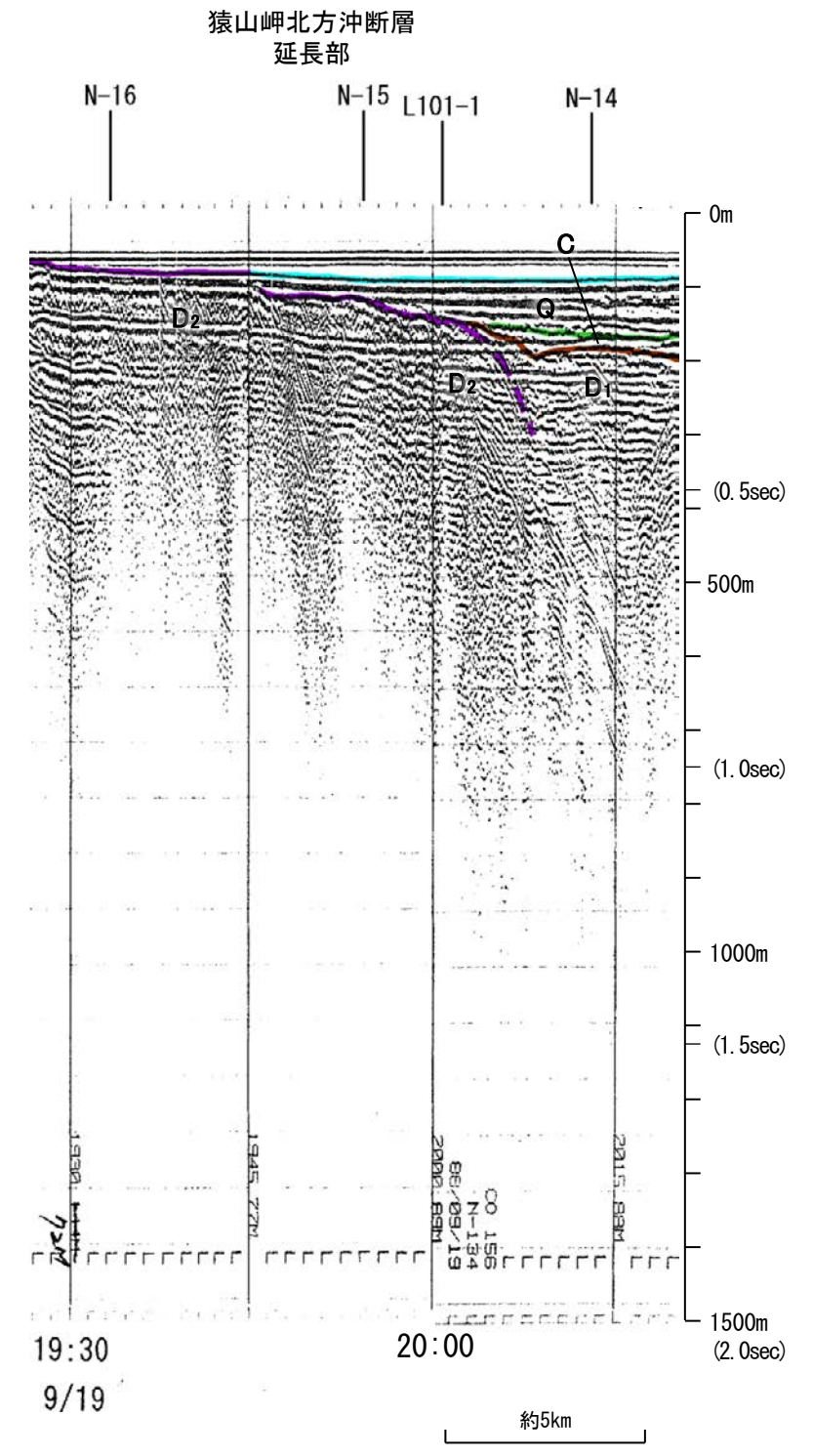
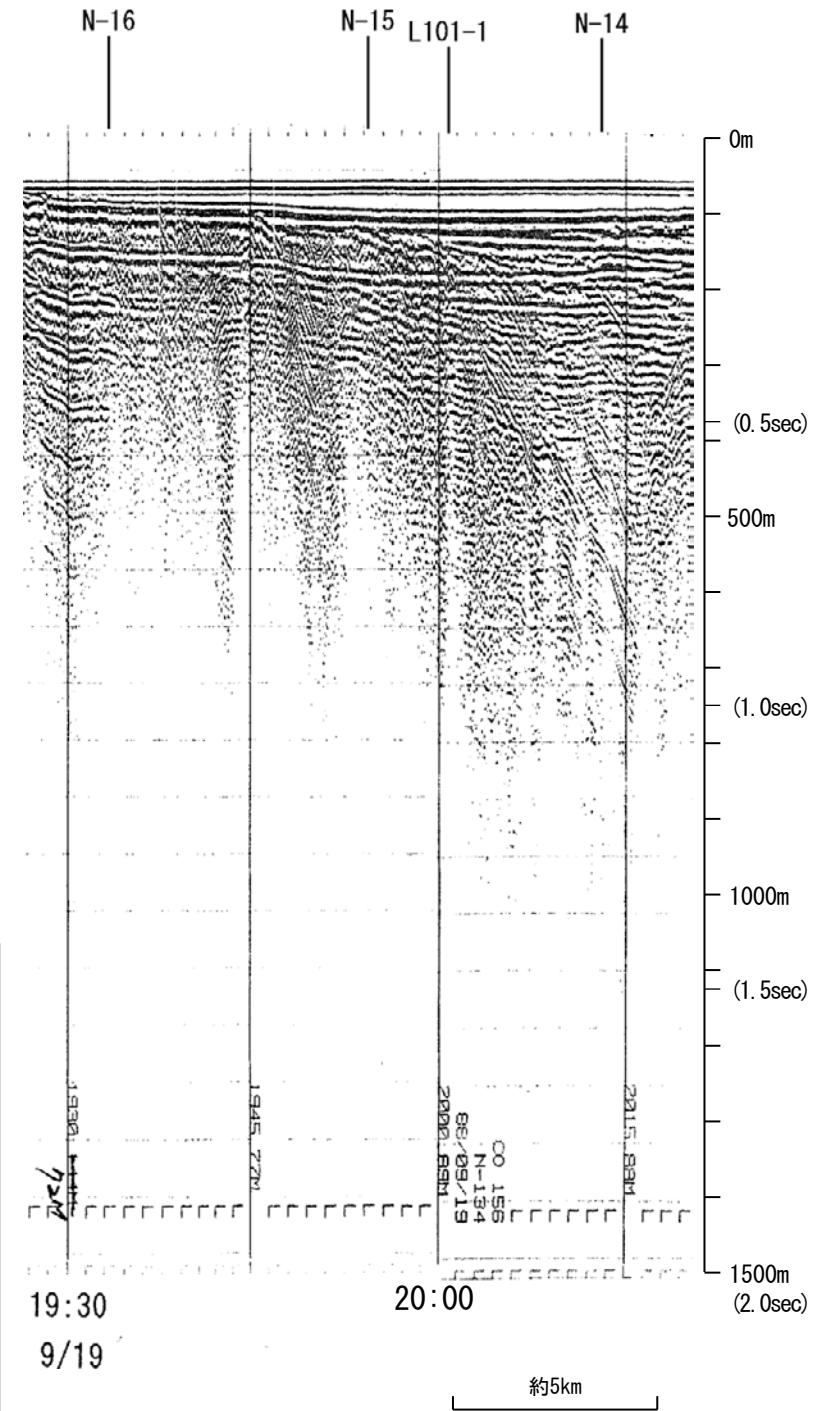
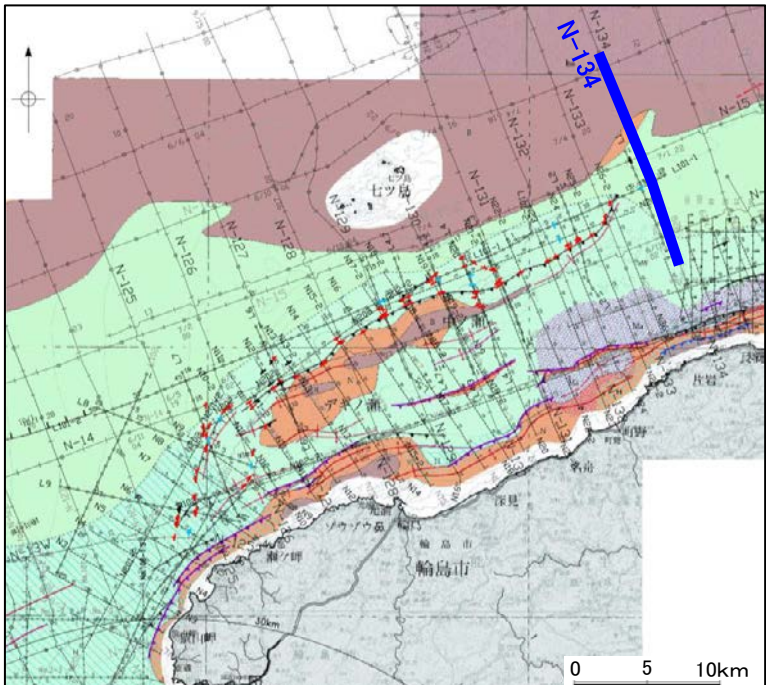
地質調査所エアガン N-134

←NW SE→

←NW SE→

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B ₁ 層
	更新世	中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	C ₁ 層
新第三紀	中新世	D層	D ₁ 層
	古第三紀		D ₂ 層
			D ₃ 層

1:19



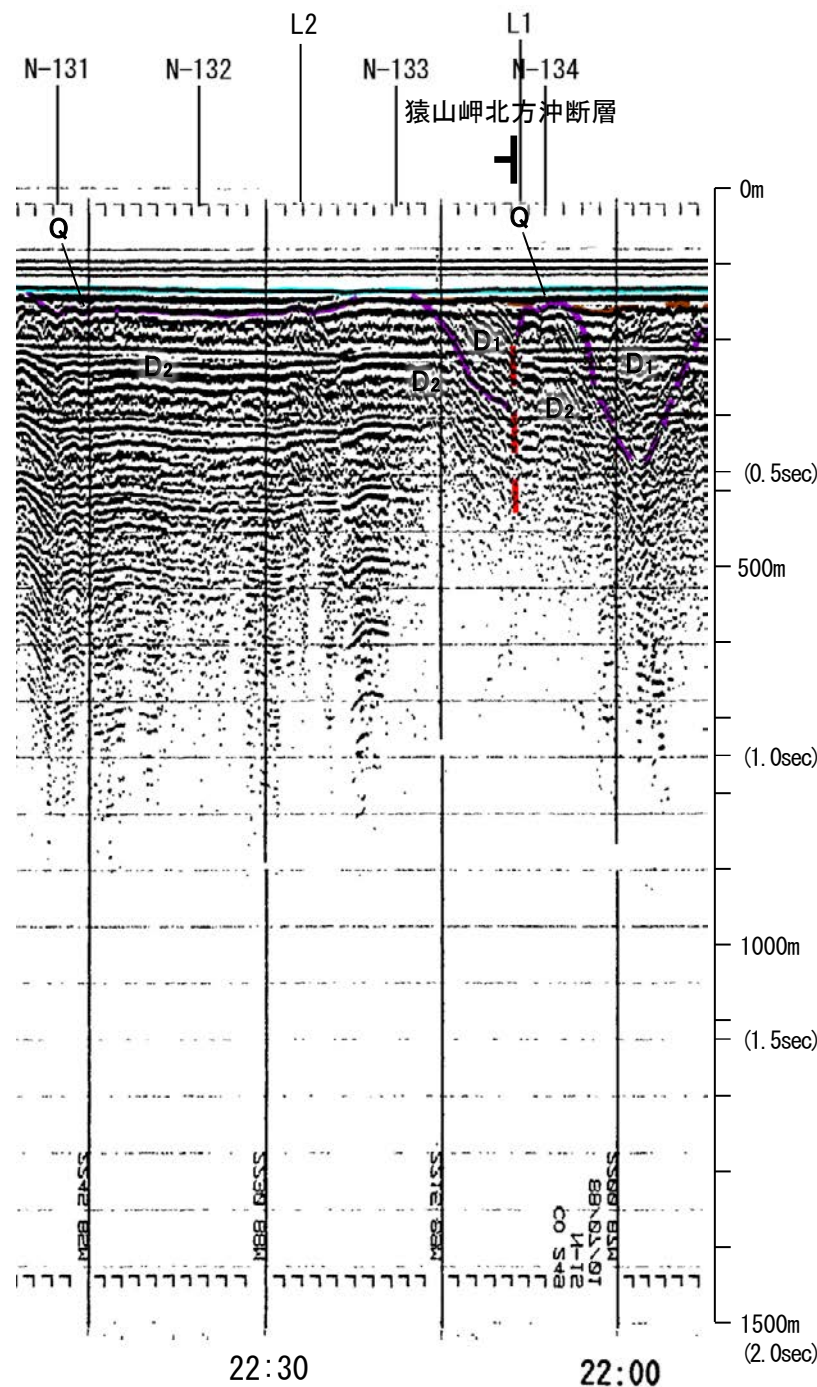
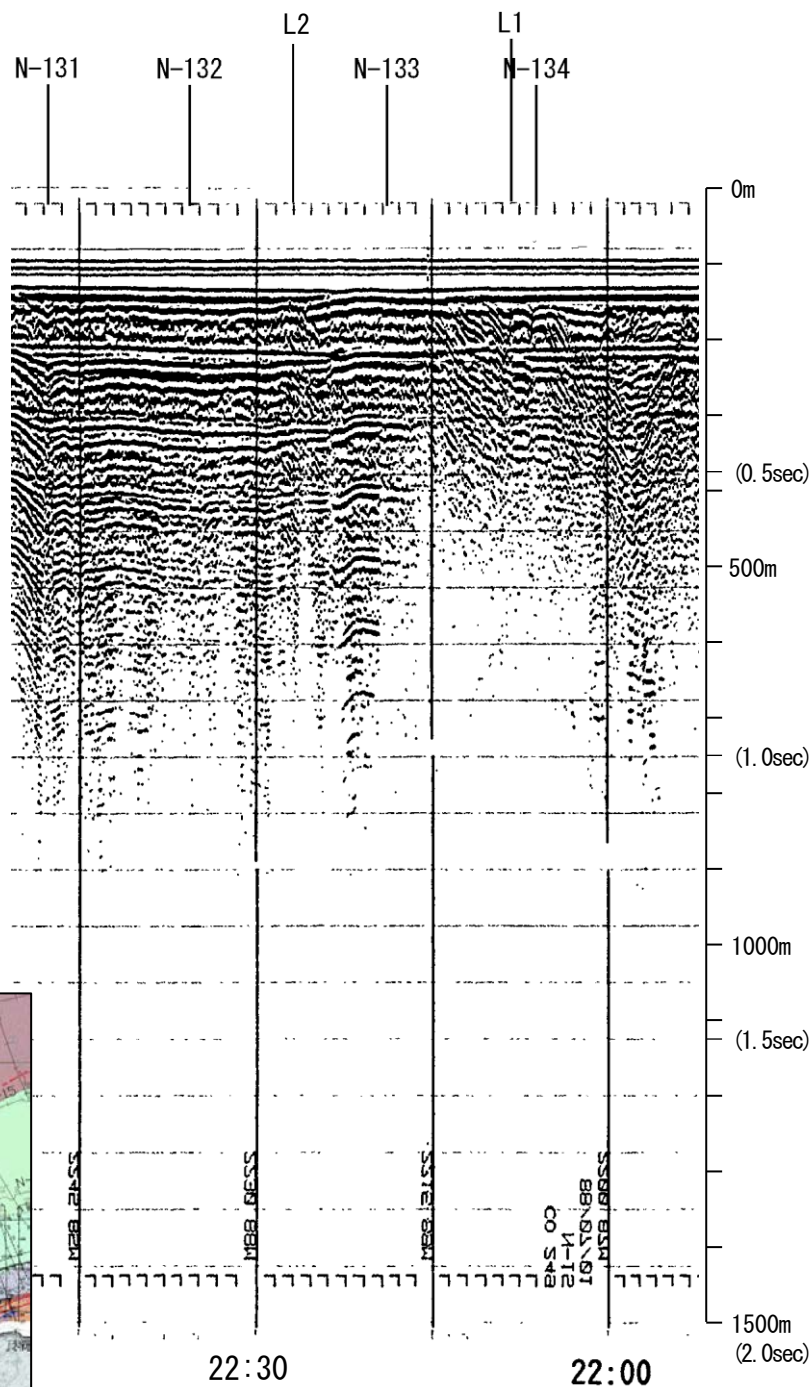
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-15

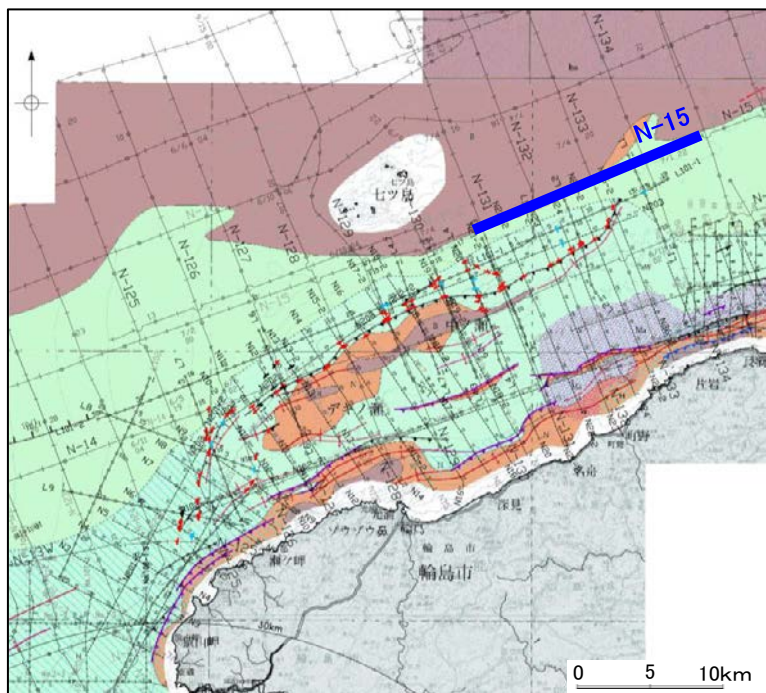
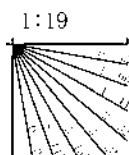
←SW NE→

←SW NE→

猿山岬北方沖断層
延長部



地質時代		地層名		
第四紀	完新世	A層	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層	
		中期	Q層	B ₂ 層
			B層	B ₃ 層
前期	C層	C層		
第三紀	鮮新世	D ₁ 層	D層	
	中新世	D ₂ 層	D層	
古第三紀	D層	D層		
先第三紀	D層	D層		

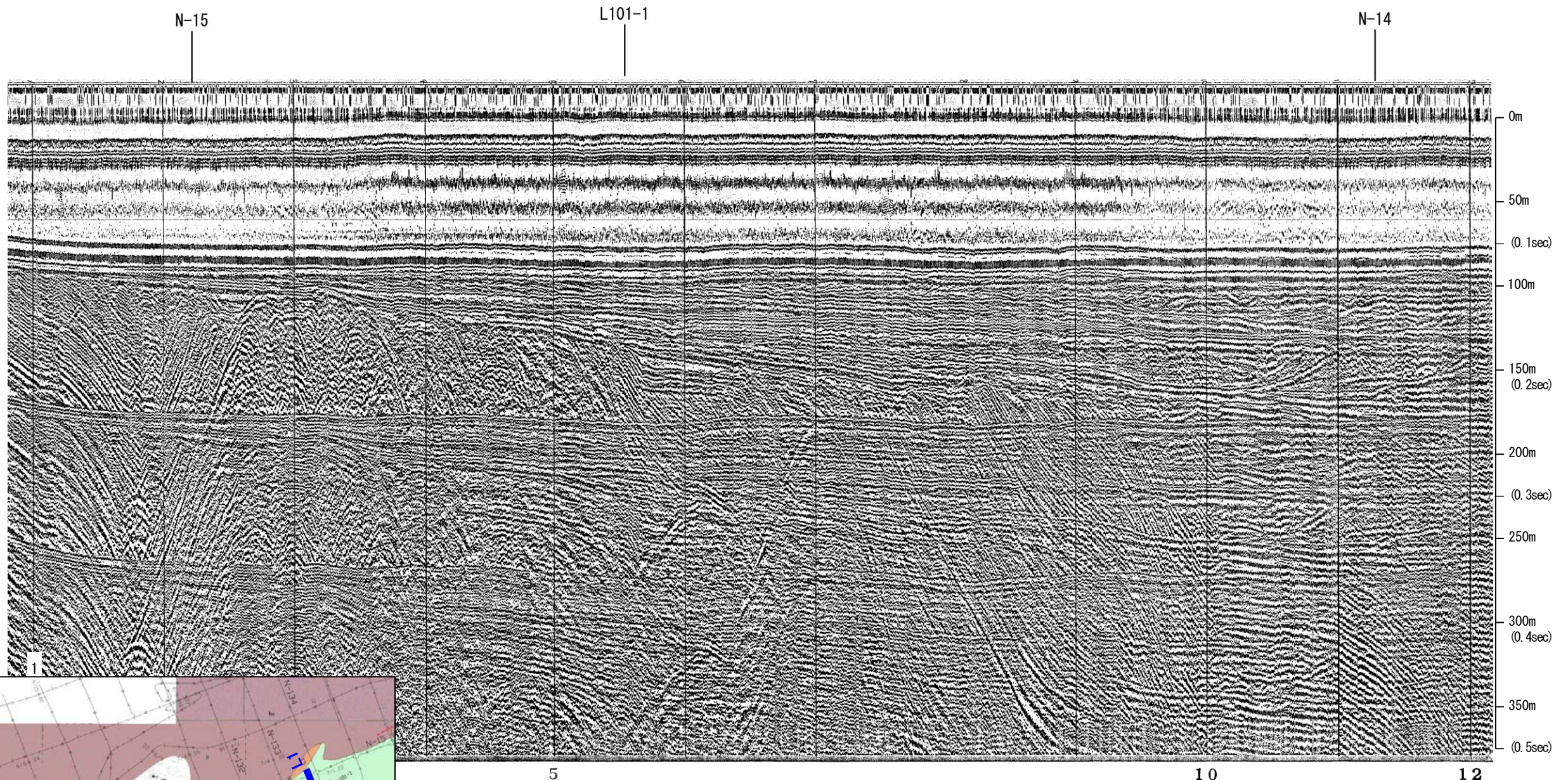


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

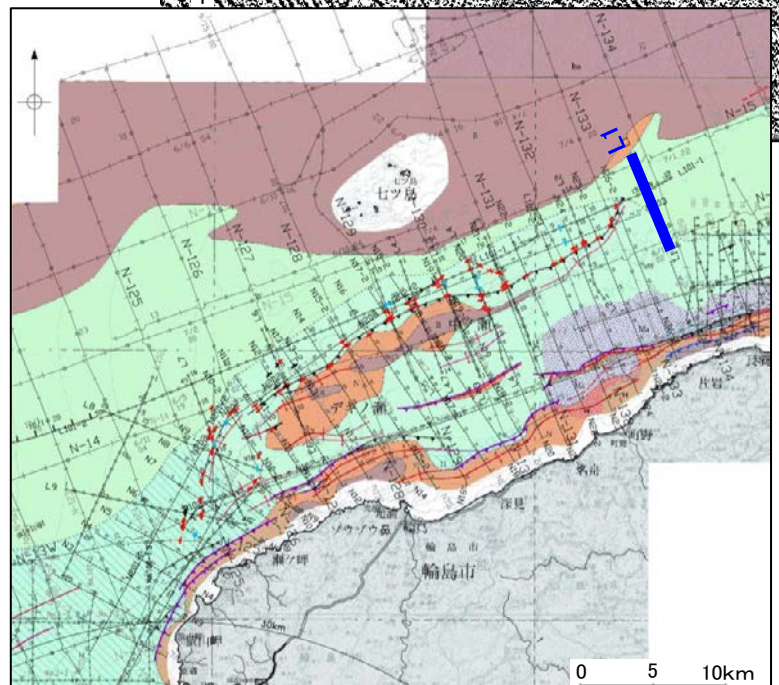
三澤(1997)ウォーターガン L1

←NW

SE→



約500m



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	更新世	後期	B層
		中期	B層
	前期	C層	
第三紀	新第三紀		C層
	中新世		D層
	古第三紀		D層
先第三紀			D層

